

Ⅲ その他の調査結果

郵送調査（タウンモニター）

Ⅲ その他の調査結果

① 郵送調査（タウンモニター）

1 回答者の属性

(1) 性別（問1-ア）

	基数	構成比
男性	28	54.9%
女性	23	45.1

(2) 年齢（問1-イ）

	基数	構成比
20歳代	1	2.0%
30歳代	2	3.9
40歳代	5	9.8
50歳代	4	7.8
60歳代	18	35.3
70歳以上	21	41.2

(3) 居住地域（問1-ウ）

	基数	構成比
板橋地域	13	25.5%
常盤台地域	8	15.7
志村地域	13	25.5
赤塚地域	9	17.6
高島平地域	8	15.7
わからない	-	-

(4) 職業（問1-エ）

	基数	構成比
会社員・公務員	4	7.8%
自営業・自由業	9	17.6
会社役員	2	3.9
主婦・主夫	13	25.5
学生	-	-
アルバイト・パート	3	5.9
無職	18	35.3
その他	2	3.9

(5) 世帯構成（問1-オ）

	基数	構成比
単身世帯	4	7.8%
夫婦のみ	19	37.3
二世帯同居（子と同居）	24	47.1
二世帯同居（親と同居）	3	5.9
三世帯同居	1	2.0
その他	-	-

(6) 居住年数（問1-カ）

	基数	構成比
1年未満	-	-
1年以上5年未満	2	3.9%
5年以上10年未満	-	-
10年以上20年未満	4	7.8
20年以上	32	62.7
生まれたときから	13	25.5

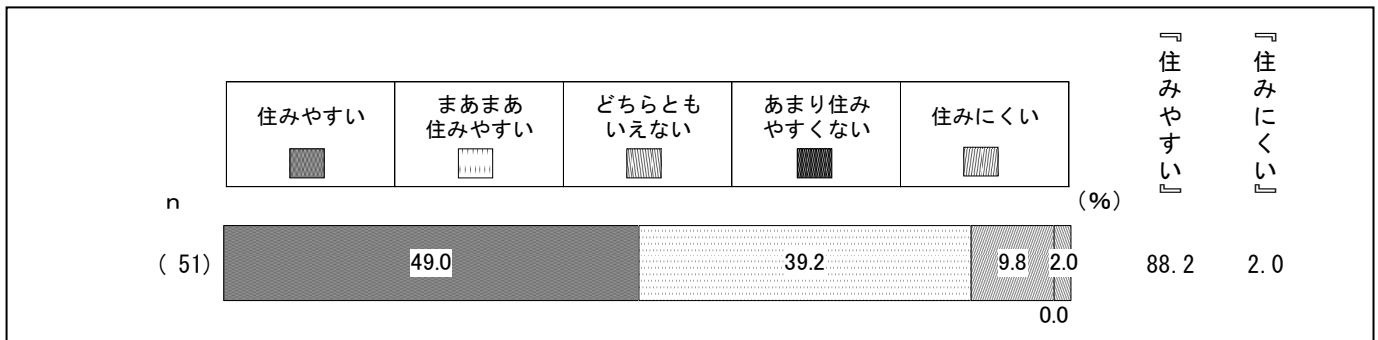
(7) 直前の居住地（問1-キ）

	基数	構成比
東京23区内（板橋区を除く）	13	34.2%
東京都内の他市町村内	2	5.3
埼玉県内	4	10.5
千葉県・神奈川県内	2	5.3
その他（海外を含む）	15	39.5
（無回答）	2	5.3

2 区での住み心地・定住意向

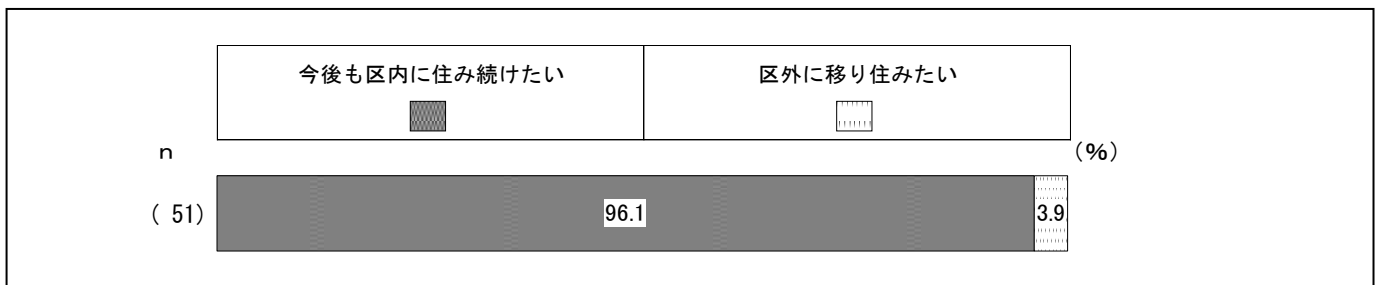
(1) 住みやすさ (問2)

「住みやすい」(49.0%)が約5割と最も高く、これに「まあまあ住みやすい」(39.2%)を合わせた『住みやすい』(88.2%)が9割近くとなっています。一方、「住みにくい」(2.0%)はわずかとなっています。



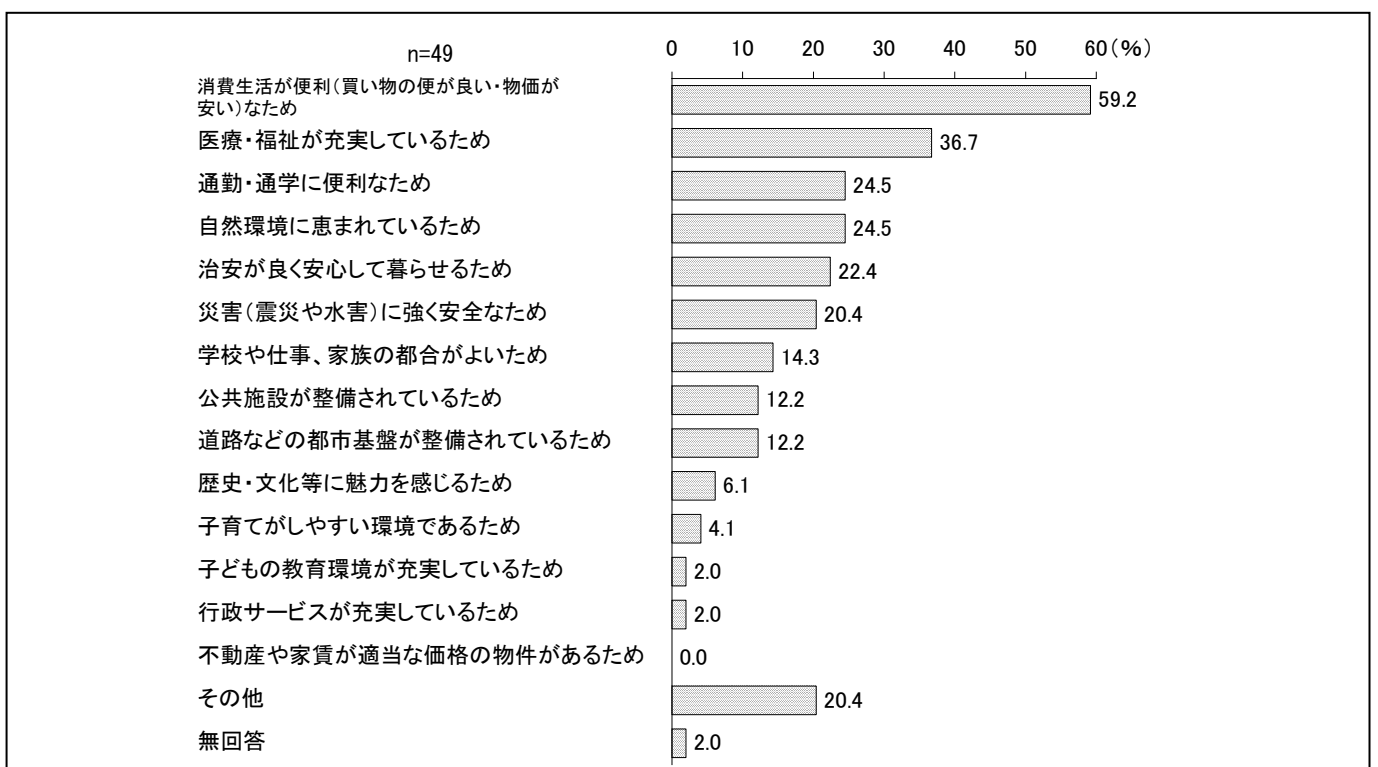
(2) 定住意向 (問3)

「今後も区内に住み続けたい」(96.1%)が9割半ば、「区外に移り住みたい」(3.9%)はわずかとなっています。



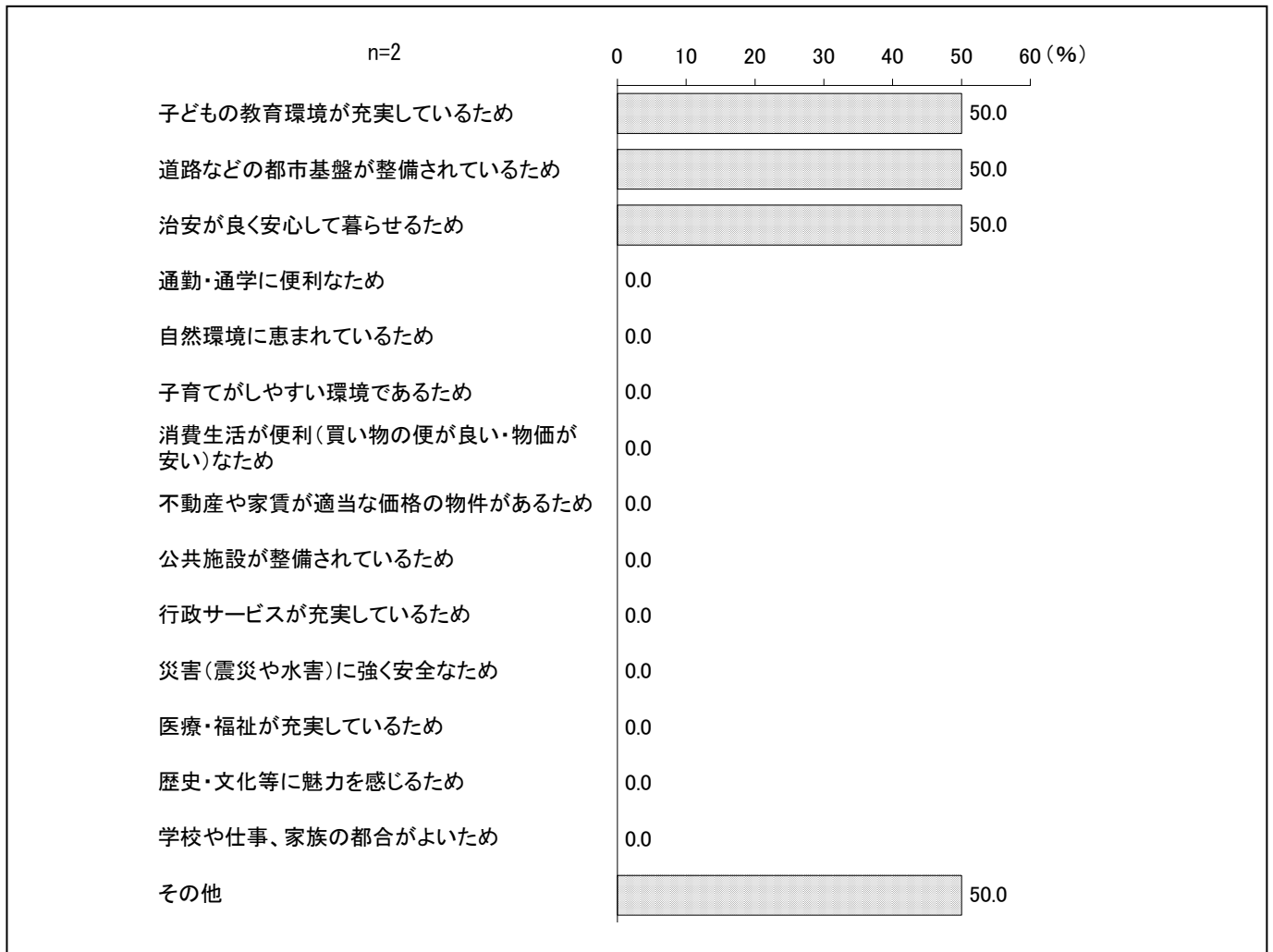
(3) 区内に住み続けたい理由 (問3-1)

区内に住み続けたいと答えた人(49人)にその理由を3つまで聞いたところ、「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」(59.2%)が約6割と最も高く、次いで「医療・福祉が充実しているため」(36.7%)、「通勤・通学に便利なため」(24.5%)などとなっています。



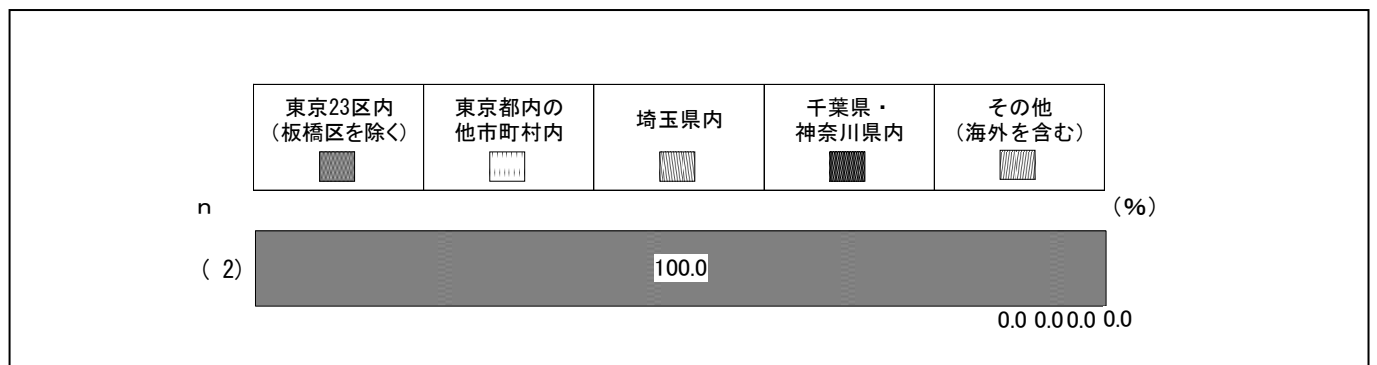
(4) 区外に移り住みたい理由 (問3-2)

区外に移り住みたいと答えた人(2人)にその理由を3つまで聞いたところ、区外の方が「子どもの教育環境が充実しているため」、「道路などの都市基盤が整備されているため」、「治安が良く安心して暮らせるため」(いずれも50.0%)が5割となっています。



(5) 区外に移り住むとしたら住みたい地域 (問3-3)

「区外に移り住みたい」と答えた人(2人)に、区外に移り住むとしたら住みたい地域を聞いたところ、「東京23区内(板橋区を除く)」(100.0%)が全数となっています。



3 施策に対する満足度・重要度

(1) 施策の満足度（問4）

①各施策項目の満足度

56の施策項目の満足度について聞いたところ、「満足」と「まあ満足」を合計した値が高い順に並べると以下のとおりとなりました。

最も割合の高い施策項目は、「公共交通」（74.5%）で7割半ばとなっています。次いで「ごみ出しルール」（72.5%）、「食品衛生」（64.7%）、「区への愛着」（62.7%）などとなっています。

順位	施策項目	満足度 (%)
1	公共交通	74.5
2	ごみ出しルール	72.5
3	食品衛生	64.7
4	区への愛着	62.7
5	防犯対策	56.9
6	健康づくり	54.9
7	医療体制	52.9
	住居の広さ	52.9
	区政情報の公開	52.9
	区職員の対応	52.9
11	リサイクル	49.0
12	ボランティア・NPO活動	47.1
	区への誇り	47.1
14	I T活用	45.1
15	消費生活	43.1
	平和意識	43.1
	防災意識	43.1
	自然地の保全	43.1
	道路の安全	43.1
20	高齢者の社会参加	41.2
	地域社会活動	41.2
	歴史的文化財	41.2
	水害対策	41.2
	公園・緑地の整備	41.2
25	歩行の安全	39.2
26	生涯学習	37.3
27	子育て環境	35.3
	児童福祉サービス	35.3
	スポーツ	35.3
	高齢者福祉サービス	35.3
	空気・水	35.3

順位	施策項目	満足度 (%)
32	子どもの健全育成	33.3
	地域連携による子育て	33.3
	魅力ある商店街	33.3
	名所・旧跡、イベント	33.3
	伝統芸能	33.3
	個人情報の保護	33.3
38	男女平等の社会参画	31.4
39	危機管理体制	29.4
	快適なまち	29.4
41	文化芸術	25.5
	区計画への参加機会	25.5
43	障がい者福祉サービス	21.6
	家事・育児・介護の男女協力	21.6
	区民の声の区政への反映	21.6
46	バリアフリー	19.6
47	まちなみ・景観	17.6
48	労働環境	15.7
49	障がい者の社会参加	13.7
50	活力ある工業	11.8
51	震災に強いまち	9.8
	省エネルギー	9.8
53	国際交流	7.8
54	農地の保全・活用	5.9
	新産業創出	5.9
56	自転車利用のマナー	3.9

施策の満足度《全56施策項目》

(%)

		満足	まあ満足	いどちらもない	やや不満	不満	わからない	無回答
基本目標Ⅰ 暮らすやかに生きがいをもって	(1) 子育て環境	2.0	33.3	23.5	9.8	-	17.6	13.7
	(2) 児童福祉サービス	-	35.3	31.4	11.8	-	15.7	5.9
	(3) 子どもの健全育成	2.0	31.4	35.3	13.7	-	13.7	3.9
	(4) 医療体制	11.8	41.2	29.4	9.8	2.0	2.0	3.9
	(5) 地域連携による子育て	11.8	21.6	43.1	9.8	-	13.7	-
	(6) 健康づくり	7.8	47.1	27.5	5.9	-	7.8	3.9
	(7) 生涯学習	11.8	25.5	37.3	9.8	2.0	11.8	2.0
	(8) スポーツ	5.9	29.4	37.3	17.6	-	9.8	-
	(9) 住居の広さ	11.8	41.2	27.5	9.8	7.8	-	2.0
	(10) 高齢者福祉サービス	5.9	29.4	41.2	11.8	-	9.8	2.0
	(11) 障がい者福祉サービス	3.9	17.6	23.5	17.6	3.9	33.3	-
	(12) 高齢者の社会参加	7.8	33.3	29.4	15.7	2.0	11.8	-
	(13) 障がい者の社会参加	3.9	9.8	23.5	19.6	2.0	41.2	-
	(14) 家事・育児・介護の男女協力	2.0	19.6	35.3	17.6	-	25.5	-
	(15) 男女平等の社会参画	2.0	29.4	37.3	7.8	-	21.6	2.0
	(16) 労働環境	2.0	13.7	54.9	7.8	2.0	17.6	2.0
	(17) 消費生活	2.0	41.2	31.4	5.9	-	19.6	-
基本目標Ⅱ と活きの豊かなまち	(18) 地域社会活動	3.9	37.3	37.3	13.7	3.9	3.9	-
	(19) ボランティア・NPO活動	13.7	33.3	35.3	13.7	3.9	-	-
	(20) 魅力ある商店街	7.8	25.5	19.6	29.4	17.6	-	-
	(21) 活力ある工業	3.9	7.8	31.4	25.5	5.9	23.5	2.0
	(22) 農地の保全・活用	2.0	3.9	35.3	21.6	7.8	27.5	2.0
	(23) 新産業創出	2.0	3.9	19.6	31.4	3.9	37.3	2.0
	(24) 名所・旧跡、イベント	3.9	29.4	31.4	13.7	9.8	11.8	-
	(25) 伝統芸能	2.0	31.4	33.3	7.8	5.9	17.6	2.0
	(26) 歴史的文化財	5.9	35.3	31.4	9.8	2.0	13.7	2.0
	(27) 文化芸術	3.9	21.6	43.1	11.8	3.9	11.8	3.9
	(28) 国際交流	3.9	3.9	39.2	13.7	5.9	31.4	2.0
	(29) 平和意識	3.9	39.2	29.4	5.9	3.9	13.7	3.9
基本目標Ⅲ 安全で安心なまち	(30) 防災意識	3.9	39.2	45.1	5.9	2.0	3.9	-
	(31) 防犯対策	5.9	51.0	27.5	13.7	-	2.0	-
	(32) 危機管理体制	2.0	27.5	47.1	7.8	3.9	11.8	-
	(33) 食品衛生	11.8	52.9	27.5	5.9	-	2.0	-
	(34) 自転車利用のマナー	-	3.9	29.4	33.3	33.3	-	-
	(35) 震災に強いまち	-	9.8	49.0	19.6	17.6	2.0	2.0
	(36) 水害対策	7.8	33.3	29.4	19.6	7.8	2.0	-
	(37) 自然地の保全	3.9	39.2	27.5	23.5	5.9	-	-
	(38) 公園・緑地の整備	2.0	39.2	27.5	23.5	7.8	-	-
	(39) 空気・水	3.9	31.4	41.2	21.6	2.0	-	-
	(40) まちなみ・景観	-	17.6	39.2	33.3	7.8	2.0	-
	(41) 省エネルギー	-	9.8	39.2	27.5	-	23.5	-
	(42) ごみ出しルール	9.8	62.7	7.8	13.7	5.9	-	-
	(43) リサイクル	3.9	45.1	29.4	11.8	-	9.8	-
	(44) 快適なまち	5.9	23.5	52.9	13.7	-	3.9	-
	(45) 公共交通	21.6	52.9	15.7	5.9	2.0	2.0	-
	(46) 道路の安全	3.9	39.2	29.4	17.6	3.9	2.0	3.9
	(47) 歩行の安全	2.0	37.3	31.4	25.5	3.9	-	-
	(48) バリアフリー	-	19.6	29.4	27.5	9.8	11.8	2.0
	(49) IT活用	3.9	41.2	21.6	11.8	2.0	19.6	-
	(50) 個人情報の保護	3.9	29.4	23.5	2.0	2.0	37.3	2.0
(51) 区政情報の公開	5.9	47.1	27.5	5.9	2.0	11.8	-	
計画推進	(52) 区計画への参加機会	3.9	21.6	39.2	23.5	3.9	7.8	-
	(53) 区民の声の区政への反映	3.9	17.6	43.1	21.6	3.9	9.8	-
	(54) 区職員の対応	5.9	47.1	35.3	5.9	3.9	2.0	-
	(55) 区への愛着	19.6	43.1	25.5	3.9	2.0	2.0	3.9
	(56) 区への誇り	9.8	37.3	39.2	7.8	3.9	-	2.0

②加重平均値でみる満足度

加重平均値による施策の満足度《スコア順》

順位	施策項目	加重平均
1	公共交通	0.88
2	区への愛着	0.79
3	食品衛生	0.72
4	健康づくり	0.64
5	ごみ出しルール	0.57
6	区政情報の公開	0.56
7	医療体制	0.54
8	新産業創出	0.52
	個人情報の保護	0.52
10	防犯対策	0.50
11	消費生活	0.49
12	リサイクル	0.46
	区職員の対応	0.46
14	農地の保全・活用	0.42
	区への誇り	0.42
16	地域連携による子育て	0.41
	生涯学習	0.41
	I T活用	0.41
19	子育て環境	0.40
	住居の広さ	0.40
	歴史的文化財	0.40
	平和意識	0.40
23	ボランティア・NPO活動	0.39
	防災意識	0.39
25	高齢者福祉サービス	0.33
	高齢者の社会参加	0.33
	男女平等の社会参画	0.33
28	児童福祉サービス	0.30

順位	施策項目	加重平均
29	活力ある工業	0.29
30	子どもの健全育成	0.26
	スポーツ	0.26
32	地域社会活動	0.24
	魅力ある商店街	0.24
34	道路の安全	0.23
35	快適なまち	0.22
36	国際交流	0.21
37	伝統芸能	0.20
38	危機管理体制	0.18
39	水害対策	0.14
	空気・水	0.14
41	文化芸術	0.12
	自然地の保全	0.12
43	障がい者の社会参加	0.10
44	家事・育児・介護の男女協力	0.08
	歩行の安全	0.08
46	労働環境	0.07
47	名所・旧跡、イベント	0.04
	公園・緑地の整備	0.04
49	障がい者福祉サービス	0.00
50	区計画への参加機会	-0.02
51	区民の声の区政への反映	-0.04
52	省エネルギー	-0.23
53	まちなみ・景観	-0.32
	バリアフリー	-0.32
55	震災に強いまち	-0.47
56	自転車利用のマナー	-0.96

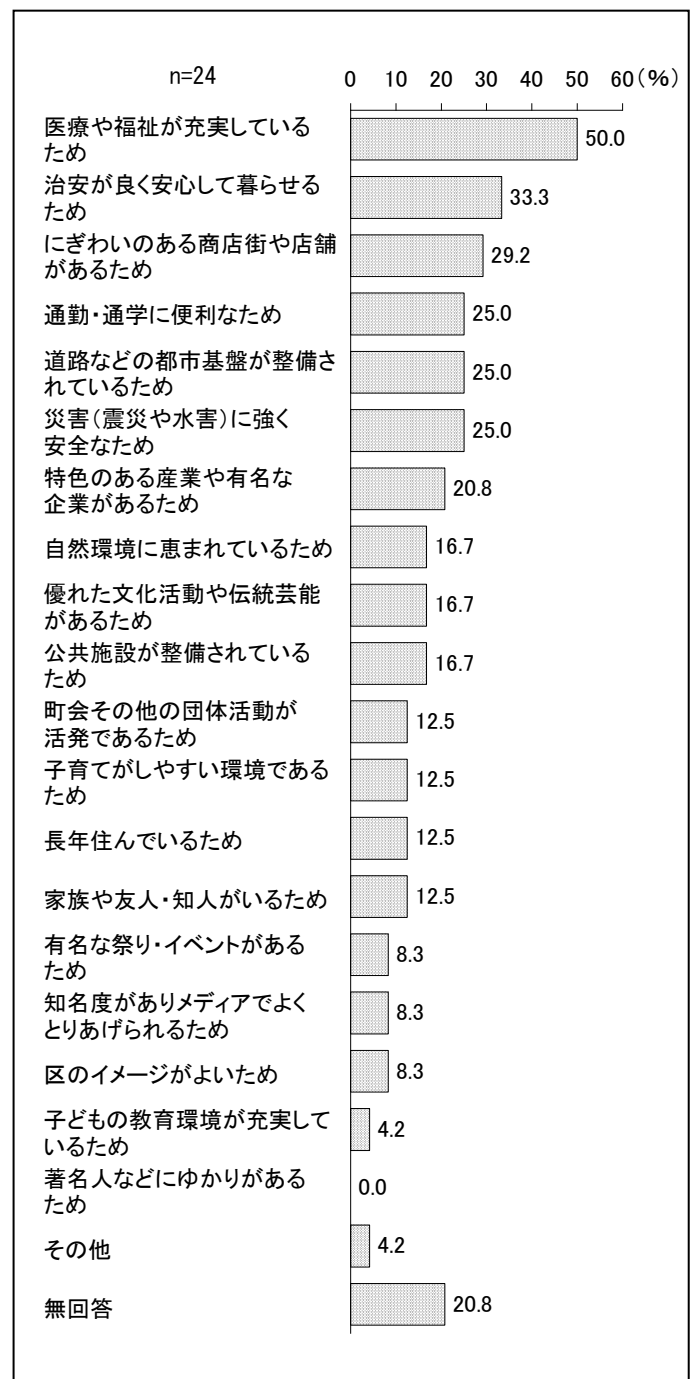
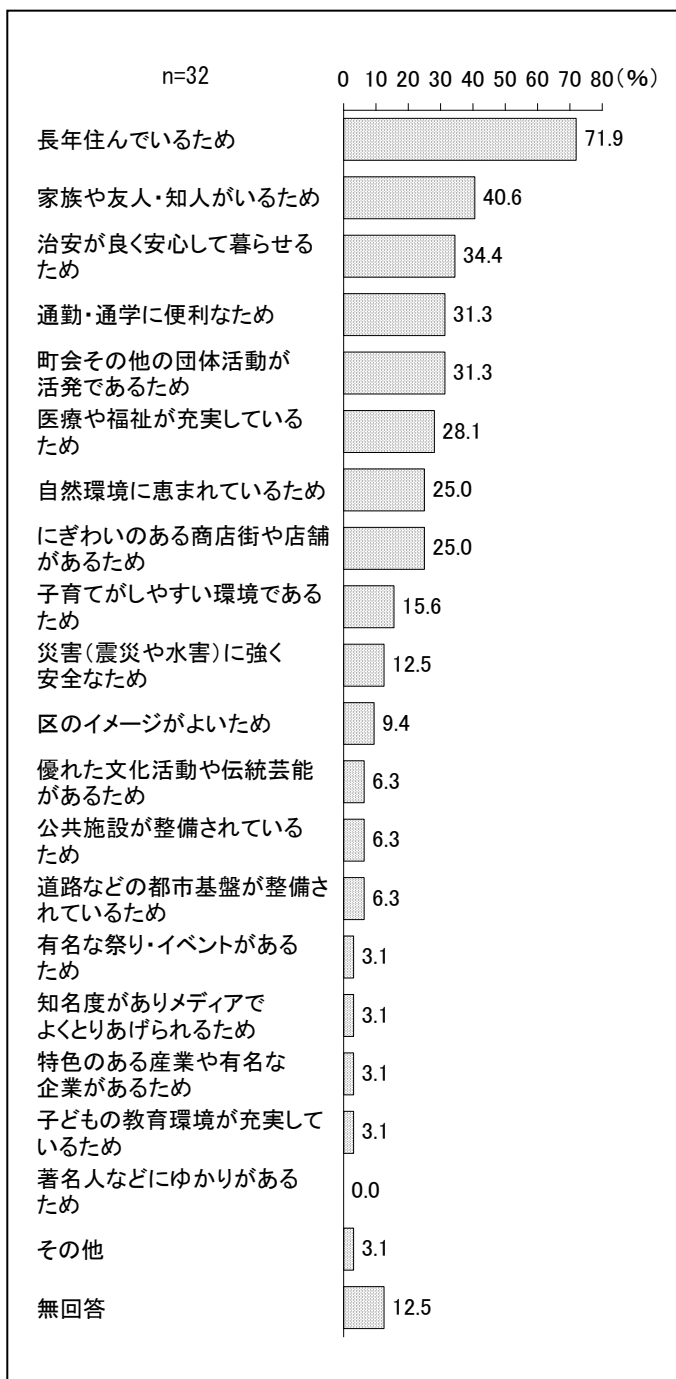
問4で「板橋区に愛着を感じる」「板橋区が他の自治体と比べて誇れると感じる」と回答した人に、その理由を5つまで聞いたところ、以下の結果となりました。

(2) 板橋区に愛着を感じる理由 (問4-1)

「長年住んでいるため」(71.9%)が7割を超えて最も高く、次いで「家族や友人・知人がいるため」(40.6%)、「治安が良く安心して暮らせるため」(34.4%)などとなっています。

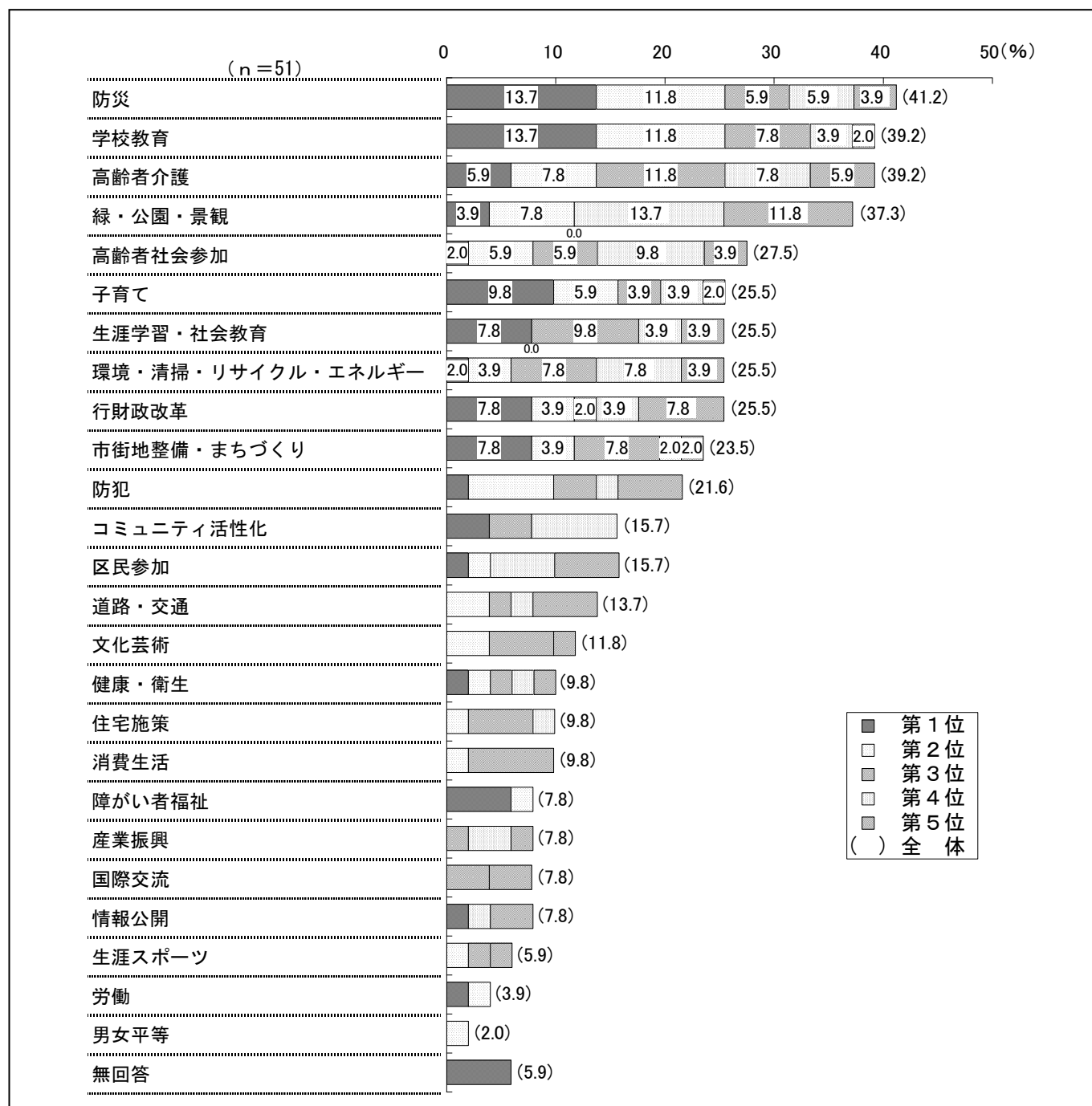
(3) 板橋区が他の自治体と比べて誇れると感じる理由 (問4-2)

「医療や福祉が充実しているため」(50.0%)が5割と最も高く、次いで「治安が良く安心して暮らせるため」(33.3%)、「にぎわいのある商店街や店舗があるため」(29.2%)などとなっています。



(4) 重点的に力を入れるべき分野（問5）

提示した25の分野について、今後、区が重点的に力を入れるべき分野を第1位から第5位までを累計した『全体』でみると、「防災」(41.2%)が4割を超えて最も高くなっています。



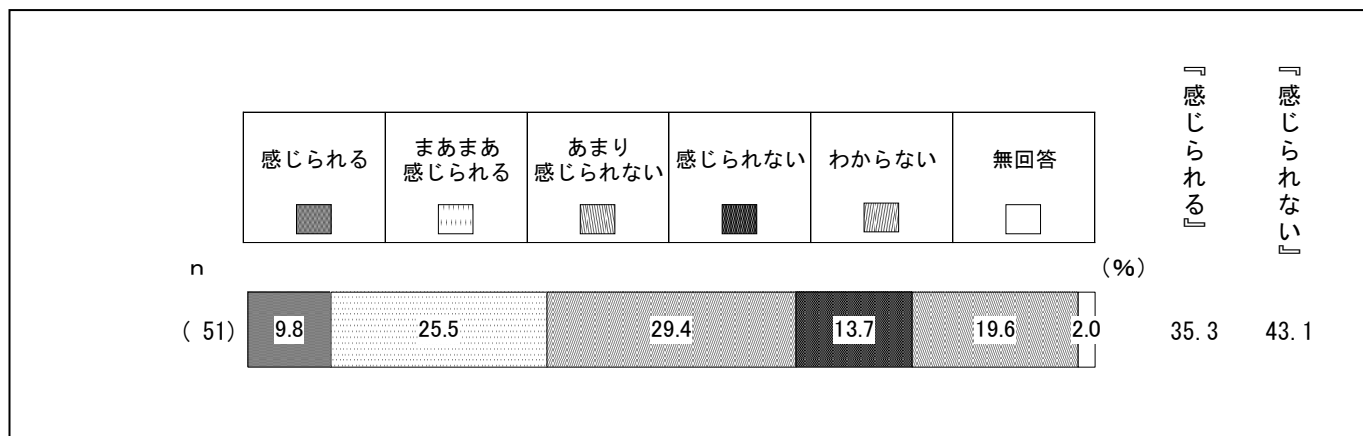
【第1位に挙げられた分野（上位5分野）】

順位	平成25年度	(%)
1	防災	13.7
2	学校教育	13.7
3	子育て	9.8
4	生涯学習・社会教育	7.8
	行財政改革	7.8
	市街地整備・まちづくり	7.8

4 行政サービスと住民負担のバランス

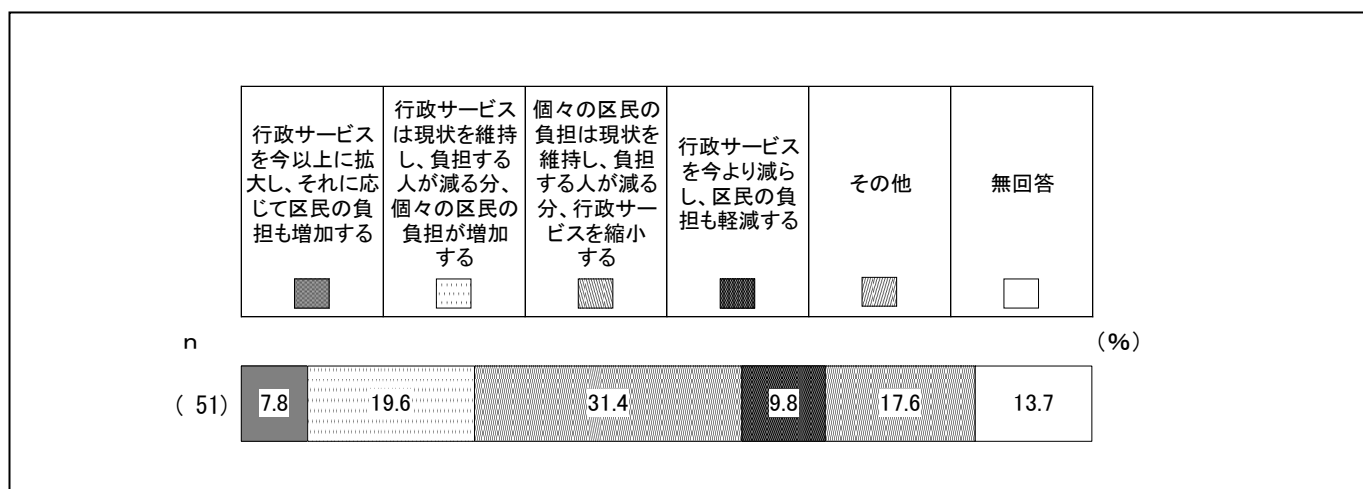
(1) 税金に見合った行政サービスの提供 (問6)

「感じられる」(9.8%)と「まあまあ感じられる」(25.5%)を合わせた『感じられる』(35.3%)が3割半ばとなっています。一方、「あまり感じられない」(29.4%)と「感じられない」(13.7%)を合わせた『感じられない』(43.1%)は4割を超えています。



(2) 将来的な行政サービスと住民負担のバランス (問7)

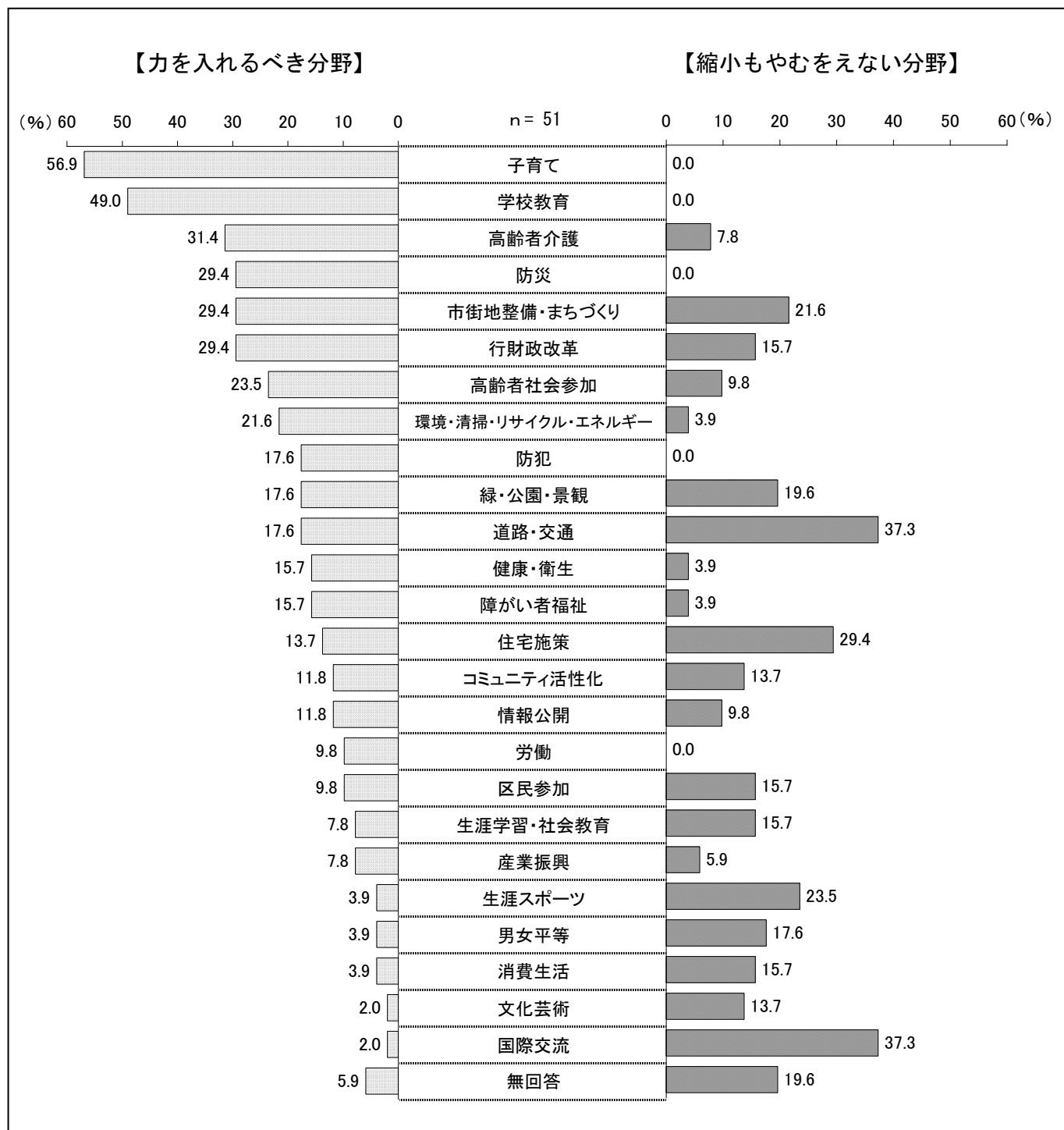
「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」(31.4%)が3割を超えて最も高くなっています。「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」(19.6%)が約2割、「行政サービスを今より減らし、区民の負担も軽減する」(9.8%)、「行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する」(7.8%)はともに1割未満となっています。



(3) 行政サービスで力を入れるべき分野と縮小もやむをえない分野（問8）

提示した25の分野について、「力を入れるべき分野」では、「子育て」(56.9%)が5割半ばと最も高く、次いで「学校教育」(49.0%)、「高齢者介護」(31.4%)などとなっています。

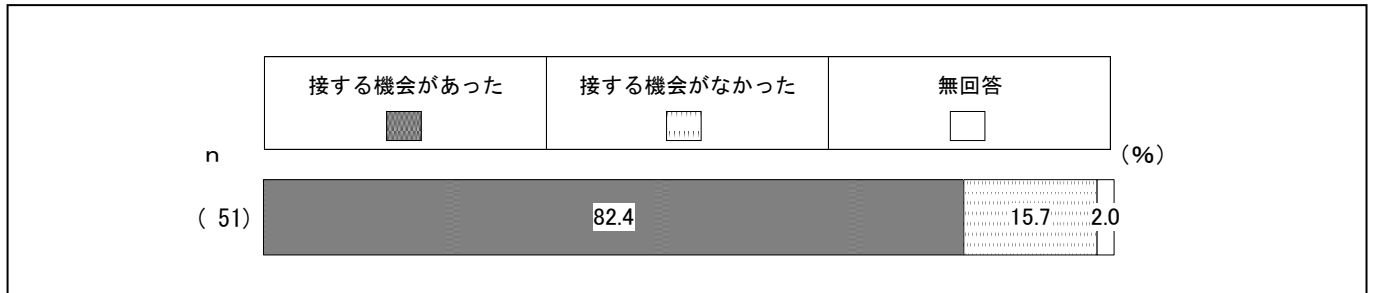
一方、「縮小もやむをえない分野」では、「道路・交通」、「国際交流」(ともに37.3%)が4割近くと最も高く、次いで「住宅施策」(29.4%)、「生涯スポーツ」(23.5%)などとなっています。



5 板橋区職員期待する能力・資質

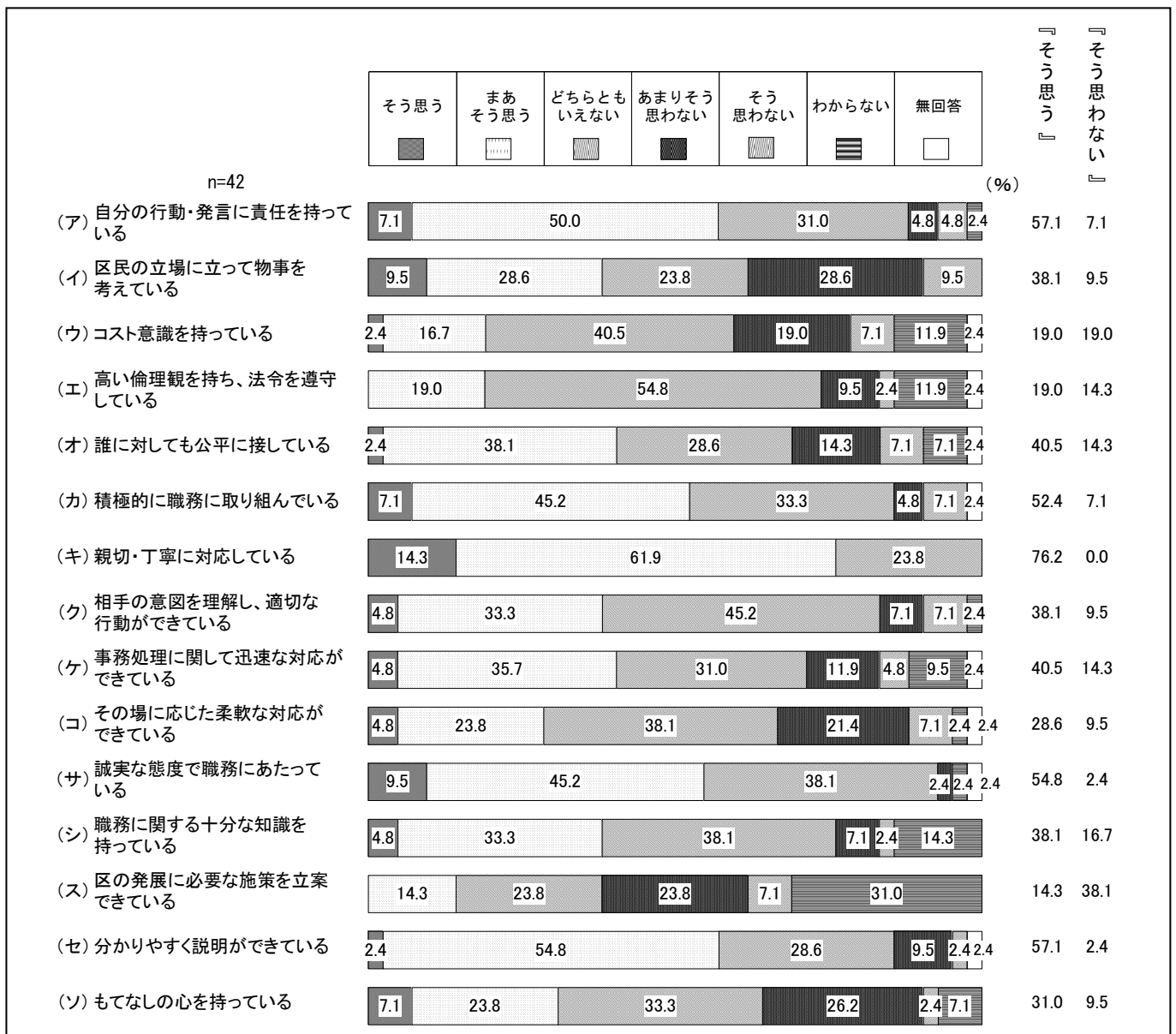
(1) 最近1年間での職員と接する機会の有無 (問9)

「接する機会があった」(82.4%)が8割を超え、「接する機会がなかった」(15.7%)は1割半ばとなっています。



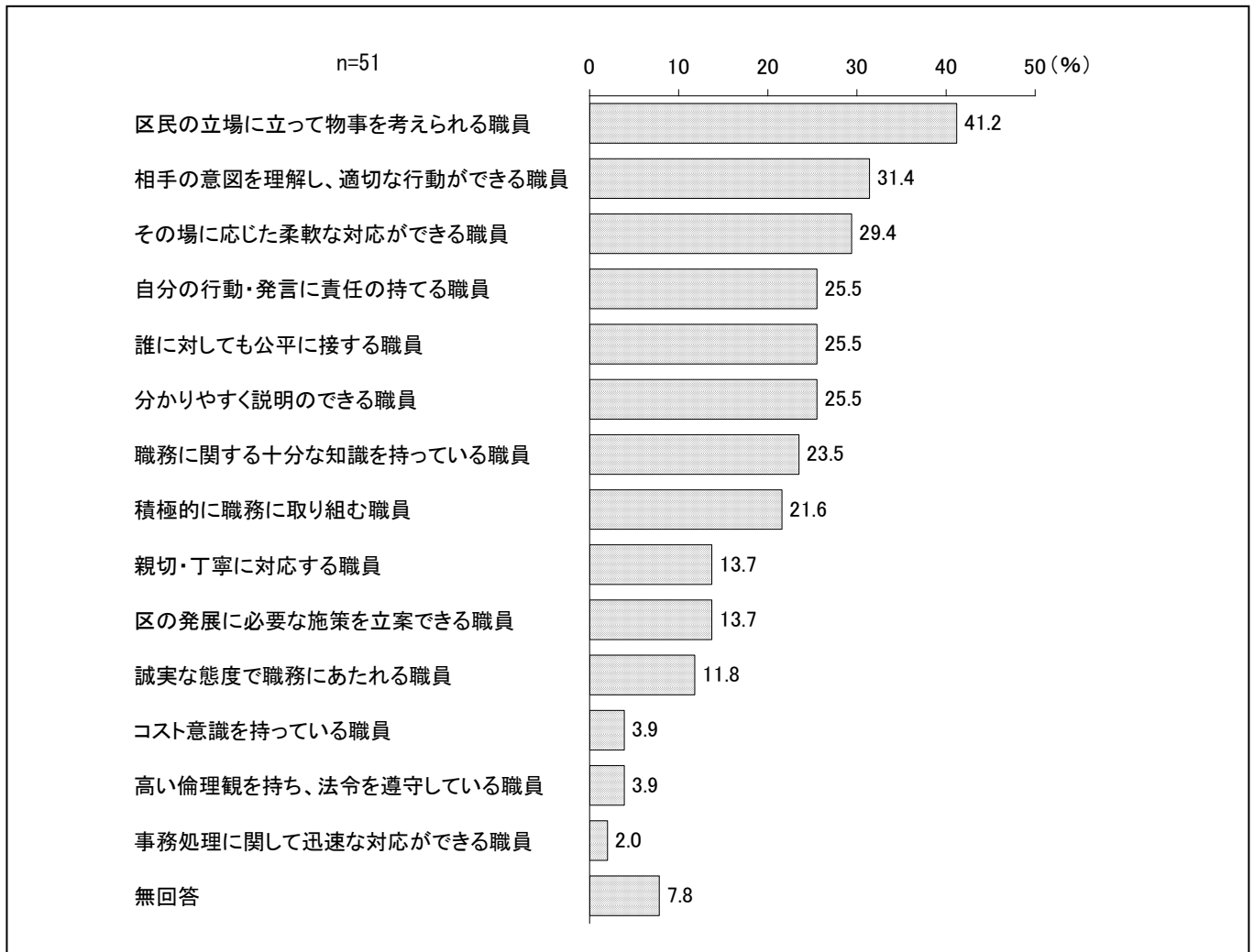
(2) 職員の能力・資質の現状評価 (問9-1)

職員と「接する機会があった」と答えた人(42人)に、職員の能力・資質の現状評価を聞いたところ、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』では、「親切・丁寧に対応している」(76.2%)が7割半ばと最も高く、次いで「自分の行動・発言に責任を持っている」(57.1%)などとなっています。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』では、「区の発展に必要な施策を立案できている」(38.1%)が4割近くと最も高くなっています。



(3) 職員に求める姿 (問10)

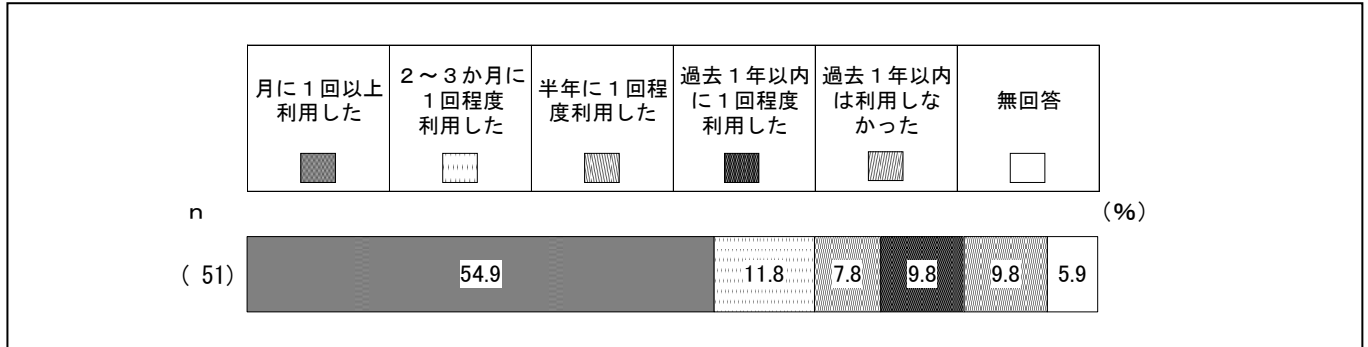
「区民の立場に立って物事を考えられる職員」(41.2%)が4割を超えて最も高く、次いで「相手の意図を理解し、適切な行動ができる職員」(31.4%)、「その場に応じた柔軟な対応ができる職員」(29.4%)などとなっています。



6 板橋区の公共施設のあり方

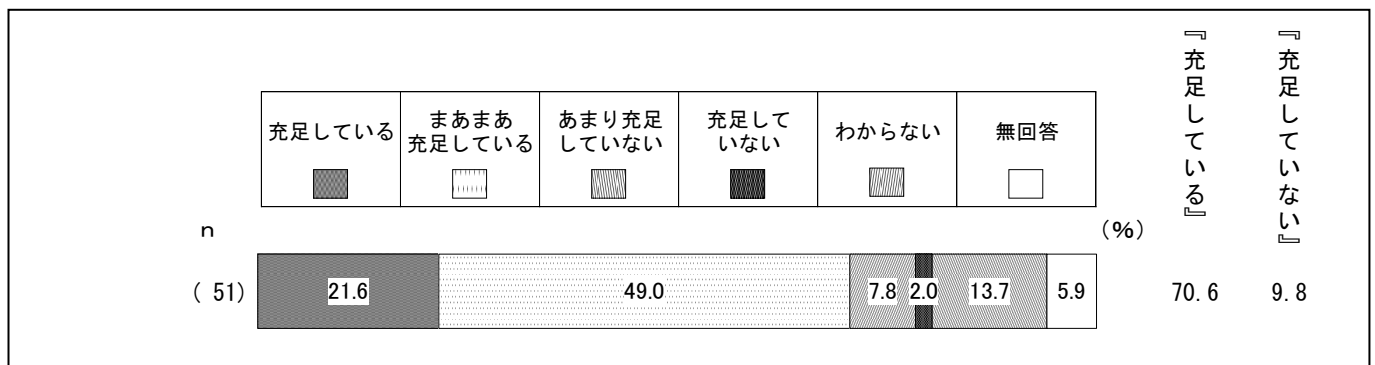
(1) 公共施設の利用状況 (問11)

過去1年間の公共施設の利用状況を聞いたところ、「月に1回以上利用した」(54.9%)が5割半ばと最も高く、「2～3か月に1回程度利用した」(11.8%)が1割を超え、「過去1年以内に1回程度利用した」(9.8%)、「半年に1回程度利用した」(7.8%)がともに1割未満となっています。一方、「過去1年以内は利用しなかった」(9.8%)は1割未満となっています。



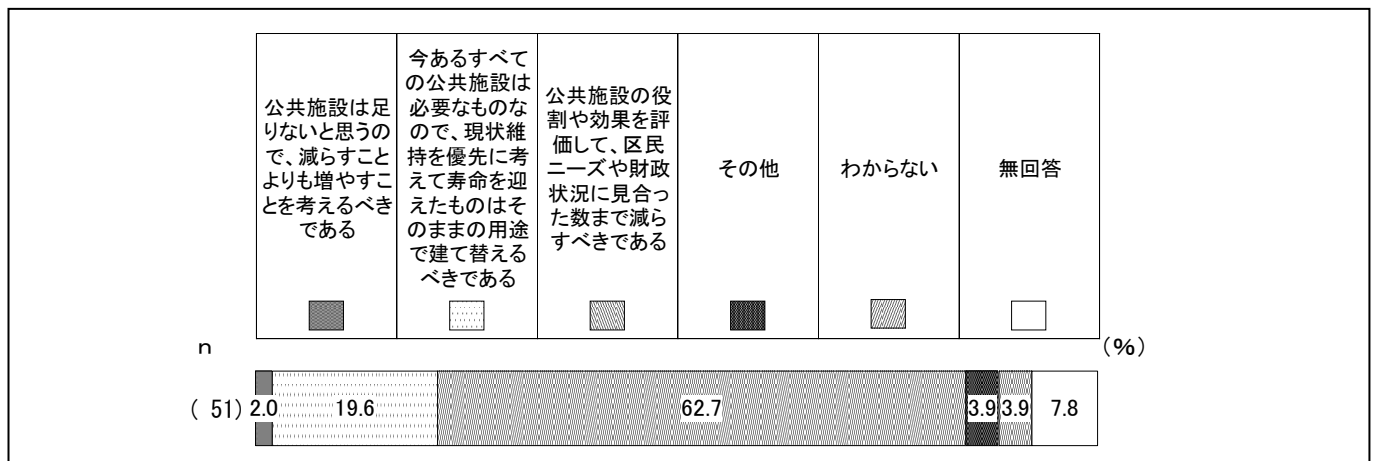
(2) 公共施設の量の充足 (問12)

「充足している」(21.6%)と「まあまあ充足している」(49.0%)を合わせた『充足している』(70.6%)が約7割となっています。一方、「あまり充足していない」(7.8%)と「充足していない」(2.0%)を合わせた『充足していない』(9.8%)は1割未満となっています。



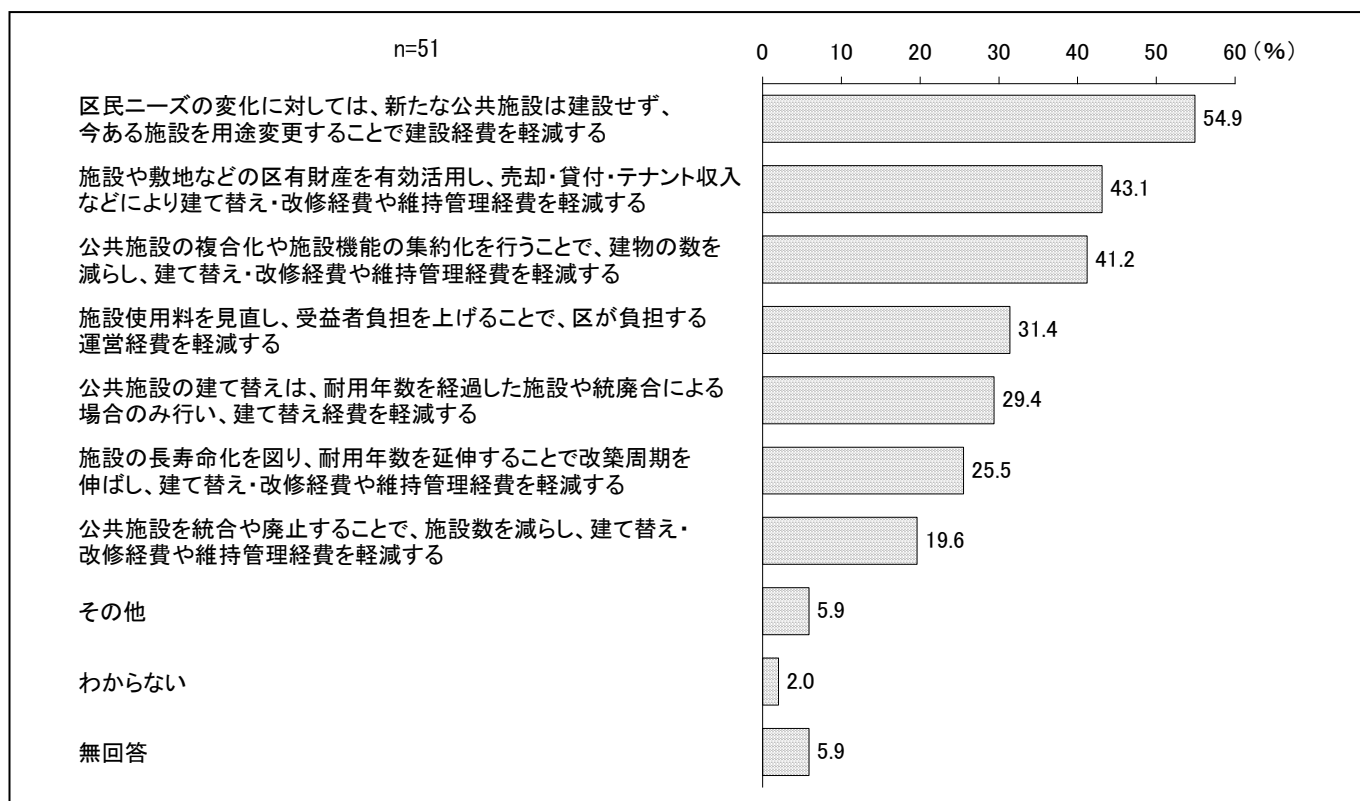
(3) 公共施設の総量の抑制 (問13)

「公共施設の役割や効果を評価して、区民ニーズや財政状況に見合った数まで減らすべきである」(62.7%)が6割を超えて最も高くなっています。「今あるすべての公共施設は必要なものなので、現状維持を優先に考えて寿命を迎えたものはそのままの用途で建て替えるべきである」(19.6%)が約2割、「公共施設は足りないと思うので、減らすことよりも増やすことを考えるべきである」(2.0%)はわずかとなっています。



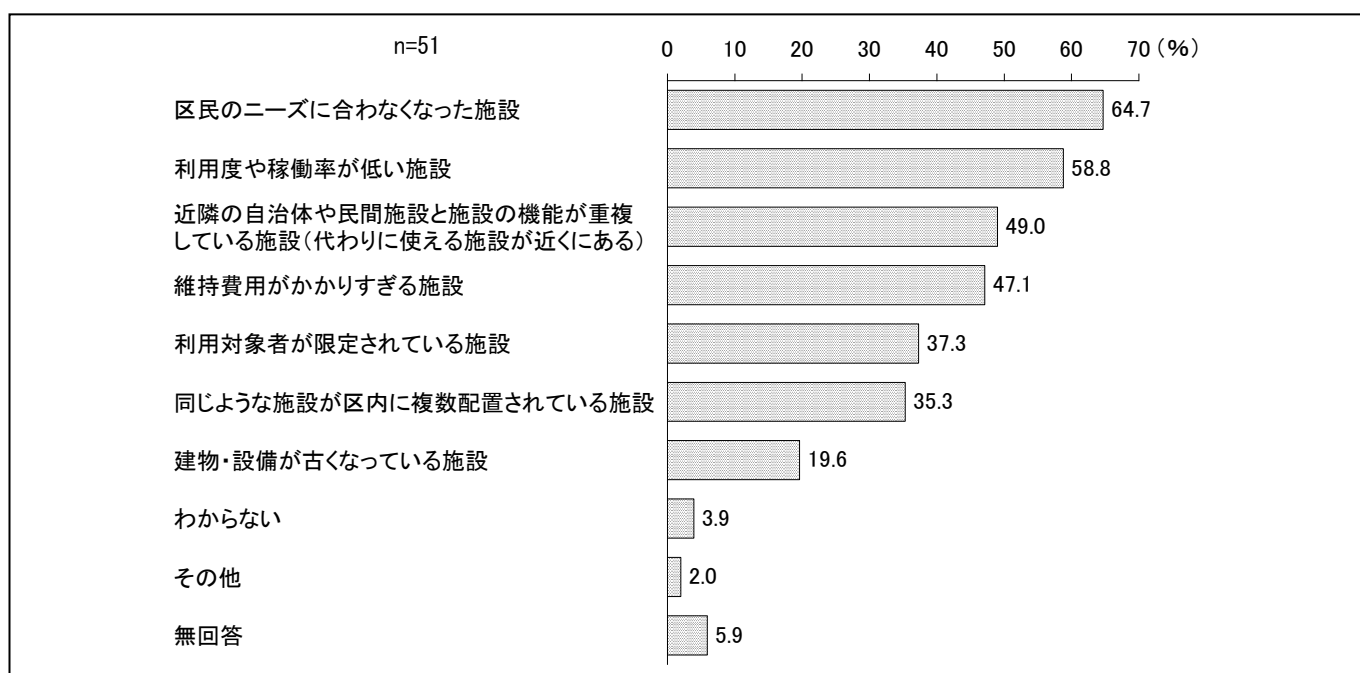
(4) 公共施設に対する今後の方策（問14）

適切と考えるものすべてを聞いたところ、「区民ニーズの変化に対しては、新たな公共施設は建設せず、今ある施設を用途変更することで建設経費を軽減する」（54.9%）が5割半ばと最も高く、次いで「施設や敷地などの区有財産を有効活用し、売却・貸付・テナント収入などにより建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」（43.1%）などとなっています。



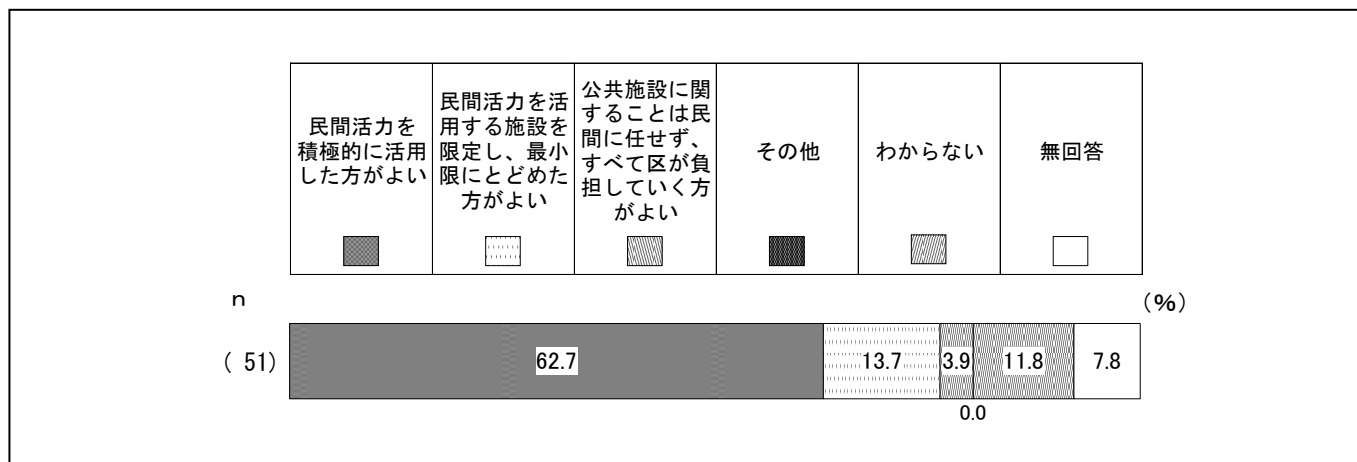
(5) 公共施設の総量を抑制する際に減らすべき施設（問15）

該当するものをすべて聞いたところ、「区民のニーズに合わなくなった施設」（64.7%）が6割半ばと最も高く、次いで「利用度や稼働率が低い施設」（58.8%）、「近隣の自治体や民間施設と施設の機能が重複している施設（代わりに使える施設が近くにある）」（49.0%）などとなっています。



(6) 民間活力を活用した整備や管理運営（問16）

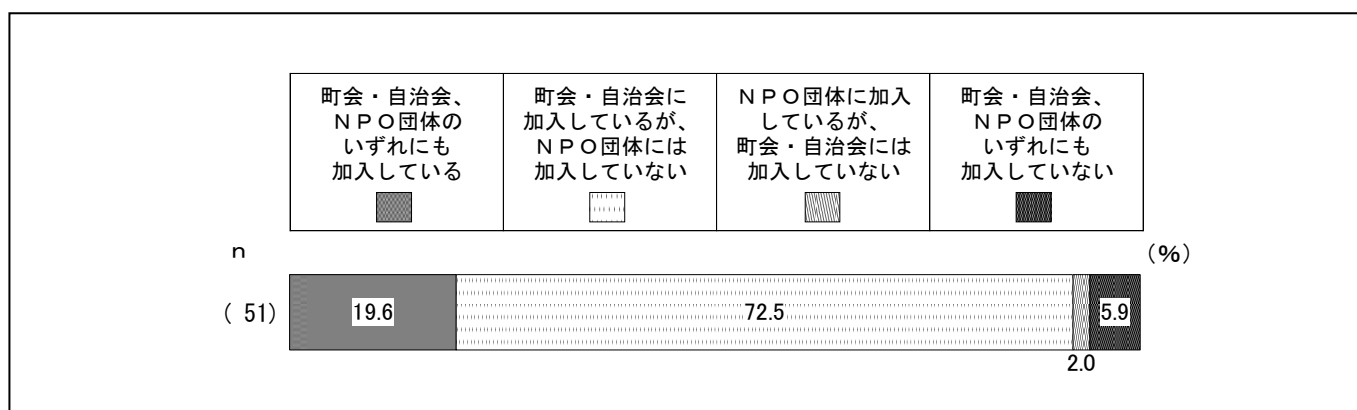
「民間活力を積極的に活用した方がよい」（62.7%）が6割を超えて最も高くなっています。「民間活力を活用する施設を限定し、最小限にとどめた方がよい」（13.7%）が1割を超え、「公共施設に関することは民間に任せず、すべて区が負担していく方がよい」（3.9%）はわずかとなっています。



7 町会・自治会、NPO団体への加入状況等

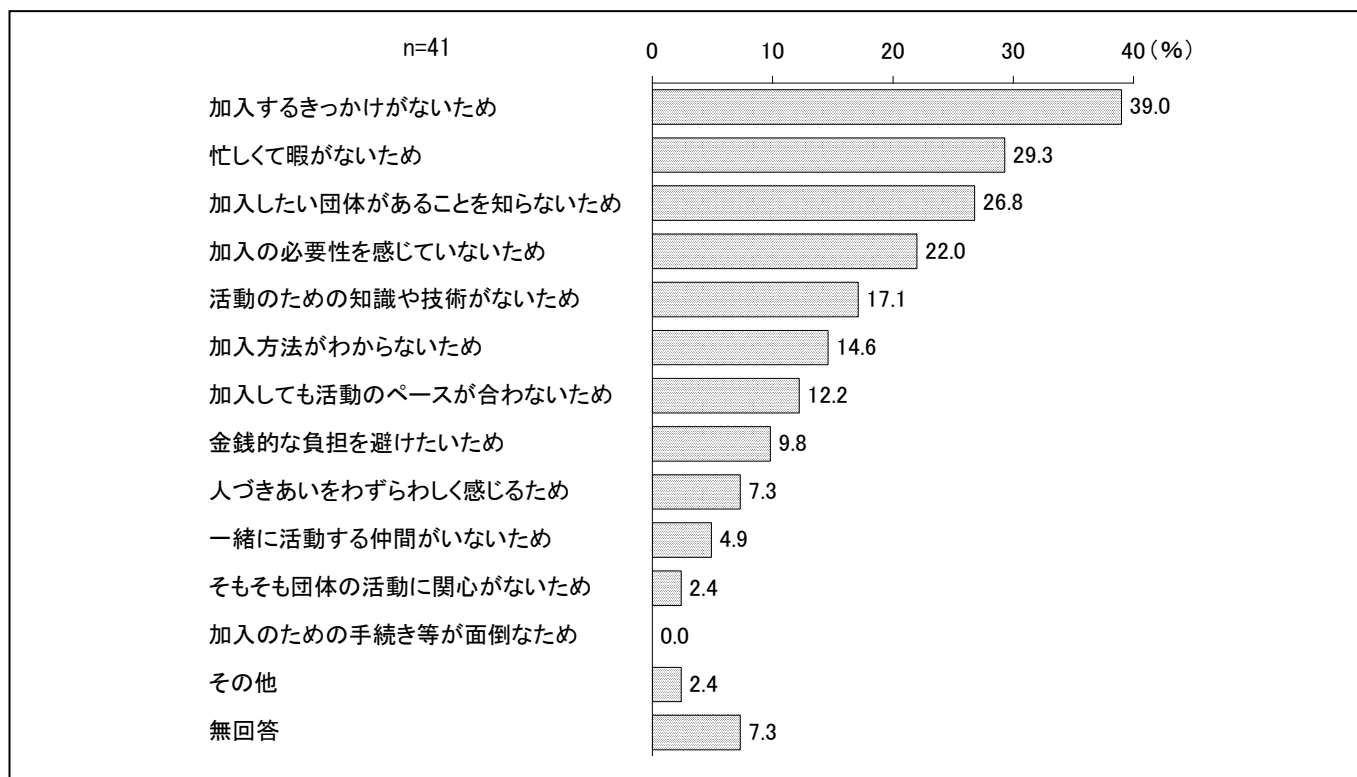
(1) 町会・自治会、NPO団体への加入状況（問17）

「町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない」（72.5%）が7割を超えて最も高くなっています。「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入している」（19.6%）が約2割、「NPO団体に加入しているが、町会・自治会には加入していない」（2.0%）はわずかとなっています。一方、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」（5.9%）は1割未満となっています。



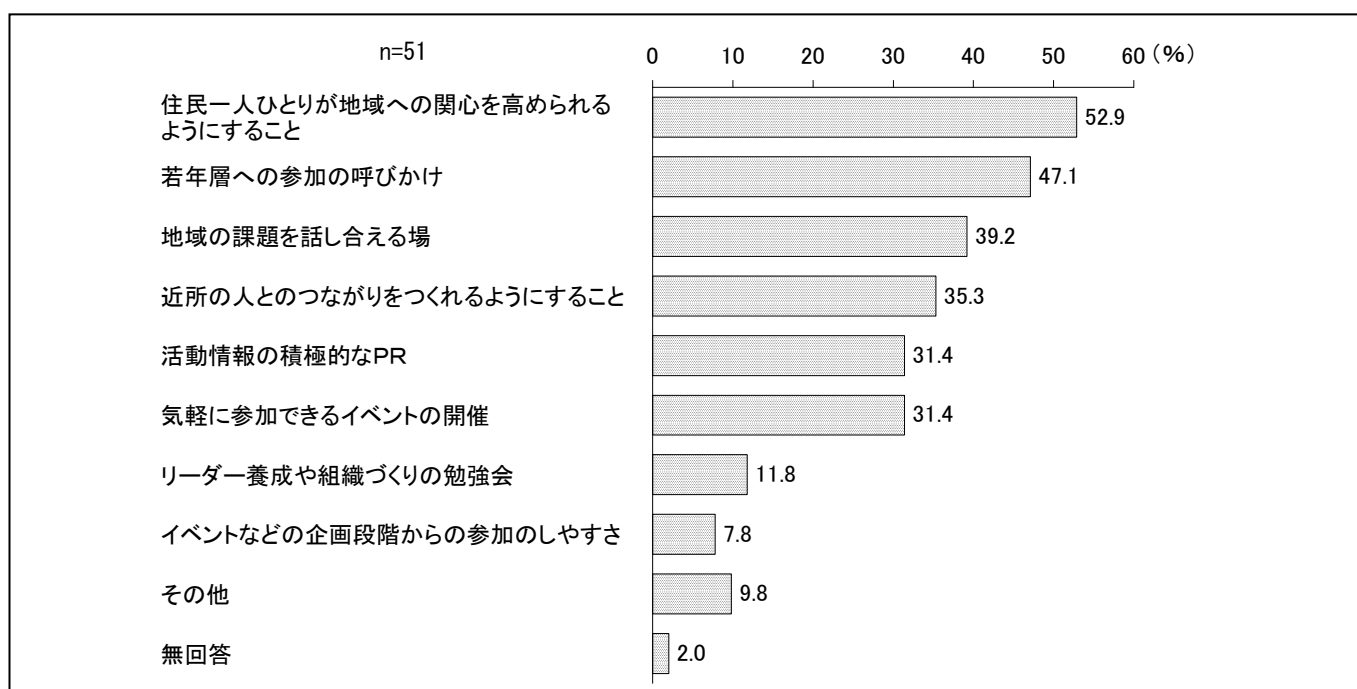
(2) 加入していない理由 (問17-1)

町会・自治会、NPO団体のいずれか、または、いずれにも「加入していない」と答えた人(41人)に、その理由を3つまで聞いたところ、「加入するきっかけがないため」(39.0%)が約4割と最も高く、次いで「忙しくて暇がないため」(29.3%)、「加入したい団体があることを知らないため」(26.8%)などとなっています。



(3) 地域の活動を活発にするために必要なこと (問18)

地域の活動を活発にするために必要なことを3つまで聞いたところ、「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」(52.9%)が5割を超えて最も高く、次いで「若年層への参加の呼びかけ」(47.1%)、「地域の課題を話し合える場」(39.2%)などとなっています。



ウェブ調査（一般区民）

② ウェブ調査（一般区民）

1 回答者の属性

(1) 性別（問1-ア）

	基数	構成比
男性	239	59.8%
女性	161	40.3

(2) 年齢（問1-イ）

	基数	構成比
20歳代	22	5.5%
30歳代	85	21.3
40歳代	132	33.0
50歳代	98	24.5
60歳代	50	12.5
70歳以上	13	3.3

(3) 居住地域（問1-ウ）

	基数	構成比
板橋地域	120	30.0%
常盤台地域	68	17.0
志村地域	74	18.5
赤塚地域	73	18.3
高島平地域	57	14.3
わからない	8	2.0

(4) 職業（問1-エ）

	基数	構成比
会社員・公務員	218	54.5%
自営業・自由業	51	12.8
会社役員	11	2.8
主婦・主夫	47	11.8
学生	3	0.8
アルバイト・パート	19	4.8
無職	48	12.0
その他	3	0.8

(5) 世帯構成（問1-オ）

	基数	構成比
単身世帯	96	24.0%
夫婦のみ	88	22.0
二世帯同居（子と同居）	137	34.3
二世帯同居（親と同居）	51	12.8
三世帯同居	23	5.8
その他	5	1.3

(6) 居住年数（問1-カ）

	基数	構成比
1年未満	10	2.5%
1年以上5年未満	50	12.5
5年以上10年未満	60	15.0
10年以上20年未満	98	24.5
20年以上	120	30.0
生まれたときから	62	15.5

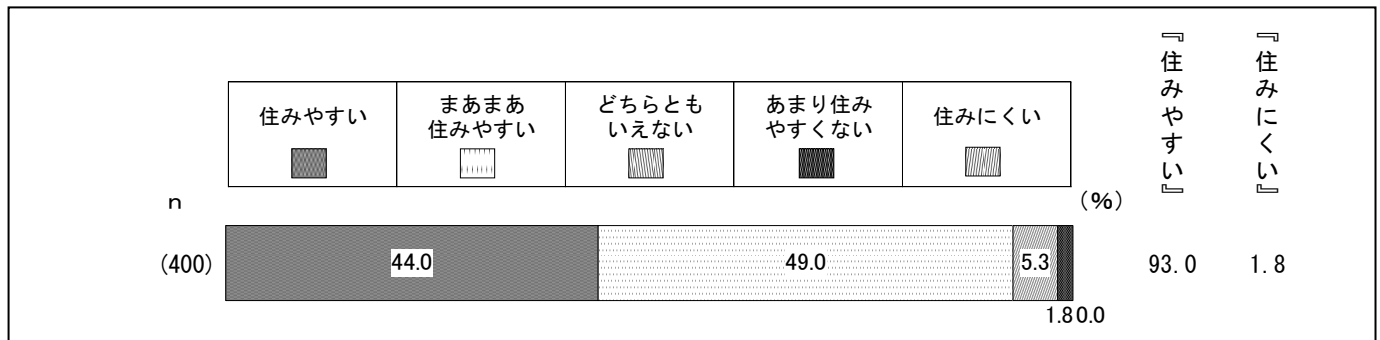
(7) 直前の居住地（問1-キ）

	基数	構成比
東京23区内（板橋区を除く）	192	56.8%
東京都内の他市町村内	28	8.3
埼玉県内	53	15.7
千葉県・神奈川県内	22	6.5
その他（海外を含む）	43	12.7

2 区での住み心地・定住意向

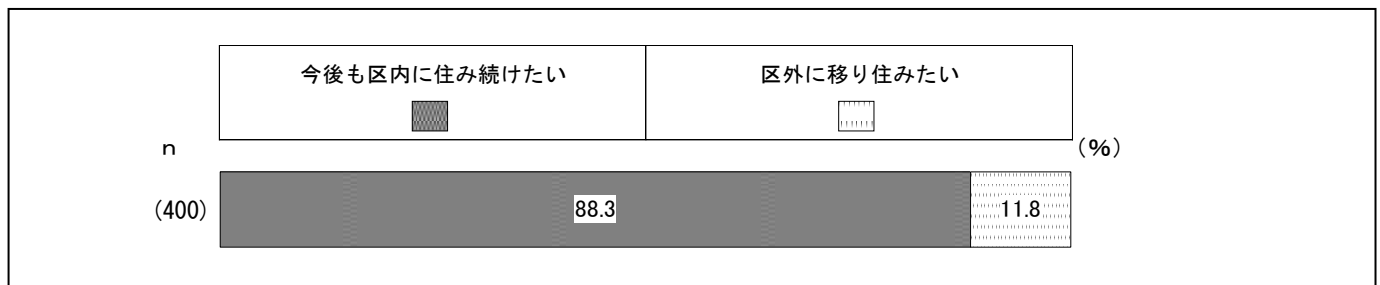
(1) 住みやすさ (問2)

「まあまあ住みやすい」(49.0%)が約5割と最も高く、これに「住みやすい」(44.0%)を合わせた『住みやすい』(93.0%)が9割を超えています。一方、「あまり住みやすくない」(1.8%)はわずかとなっています。



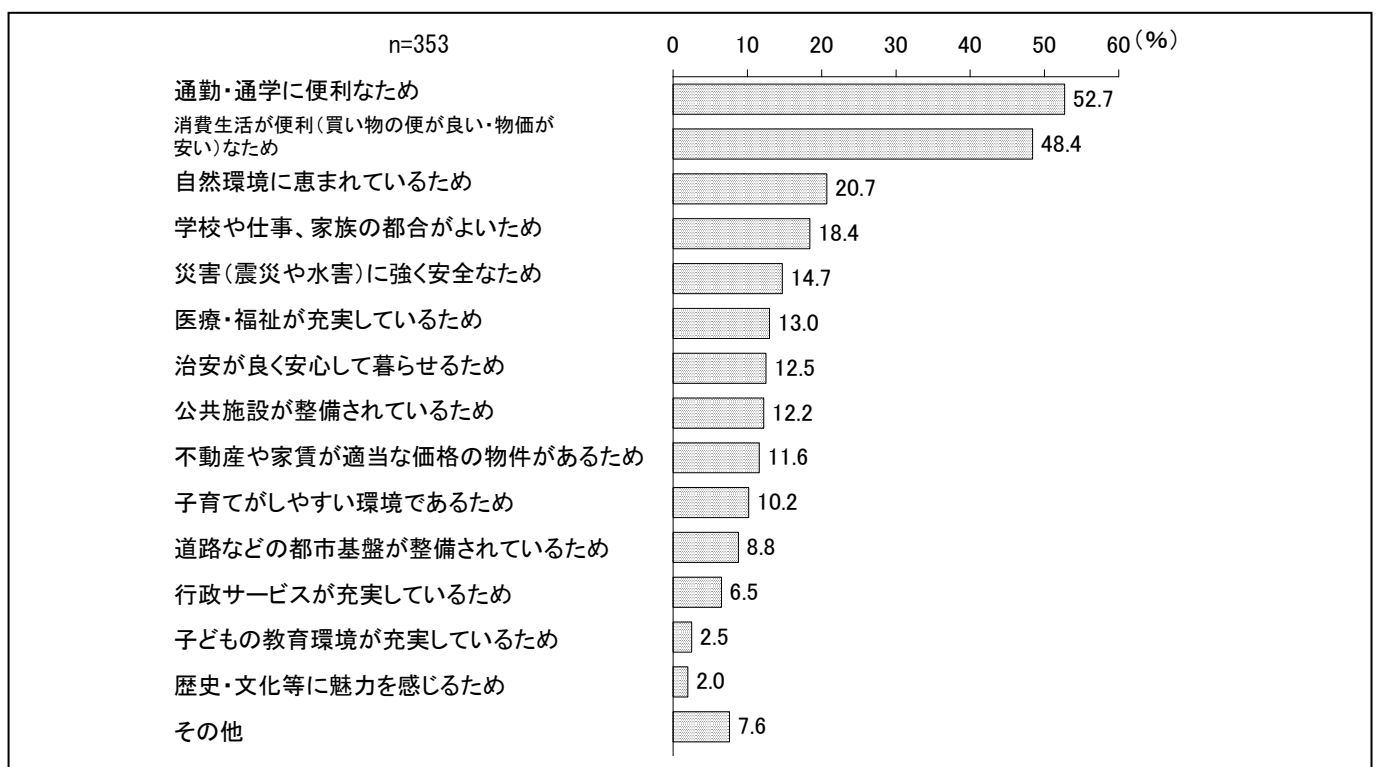
(2) 定住意向 (問3)

「今後も区内に住み続けたい」(88.3%)が9割近く、「区外に移り住みたい」(11.8%)は1割を超える程度となっています。



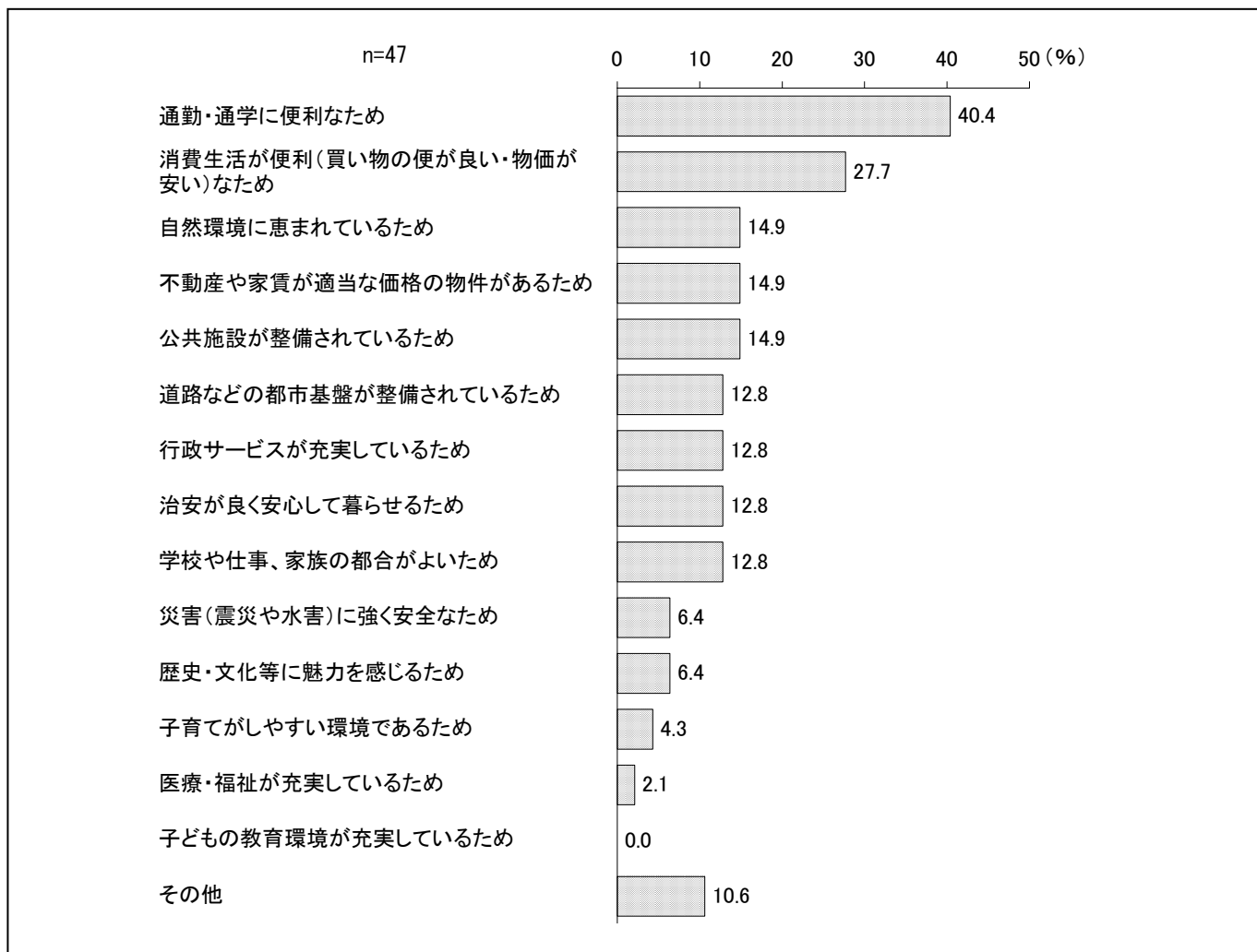
(3) 区内に住み続けたい理由 (問3-1)

区内に住み続けたいと答えた人(353人)にその理由を3つまで聞いたところ、「通勤・通学に便利のため」(52.7%)が5割を超えて最も高く、次いで「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」(48.4%)、「自然環境に恵まれているため」(20.7%)などとなっています。



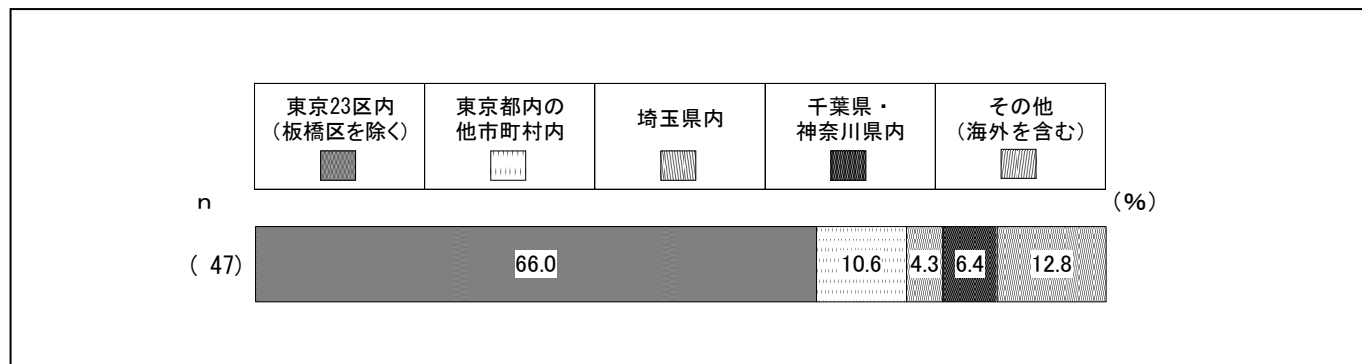
(4) 区外に移り住みたい理由 (問3-2)

区外に移り住みたいと答えた人(47人)にその理由を3つまで聞いたところ、区外の方が「通勤・通学に便利のため」(40.4%)が4割と最も高く、次いで「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)のため」(27.7%)、「自然環境に恵まれているため」(14.9%)などとなっています。



(5) 区外に移り住むとしたら住みたい地域 (問3-3)

「区外に移り住みたい」と答えた人(47人)に、区外に移り住むとしたら住みたい地域を聞いたところ、「東京23区内(板橋区を除く)」(66.0%)が6割半ばと最も高くなっています。「東京都内の他市町村内」(10.6%)は1割を超えるものの、「千葉県・神奈川県内」(6.4%)、「埼玉県内」(4.3%)はいずれも1割未満となっています。



3 施策に対する満足度・重要度

(1) 施策の満足度（問4）

①各施策項目の満足度

56の施策項目の満足度について聞いたところ、「満足」と「まあ満足」を合計した値が高い順に並べると以下のとおりとなりました。

最も割合の高い施策項目は、「公共交通」（73.0%）で7割を超えています。次いで「ごみ出しルール」（58.8%）、「公園・緑地の整備」（58.3%）、「食品衛生」（56.5%）などとなっています。

順位	施策項目	満足度 (%)
1	公共交通	73.0
2	ごみ出しルール	58.8
3	公園・緑地の整備	58.3
4	食品衛生	56.5
5	自然地の保全	55.8
6	区への愛着	55.0
7	防犯対策	51.5
8	医療体制	48.5
9	水害対策	46.5
	歩行の安全	46.5
11	道路の安全	45.0
12	消費生活	42.8
13	魅力ある商店街	40.5
14	健康づくり	38.8
15	リサイクル	38.5
16	快適なまち	38.0
17	防災意識	37.5
18	スポーツ	37.0
19	子育て環境	36.5
20	住居の広さ	36.0
21	空気・水	34.8
22	I T活用	33.5
23	名所・旧跡、イベント	32.8
24	歴史的文化財	32.3
25	区職員の対応	29.8
26	区政情報の公開	29.5
27	高齢者福祉サービス	29.3
28	児童福祉サービス	28.0

順位	施策項目	満足度 (%)
29	子どもの健全育成	27.3
30	地域連携による子育て	25.5
31	労働環境	25.0
	危機管理体制	25.0
33	文化芸術	24.8
34	個人情報の保護	24.3
35	地域社会活動	24.0
36	震災に強いまち	23.5
37	障がい者福祉サービス	22.8
	区への誇り	22.8
39	生涯学習	22.3
40	ボランティア・NPO活動	20.8
	伝統芸能	20.8
	平和意識	20.8
43	高齢者の社会参加	19.8
44	男女平等の社会参画	19.5
	まちなみ・景観	19.5
46	区計画への参加機会	19.3
47	活力ある工業	16.8
	バリアフリー	16.8
49	自転車利用のマナー	15.8
	区民の声の区政への反映	15.8
51	障がい者の社会参加	15.0
52	家事・育児・介護の男女協力	14.5
53	省エネルギー	12.0
54	国際交流	10.5
55	農地の保全・活用	9.3
56	新産業創出	7.5

施策の満足度<<全56施策項目>>

(%)

		満足	まあ満足	いどちらとも えな	やや不満	不満	わからない
基本目標Ⅰ 暮らしやすか に生きがいをも って	(1) 子育て環境	3.5	33.0	28.0	4.3	2.5	28.8
	(2) 児童福祉サービス	2.3	25.8	33.5	5.8	1.5	31.3
	(3) 子どもの健全育成	2.0	25.3	37.5	3.3	3.3	28.8
	(4) 医療体制	8.0	40.5	31.0	7.3	2.3	11.0
	(5) 地域連携による子育て	2.8	22.8	37.8	6.5	1.0	29.3
	(6) 健康づくり	4.8	34.0	39.3	6.3	1.3	14.5
	(7) 生涯学習	2.0	20.3	44.0	7.5	1.5	24.8
	(8) スポーツ	3.0	34.0	34.8	9.0	2.5	16.8
	(9) 住居の広さ	4.3	31.8	36.0	16.8	8.0	3.3
	(10) 高齢者福祉サービス	4.8	24.5	35.8	5.0	1.8	28.3
	(11) 障がい者福祉サービス	3.0	19.8	38.5	4.0	1.5	33.3
	(12) 高齢者の社会参加	2.5	17.3	40.8	4.8	1.5	33.3
	(13) 障がい者の社会参加	2.0	13.0	41.0	5.0	1.3	37.8
	(14) 家事・育児・介護の男女協力	1.3	13.3	44.8	6.5	2.3	32.0
	(15) 男女平等の社会参画	1.8	17.8	46.0	3.0	3.0	28.5
	(16) 労働環境	2.3	22.8	42.5	7.3	4.3	21.0
	(17) 消費生活	4.3	38.5	36.3	2.0	2.3	16.8
基本目標Ⅱ と活 力の あ る ま ち	(18) 地域社会活動	2.5	21.5	44.3	6.3	1.8	23.8
	(19) ボランティア・NPO活動	2.0	18.8	44.5	7.0	2.3	25.5
	(20) 魅力ある商店街	10.5	30.0	27.0	17.0	9.8	5.8
	(21) 活力ある工業	2.0	14.8	45.0	10.3	3.3	24.8
	(22) 農地の保全・活用	1.5	7.8	43.3	14.5	6.8	26.3
	(23) 新産業創出	1.8	5.8	41.3	15.0	4.5	31.8
	(24) 名所・旧跡、イベント	4.5	28.3	40.3	11.0	4.5	11.5
	(25) 伝統芸能	2.3	18.5	41.3	6.5	1.5	30.0
	(26) 歴史的文化財	4.0	28.3	38.0	6.3	1.8	21.8
	(27) 文化芸術	1.8	23.0	44.3	9.5	3.0	18.5
基本目標Ⅲ 安全で安心な うるお いのあ るま ち	(28) 国際交流	1.3	9.3	40.3	12.0	4.8	32.5
	(29) 平和意識	1.3	19.5	49.3	6.0	1.8	22.3
	(30) 防災意識	3.0	34.5	41.3	6.5	2.3	12.5
	(31) 防犯対策	4.3	47.3	27.0	11.3	4.3	6.0
	(32) 危機管理体制	1.8	23.3	46.3	7.3	3.3	18.3
	(33) 食品衛生	9.3	47.3	29.5	4.0	1.0	9.0
	(34) 自転車利用のマナー	1.8	14.0	28.3	26.5	24.5	5.0
	(35) 震災に強いまち	3.5	20.0	37.5	18.0	9.3	11.8
	(36) 水害対策	8.5	38.0	30.0	11.5	4.0	8.0
	(37) 自然地の保全	10.8	45.0	29.0	6.0	3.8	5.5
	(38) 公園・緑地の整備	13.8	44.5	23.3	8.5	4.5	5.5
	(39) 空気・水	5.3	29.5	37.3	13.3	8.0	6.8
	(40) まちなみ・景観	2.0	17.5	49.0	17.3	8.0	6.3
	(41) 省エネルギー	1.5	10.5	45.0	12.3	3.5	27.3
	(42) ごみ出しルール	8.8	50.0	27.8	6.0	1.5	6.0
	(43) リサイクル	3.8	34.8	40.5	5.0	1.0	15.0
	(44) 快適なまち	3.3	34.8	45.8	5.3	2.3	8.8
(45) 公共交通	21.5	51.5	15.5	5.8	2.0	3.8	
(46) 道路の安全	6.0	39.0	35.0	9.8	2.8	7.5	
(47) 歩行の安全	6.0	40.5	31.8	14.0	3.5	4.3	
(48) バリアフリー	2.0	14.8	46.0	14.8	4.8	17.8	
(49) IT活用	3.0	30.5	41.5	5.0	2.8	17.3	
(50) 個人情報の保護	2.8	21.5	41.0	2.3	1.3	31.3	
(51) 区政情報の公開	2.8	26.8	41.0	3.3	1.8	24.5	
計画 推 進 に 向 け	(52) 区計画への参加機会	1.3	18.0	41.5	7.5	2.3	29.5
	(53) 区民の声の区政への反映	2.3	13.5	40.5	10.8	5.3	27.8
	(54) 区職員の対応	4.3	25.5	39.0	8.3	6.5	16.5
	(55) 区への愛着	11.8	43.3	33.0	4.3	2.5	5.3
	(56) 区への誇り	3.8	19.0	50.5	8.8	4.8	13.3

②加重平均値でみる満足度

加重平均値による施策の満足度《スコア順》

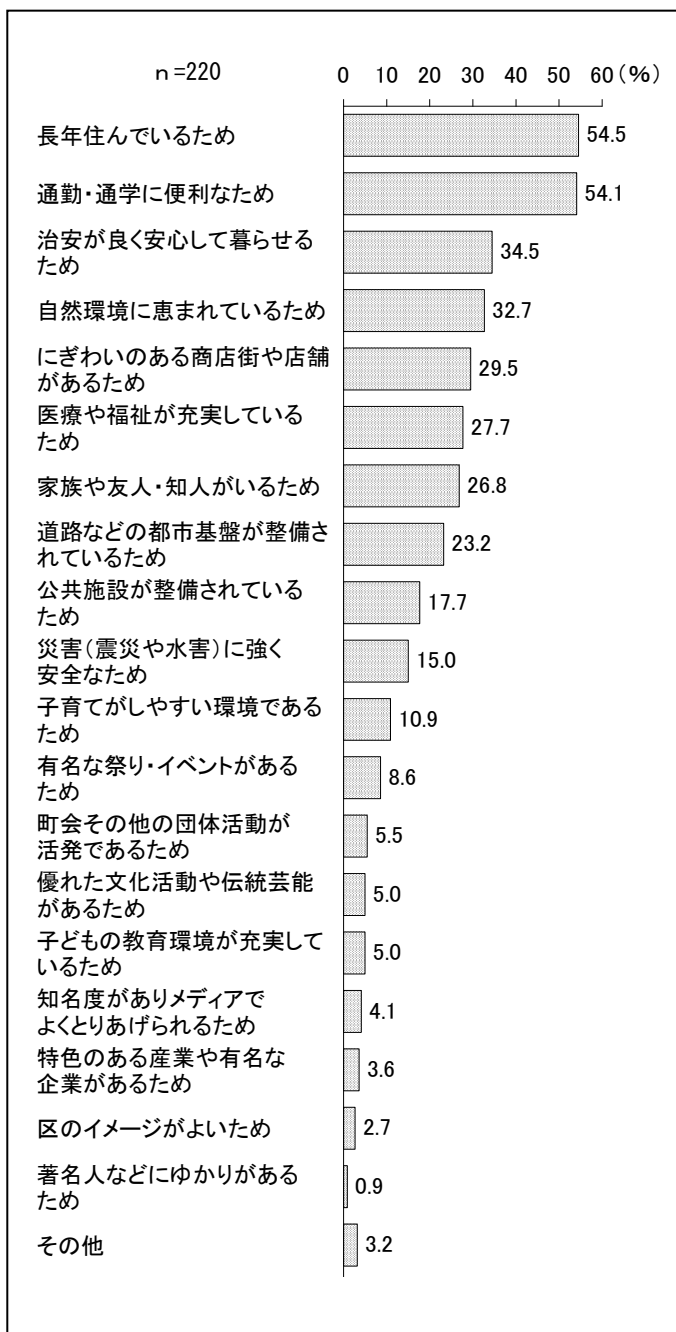
順位	施策項目	加重平均
1	公共交通	0.88
2	食品衛生	0.66
3	ごみ出しルール	0.62
4	区への愛着	0.61
5	公園・緑地の整備	0.58
6	自然地の保全	0.56
7	医療体制	0.50
8	消費生活	0.49
9	子育て環境	0.43
10	健康づくり	0.41
	リサイクル	0.41
12	水害対策	0.39
	道路の安全	0.39
14	防犯対策	0.38
15	高齢者福祉サービス	0.36
16	快適なまち	0.35
17	歴史的文化財	0.34
	防災意識	0.34
	区政情報の公開	0.34
20	歩行の安全	0.33
21	個人情報の保護	0.32
22	児童福祉サービス	0.31
	スポーツ	0.31
	I T活用	0.31
25	地域連携による子育て	0.28
	障がい者福祉サービス	0.28
27	子どもの健全育成	0.27
28	高齢者の社会参加	0.22
	地域社会活動	0.22

順位	施策項目	加重平均
30	名所・旧跡、イベント	0.19
	伝統芸能	0.19
32	生涯学習	0.18
33	男女平等の社会参画	0.17
34	平和意識	0.16
	危機管理体制	0.16
36	障がい者の社会参加	0.15
	労働環境	0.15
	ボランティア・NPO活動	0.15
	魅力ある商店街	0.15
36	区職員の対応	0.15
	文化芸術	0.13
42	空気・水	0.12
	区計画への参加機会	0.12
44	区への誇り	0.10
45	住居の広さ	0.08
46	家事・育児・介護の男女協力	0.07
47	活力ある工業	0.03
48	区民の声の区政への反映	-0.04
49	バリアフリー	-0.07
50	省エネルギー	-0.08
51	震災に強いまち	-0.11
52	まちなみ・景観	-0.13
53	国際交流	-0.14
54	新産業創出	-0.22
55	農地の保全・活用	-0.23
56	自転車利用のマナー	-0.61

問4で「板橋区に愛着を感じる」「板橋区が他の自治体と比べて誇れると感じる」と回答した人に、その理由を5つまで聞いたところ、以下の結果となりました。

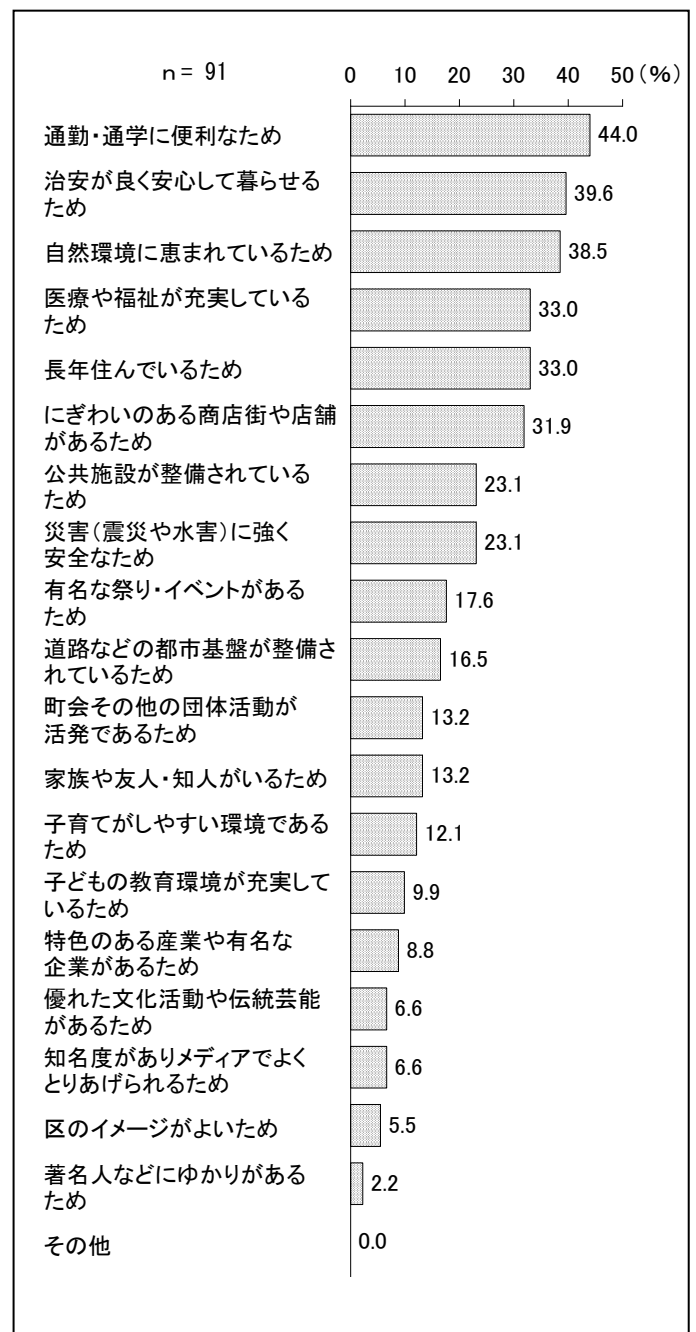
(2) 板橋区に愛着を感じる理由 (問4-1)

「長年住んでいるため」(54.5%)が5割半ばと最も高く、次いで「通勤・通学に便利のため」(54.1%)、「治安が良く安心して暮らせるため」(34.5%)などとなっています。



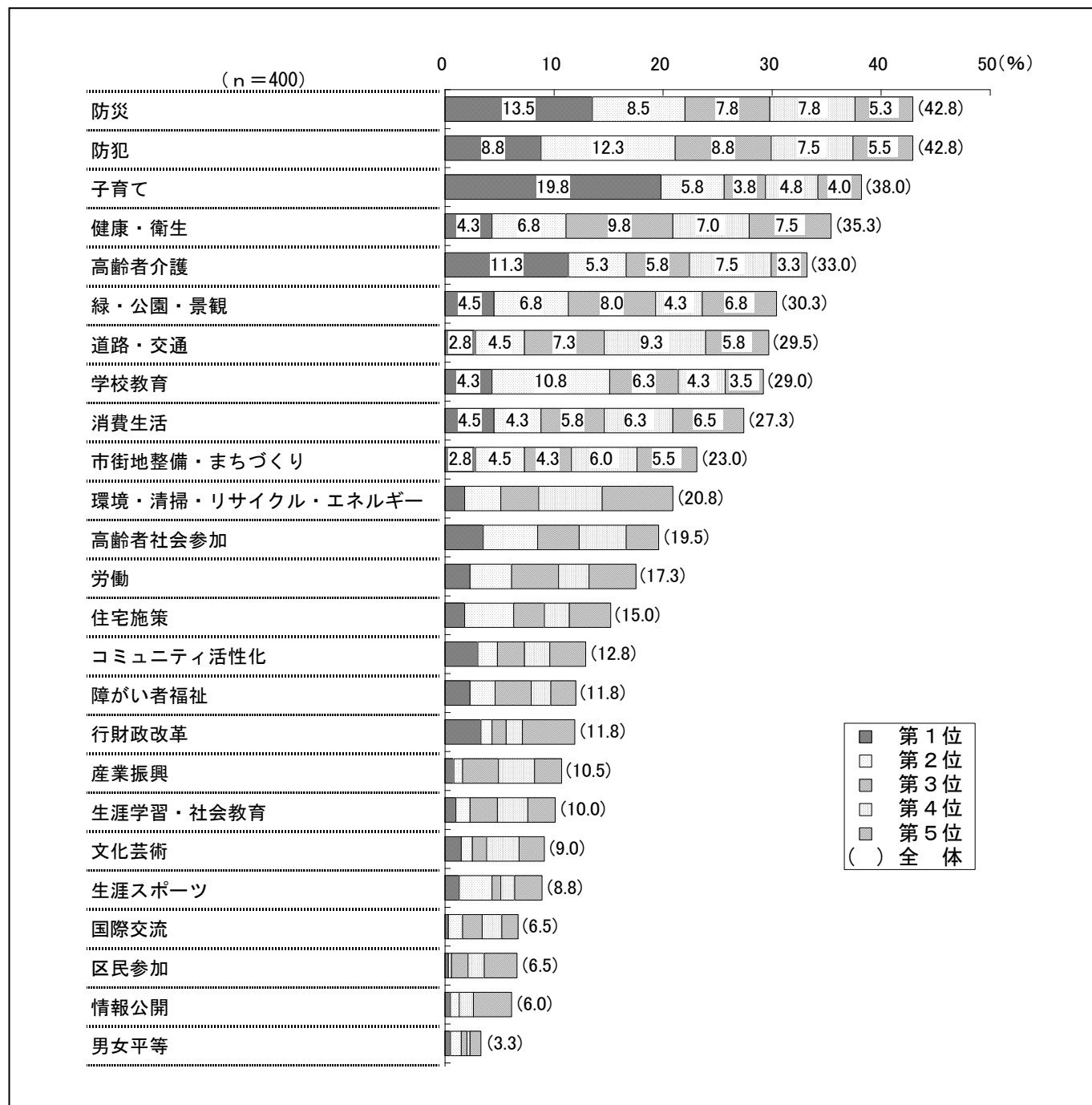
(3) 板橋区が他の自治体と比べて誇れると感じる理由 (問4-2)

「通勤・通学に便利のため」(44.0%)が4割半ばと最も高く、次いで「治安が良く安心して暮らせるため」(39.6%)、「自然環境に恵まれているため」(38.5%)などとなっています。



(4) 重点的に力を入れるべき分野（問5）

提示した25の分野について、今後、区が重点的に力を入れるべき分野を第1位から第5位までを累計した『全体』でみると、「防災」、「防犯」（ともに42.8%）が4割を超えて最も高くなっています。



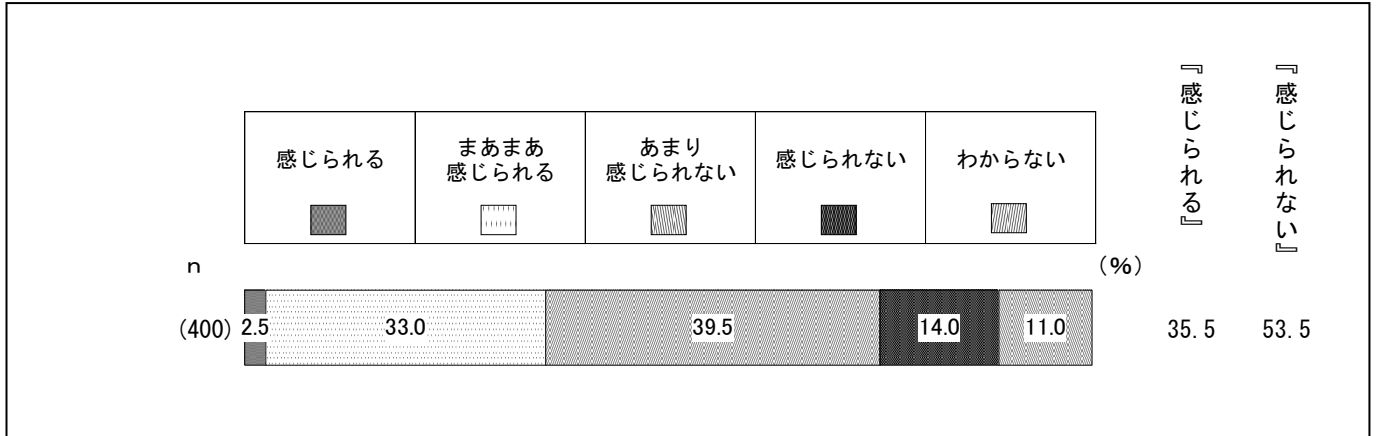
【第1位に挙げられた分野（上位5分野）】

順位	平成25年度	(%)
1	子育て	19.8
2	防災	13.5
3	高齢者介護	11.3
4	防犯	8.8
5	緑・公園・景観	4.5
	消費生活	4.5

4 行政サービスと住民負担のバランス

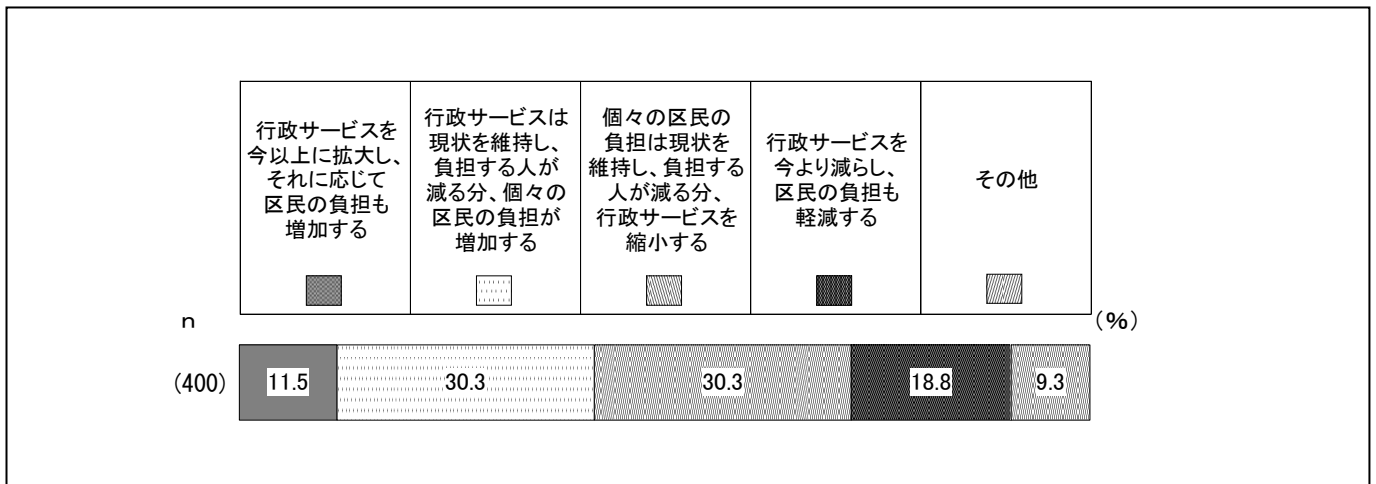
(1) 税金に見合った行政サービスの提供 (問6)

「感じられる」(2.5%)と「まあまあ感じられる」(33.0%)を合わせた『感じられる』(35.5%)が3割半ばとなっています。一方、「あまり感じられない」(39.5%)と「感じられない」(14.0%)を合わせた『感じられない』(53.5%)は5割を超えています。



(2) 将来的な行政サービスと住民負担のバランス (問7)

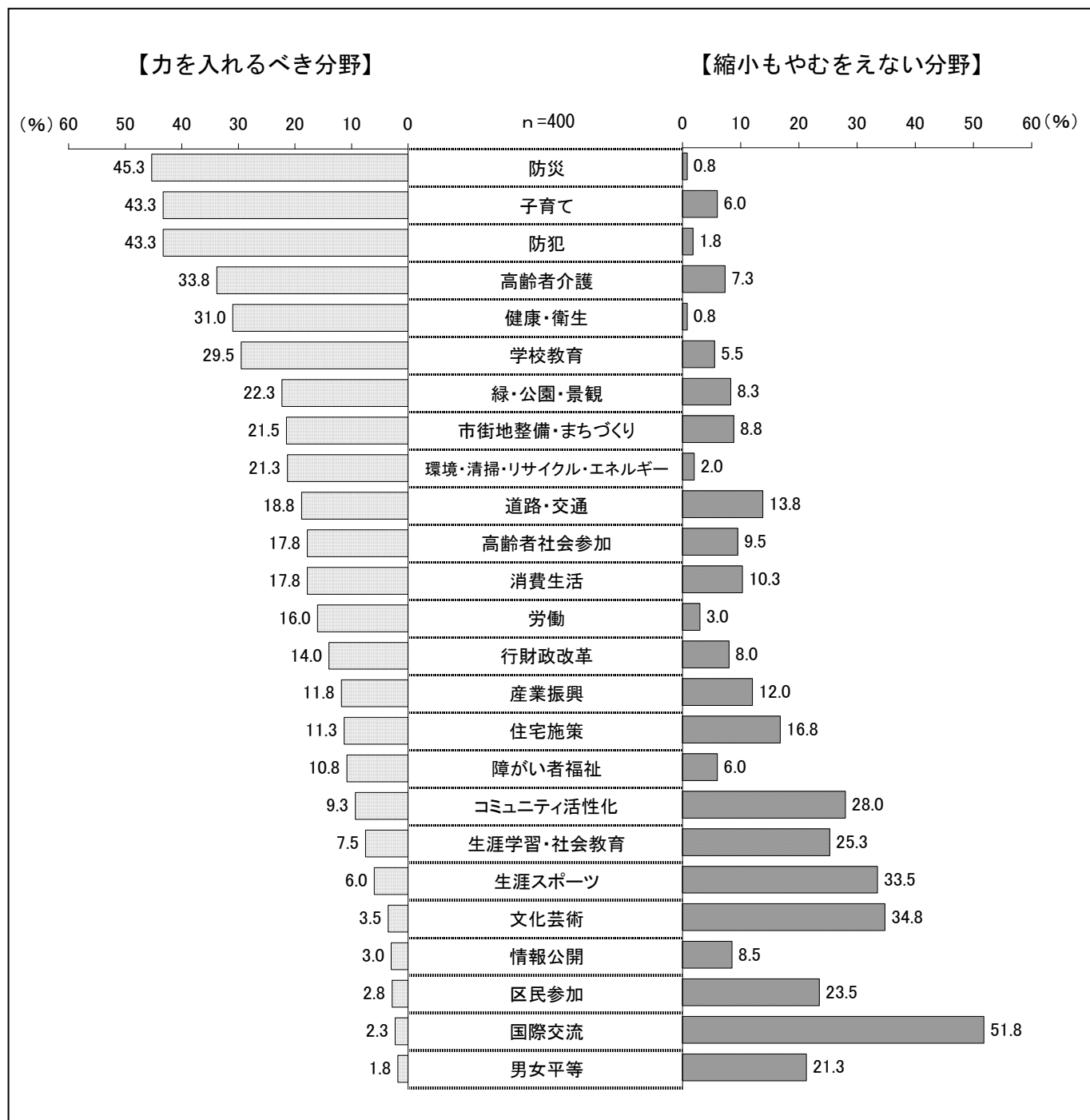
「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」、「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」(ともに30.3%)が3割と最も高くなっています。「行政サービスを今より減らし、区民の負担も軽減する」(18.8%)が2割近く、「行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する」(11.5%)は1割を超えています。



(3) 行政サービスで力を入れるべき分野と縮小もやむをえない分野（問8）

提示した25の分野について、「力を入れるべき分野」では、「防災」(45.3%)が4割半ばと最も高く、次いで「子育て」と「防犯」(ともに43.3%)などとなっています。

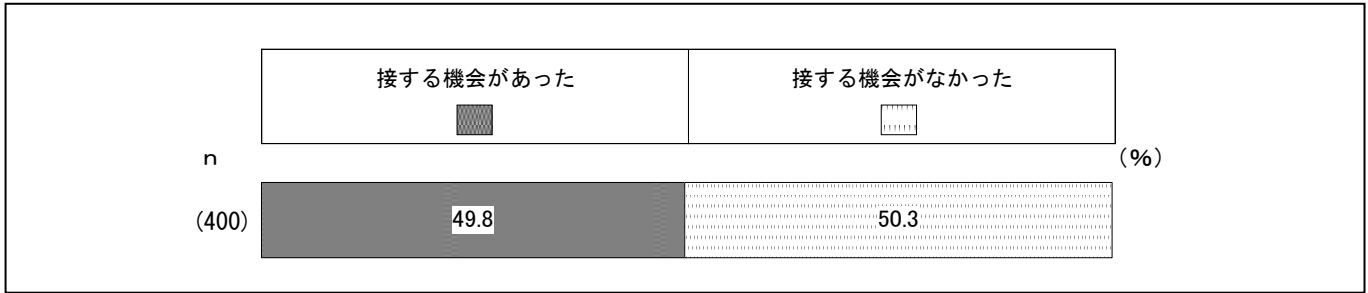
一方、「縮小もやむをえない分野」では、「国際交流」(51.8%)が5割を超えて最も高く、次いで「文化芸術」(34.8%)、「生涯スポーツ」(33.5%)などとなっています。



5 板橋区職員期待する能力・資質

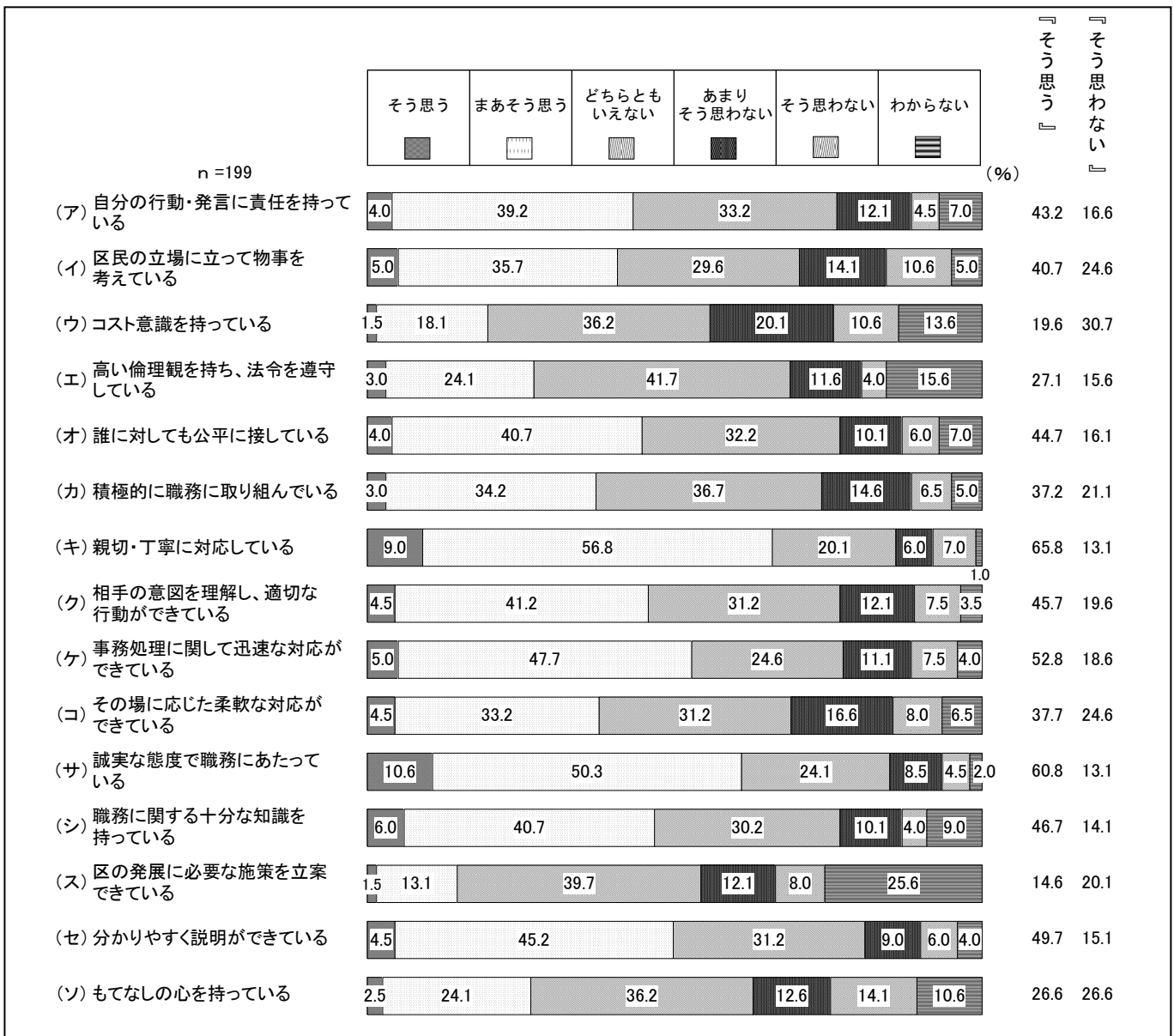
(1) 最近1年間での職員と接する機会の有無 (問9)

「接する機会があった」(49.8%)と「接する機会がなかった」(50.3%)とが、ほぼ均衡しています。



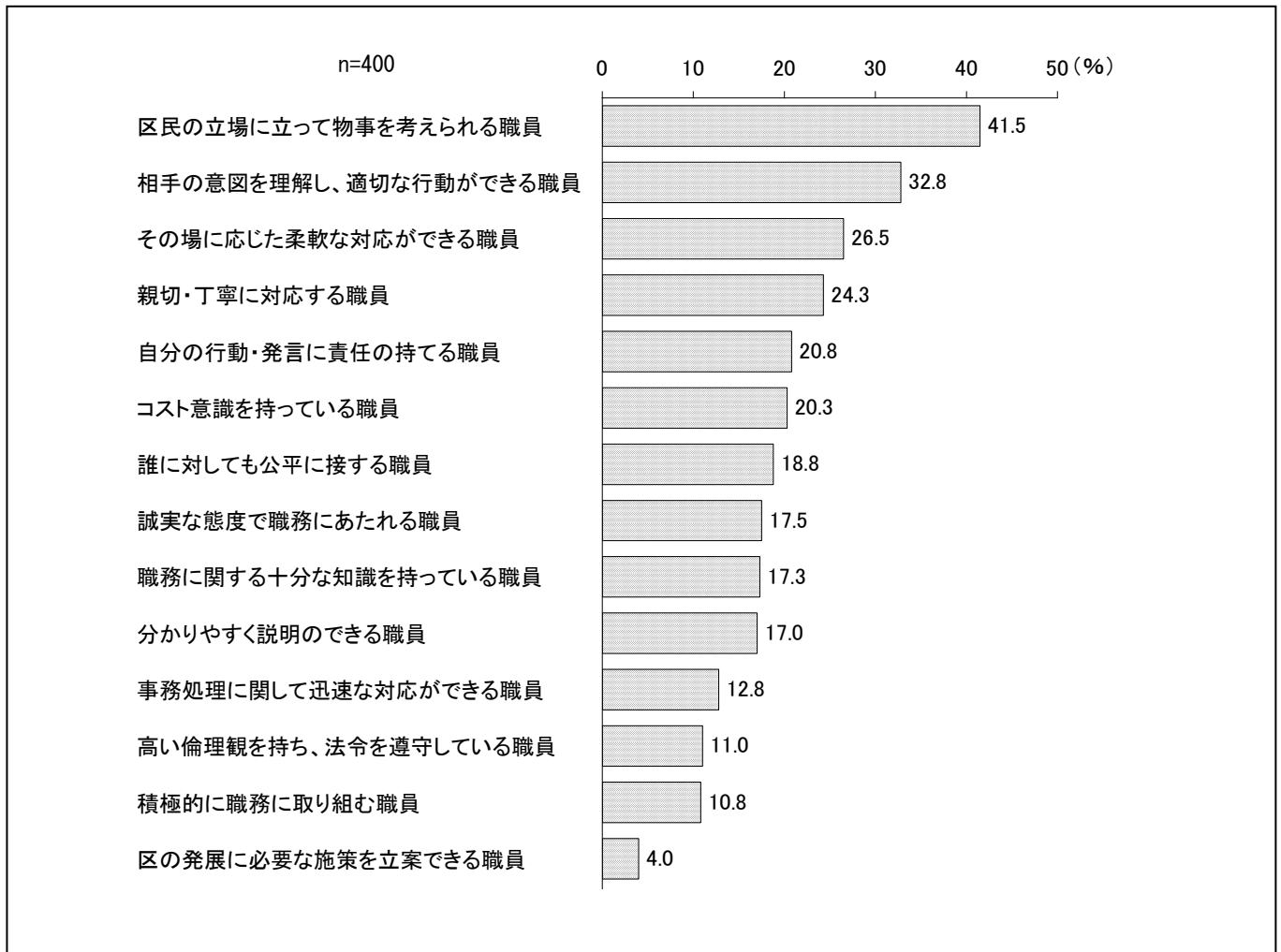
(2) 職員の能力・資質の現状評価 (問9-1)

職員と「接する機会があった」と答えた人(199人)に、職員の能力・資質の現状評価を聞いたところ、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』では、「親切・丁寧に対応している」(65.8%)が6割半ばと最も高く、次いで「誠実な態度で職務にあたっている」(60.8%)などとなっています。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』では、「コスト意識を持っている」(30.7%)が約3割となっています。



(3) 職員に求める姿 (問10)

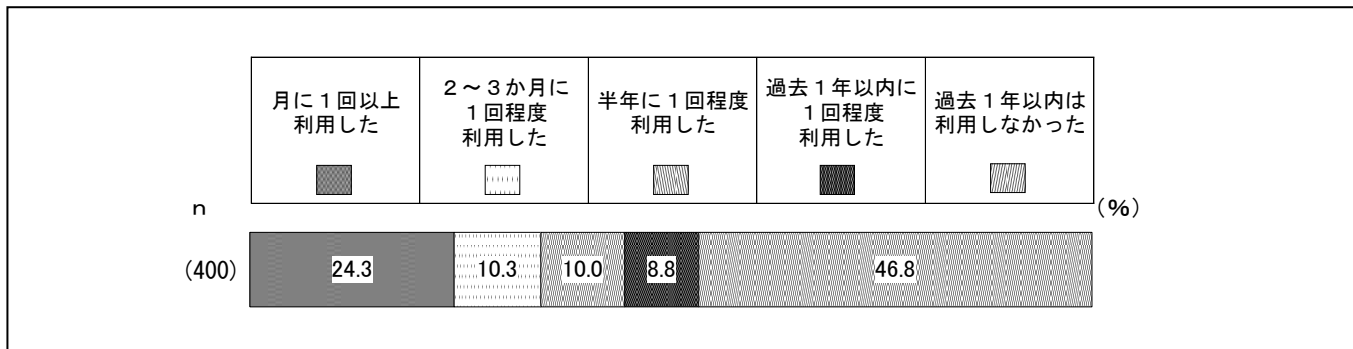
「区民の立場に立って物事を考えられる職員」(41.5%)が4割を超えて最も高く、次いで「相手の意図を理解し、適切な行動ができる職員」(32.8%)、「その場に応じた柔軟な対応ができる職員」(26.5%)などとなっています。



6 板橋区の公共施設のあり方

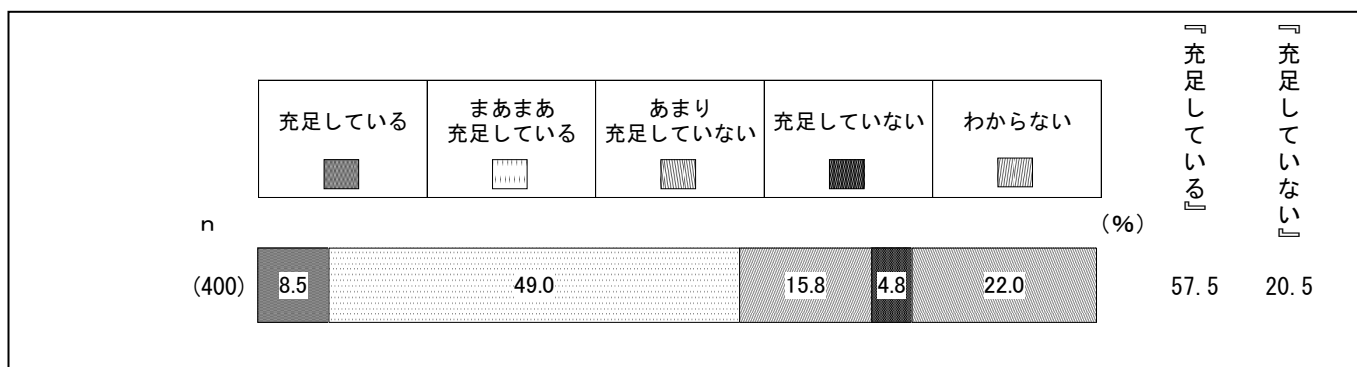
(1) 公共施設の利用状況 (問11)

過去1年間の公共施設の利用状況を聞いたところ、利用した人の中では「月に1回以上利用した」(24.3%)が2割半ばと最も高く、「2～3か月に1回程度利用した」(10.3%)、「半年に1回程度利用した」(10.0%)がともに1割となっています。一方、「過去1年以内は利用しなかった」(46.8%)は4割半ばとなっています。



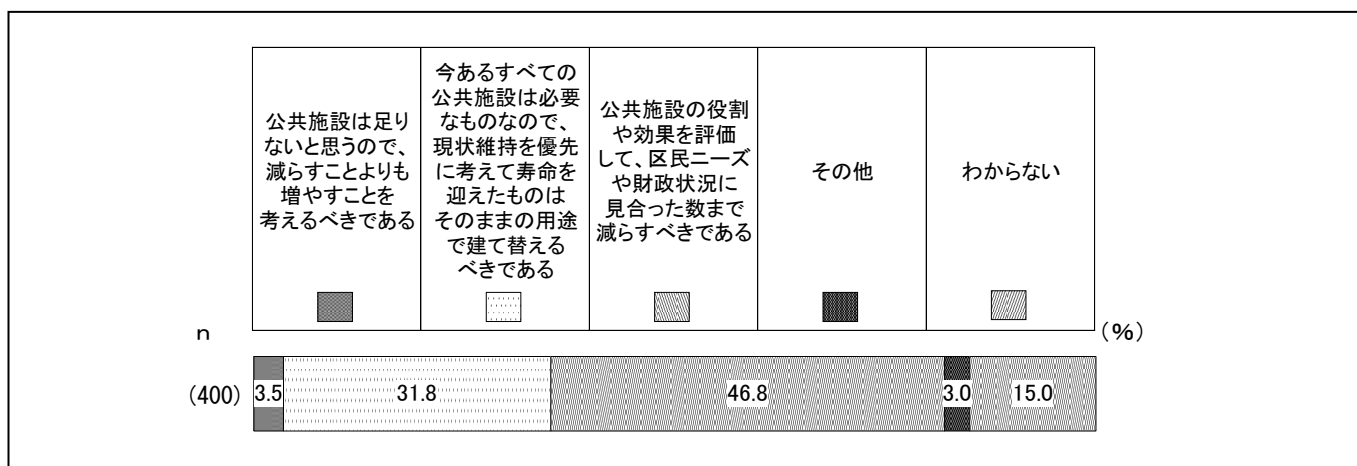
(2) 公共施設の量の充足 (問12)

「充足している」(8.5%)と「まあまあ充足している」(49.0%)を合わせた『充足している』(57.5%)が6割近くとなっています。一方、「あまり充足していない」(15.8%)と「充足していない」(4.8%)を合わせた『充足していない』(20.5%)は約2割となっています。



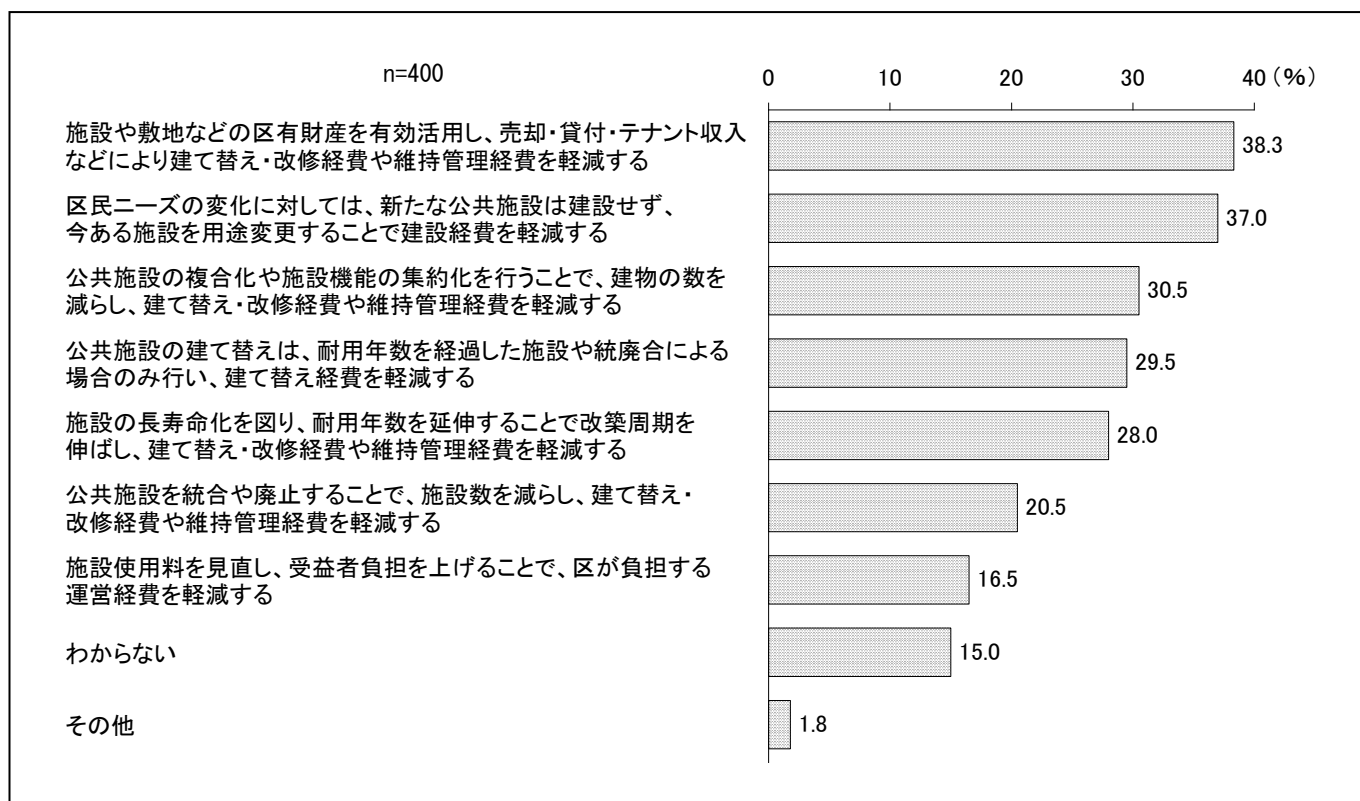
(3) 公共施設の総量の抑制 (問13)

「公共施設の役割や効果を評価して、区民ニーズや財政状況に見合った数まで減らすべきである」(46.8%)が4割半ばと最も高くなっています。「今あるすべての公共施設は必要なものなので、現状維持を優先に考えて寿命を迎えたものはそのままの用途で建て替えるべきである」(31.8%)が3割を超え、「公共施設は足りないと思うので、減らすことよりも増やすことを考えるべきである」(3.5%)はわずかとなっています。



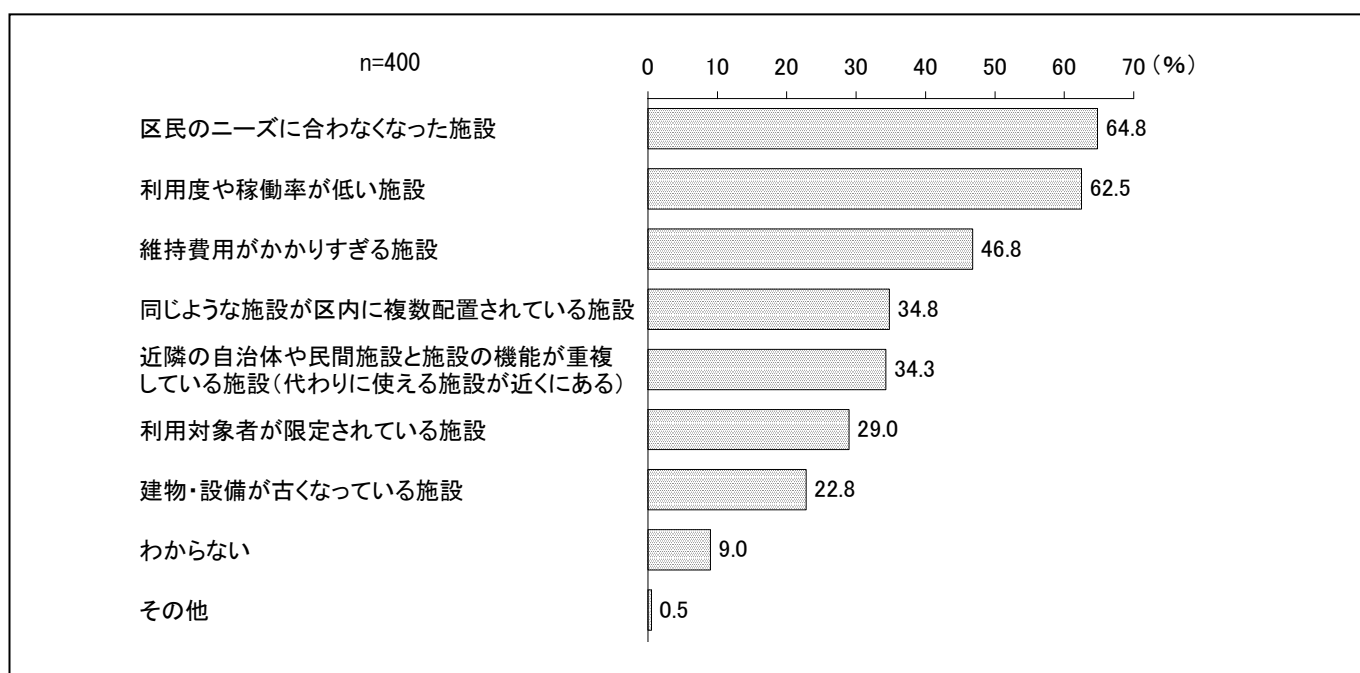
(4) 公共施設に対する今後の方策（問14）

適切と考えるものすべてを聞いたところ、「施設や敷地などの区有財産を有効活用し、売却・貸付・テナント収入などにより建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」（38.3%）が4割近くと最も高く、次いで「区民ニーズの変化に対しては、新たな公共施設は建設せず、今ある施設を用途変更することで建設経費を軽減する」（37.0%）などとなっています。



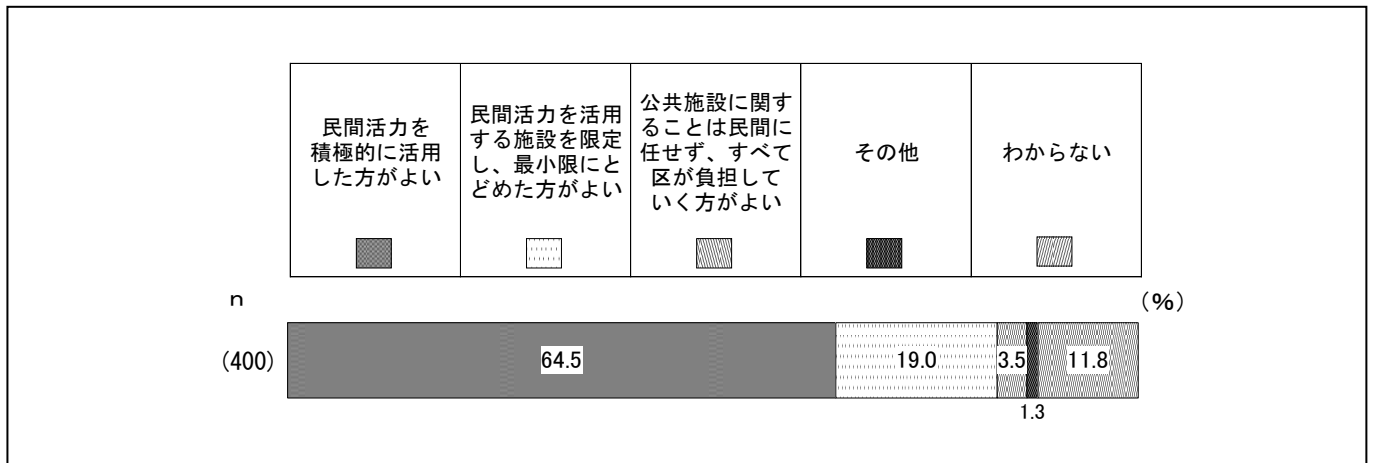
(5) 公共施設の総量を抑制する際に減らすべき施設（問15）

該当するものをすべて聞いたところ、「区民のニーズに合わなくなった施設」（64.8%）が6割半ばと最も高く、次いで「利用度や稼働率が低い施設」（62.5%）、「維持費用がかかりすぎる施設」（46.8%）などとなっています。



(6) 民間活力を活用した整備や管理運営（問16）

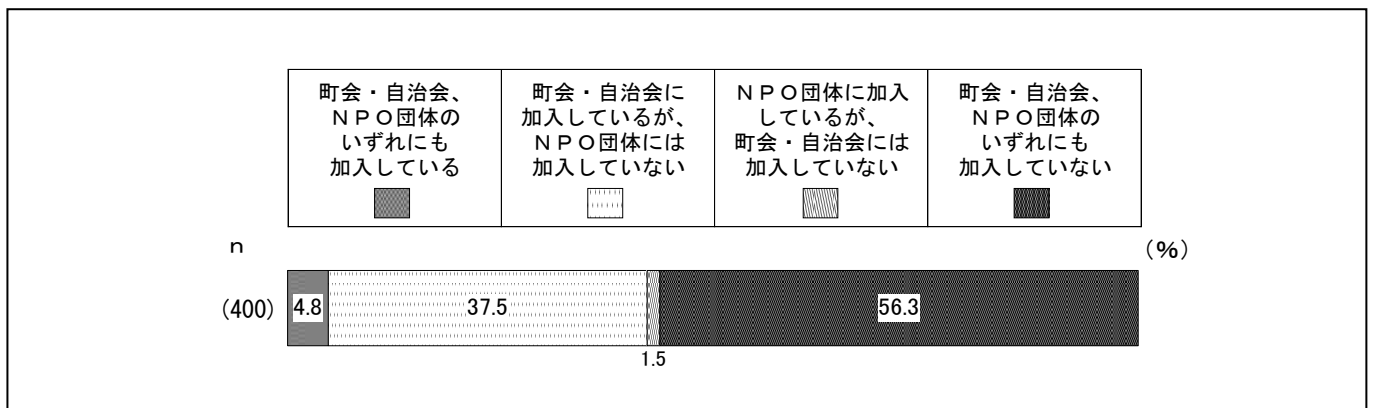
「民間活力を積極的に活用した方がよい」（64.5%）が6割半ばと最も高くなっています。「民間活力を活用する施設を限定し、最小限にとどめた方がよい」（19.0%）が約2割、「公共施設に関することは民間に任せず、すべて区が負担していく方がよい」（3.5%）は1割未満となっています。



7 町会・自治会、NPO団体への加入状況等

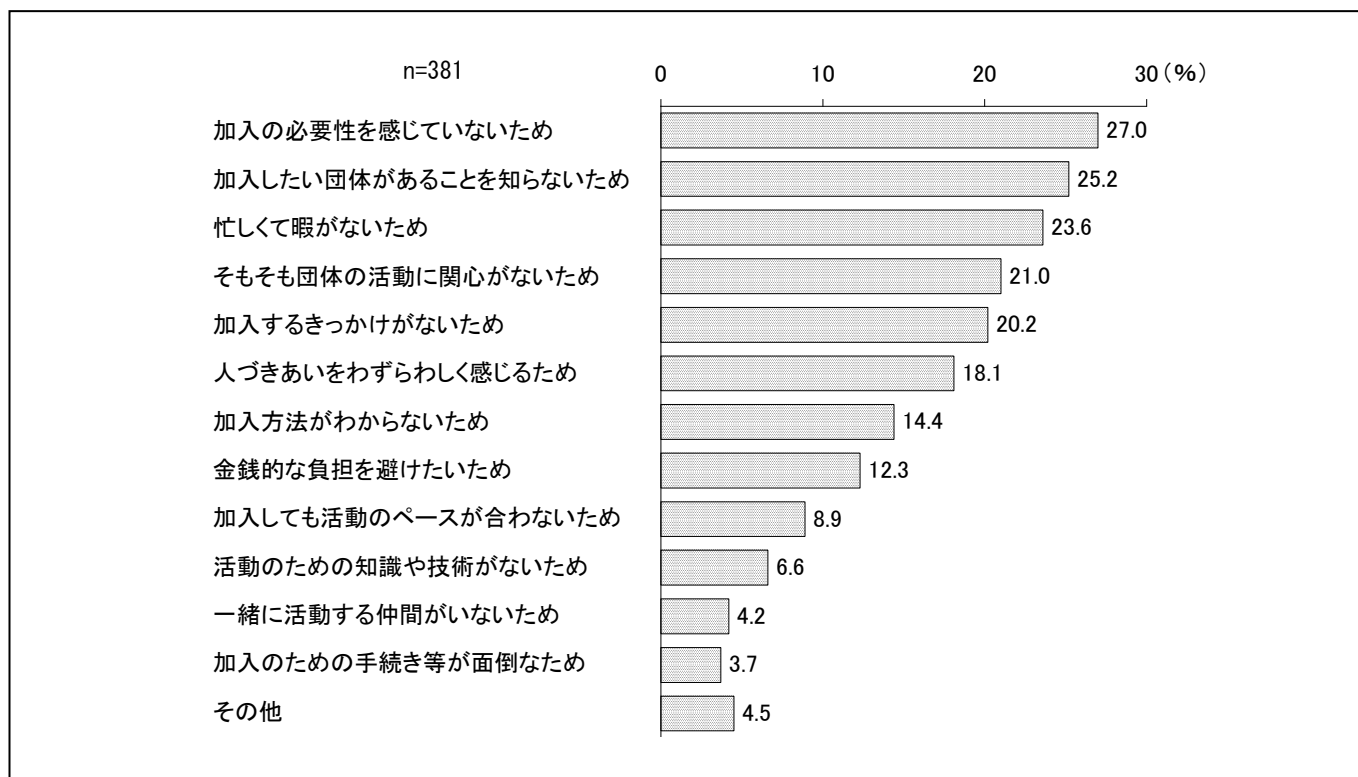
(1) 町会・自治会、NPO団体への加入状況（問17）

「町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない」（37.5%）が4割近く、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入している」（4.8%）、「NPO団体に加入しているが、町会・自治会には加入していない」（1.5%）はともにわずかとなっています。一方、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」（56.3%）は5割半ばとなっています。



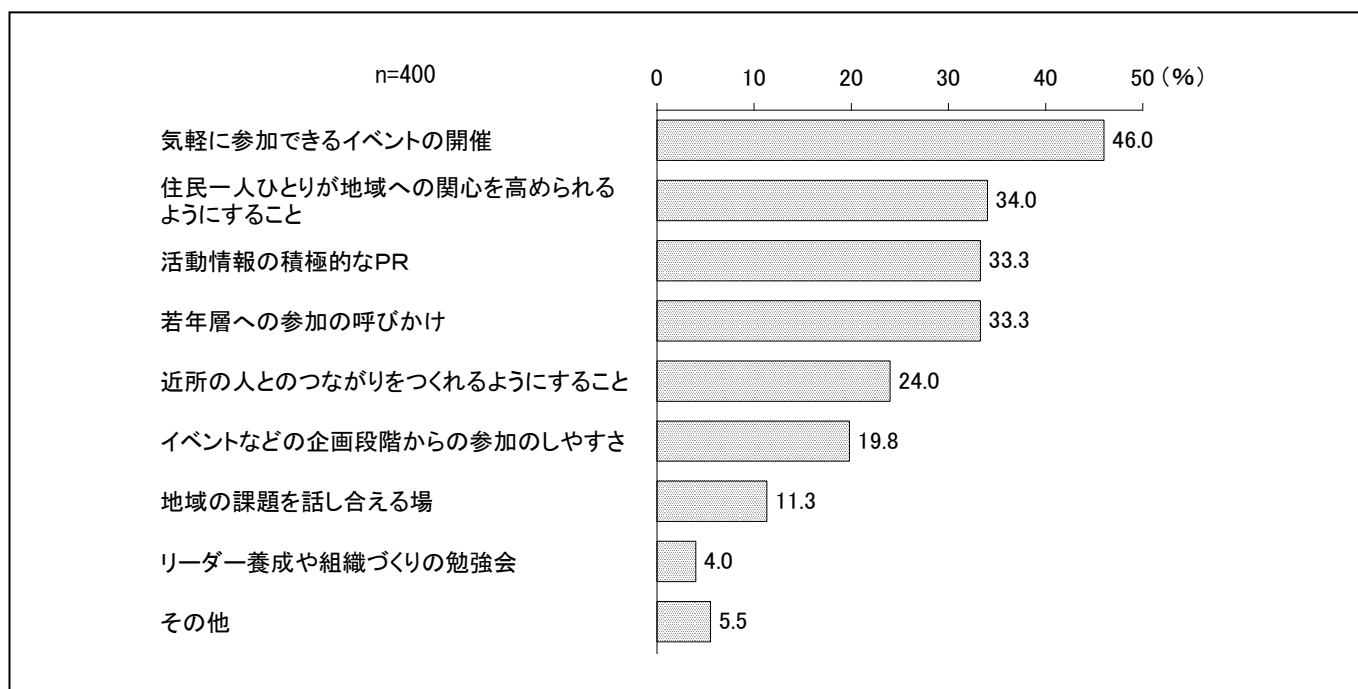
(2) 加入していない理由 (問17-1)

町会・自治会、NPO団体のいずれか、または、いずれにも「加入していない」と答えた人(381人)に、その理由を3つまで聞いたところ、「加入の必要性を感じていないため」(27.0%)が3割近くと最も高く、次いで「加入したい団体があることを知らないため」(25.2%)、「忙しくて暇がないため」(23.6%)などとなっています。



(3) 地域の活動を活発にするために必要なこと (問18)

地域の活動を活発にするために必要なことを3つまで聞いたところ、「気軽に参加できるイベントの開催」(46.0%)が4割半ばと最も高く、次いで「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」(34.0%)、「活動情報の積極的なPR」(33.3%)などとなっています。



ウェブ調査（eモニター）

③ ウェブ調査（eモニター）

1 回答者の属性

(1) 性別（問1-ア）

	基数	構成比
男性	22	62.9%
女性	13	37.1

(2) 年齢（問1-イ）

	基数	構成比
20歳代	1	2.9%
30歳代	6	17.1
40歳代	4	11.4
50歳代	10	28.6
60歳代	9	25.7
70歳以上	5	14.3

(3) 居住地域（問1-ウ）

	基数	構成比
板橋地域	7	20.0%
常盤台地域	9	25.7
志村地域	9	25.7
赤塚地域	5	14.3
高島平地域	4	11.4
わからない	1	2.9

(4) 職業（問1-エ）

	基数	構成比
会社員・公務員	16	45.7%
自営業・自由業	3	8.6
会社役員	-	-
主婦・主夫	2	5.7
学生	-	-
アルバイト・パート	2	5.7
無職	12	34.3
その他	-	-

(5) 世帯構成（問1-オ）

	基数	構成比
単身世帯	8	22.9%
夫婦のみ	11	31.4
二世帯同居（子と同居）	12	34.3
二世帯同居（親と同居）	2	5.7
三世帯同居	1	2.9
その他	1	2.9

(6) 居住年数（問1-カ）

	基数	構成比
1年未満	1	2.9%
1年以上5年未満	3	8.6
5年以上10年未満	6	17.1
10年以上20年未満	4	11.4
20年以上	17	48.6
生まれたときから	4	11.4

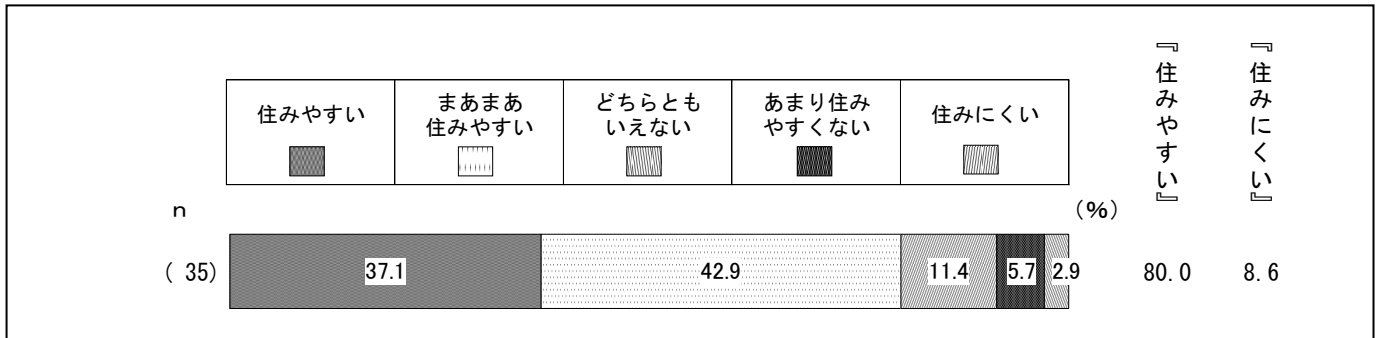
(7) 直前の居住地（問1-キ）

	基数	構成比
東京23区内（板橋区を除く）	18	58.1%
東京都内の他市町村内	2	6.5
埼玉県内	7	22.6
千葉県・神奈川県内	1	3.2
その他（海外を含む）	3	9.7

2 区での住み心地・定住意向

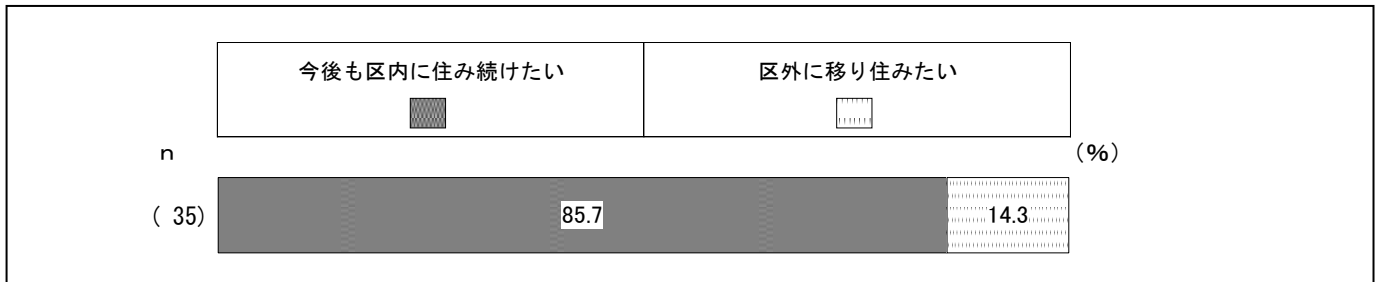
(1) 住みやすさ (問2)

「まあまあ住みやすい」(42.9%)が4割を超えて最も高く、これに「住みやすい」(37.1%)を合わせた『住みやすい』(80.0%)が8割となっています。一方、「あまり住みやすくない」(5.7%)と「住みにくい」(2.9%)を合わせた『住みにくい』(8.6%)は1割未満となっています。



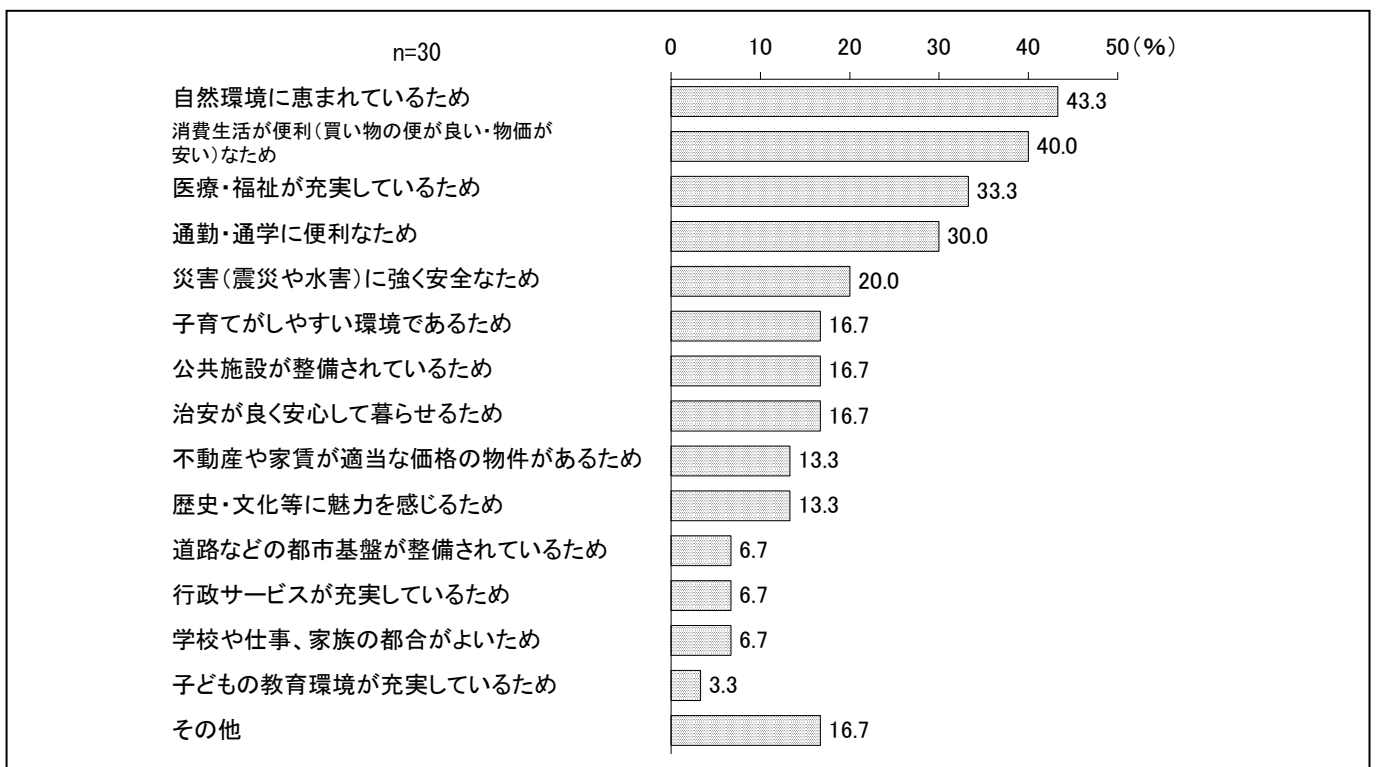
(2) 定住意向 (問3)

「今後も区内に住み続けたい」(85.7%)が8割半ば、「区外に移り住みたい」(14.3%)は1割半ばとなっています。



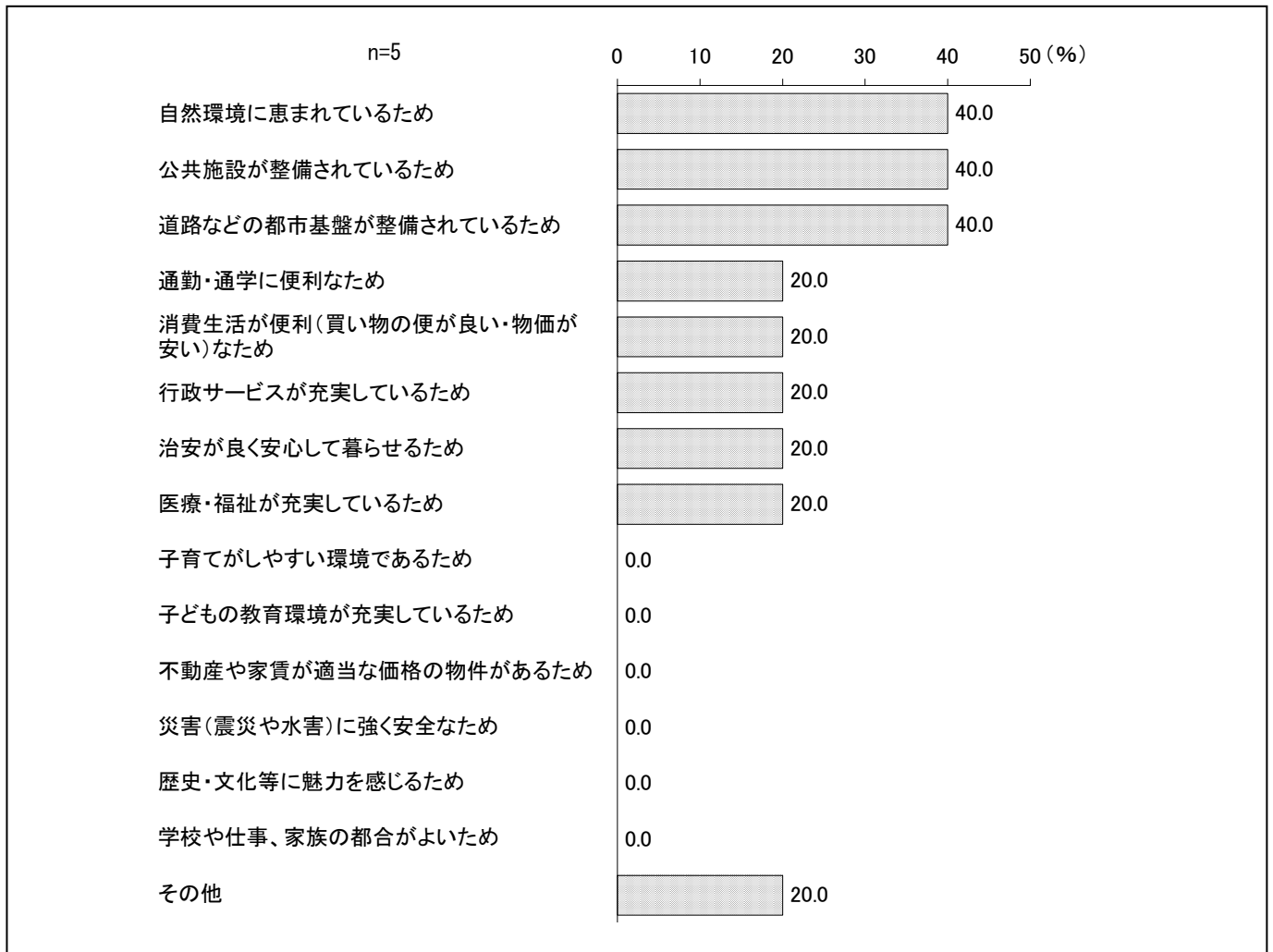
(3) 区内に住み続けたい理由 (問3-1)

区内に住み続けたいと答えた人(30人)にその理由を3つまで聞いたところ、「自然環境に恵まれているため」(43.3%)が4割を超えて最も高く、次いで「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」(40.0%)、「医療・福祉が充実しているため」(33.3%)などとなっています。



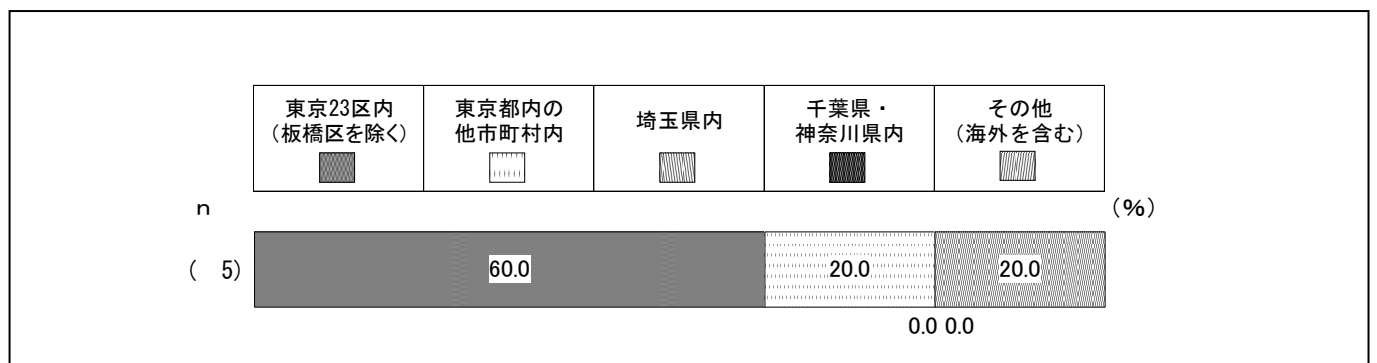
(4) 区外に移り住みたい理由 (問3-2)

区外に移り住みたいと答えた人(5人)にその理由を3つまで聞いたところ、区外の方が「自然環境に恵まれているため」、「公共施設が整備されているため」、「道路などの都市基盤が整備されているため」(いずれも40.0%)が4割となっています。



(5) 区外に移り住むとしたら住みたい地域 (問3-3)

「区外に移り住みたい」と答えた人(5人)に、区外に移り住むとしたら住みたい地域を聞いたところ、「東京23区内(板橋区を除く)」(60.0%)が6割と最も高く、「東京都内の他市町村内」(20.0%)が2割となっています。



3 施策に対する満足度・重要度

(1) 施策の満足度（問4）

①各施策項目の満足度

56の施策項目の満足度について聞いたところ、「満足」と「まあ満足」を合計した値が高い順に並べると以下のとおりとなりました。

最も割合の高い施策項目は、「食品衛生」（71.4%）で7割を超えています。次いで「公園・緑地の整備」、「区への愛着」（ともに68.6%）、「ごみ出しルール」、「公共交通」（ともに65.7%）などとなっています。

順位	施策項目	満足度 (%)
1	食品衛生	71.4
2	公園・緑地の整備	68.6
	区への愛着	68.6
4	ごみ出しルール	65.7
	公共交通	65.7
6	自然地の保全	62.9
	空気・水	62.9
8	歩行の安全	57.1
9	健康づくり	54.3
	防犯対策	54.3
11	医療体制	51.4
	文化芸術	51.4
	水害対策	51.4
	I T活用	51.4
	区政情報の公開	51.4
16	住居の広さ	48.6
	リサイクル	48.6
	道路の安全	48.6
19	快適なまち	45.7
20	子育て環境	42.9
	伝統芸能	42.9
	歴史的文化財	42.9
	防災意識	42.9
	区職員の対応	42.9
25	児童福祉サービス	40.0
	高齢者の社会参加	40.0
	消費生活	40.0
	区への誇り	40.0

順位	施策項目	満足度 (%)
29	スポーツ	37.1
	高齢者福祉サービス	37.1
	名所・旧跡、イベント	37.1
	平和意識	37.1
	危機管理体制	37.1
	個人情報の保護	37.1
35	生涯学習	34.3
36	障がい者の社会参加	31.4
	地域社会活動	31.4
	ボランティア・NPO活動	31.4
	魅力ある商店街	31.4
	活力ある工業	31.4
42	まちなみ・景観	31.4
	障がい者福祉サービス	28.6
	震災に強いまち	28.6
	区計画への参加機会	28.6
46	区民の声の区政への反映	28.6
	子どもの健全育成	25.7
	家事・育児・介護の男女協力	25.7
49	男女平等の社会参画	25.7
	地域連携による子育て	22.9
	国際交流	22.9
	自転車利用のマナー	22.9
	省エネルギー	22.9
54	労働環境	20.0
55	農地の保全・活用	8.6
56	新産業創出	5.7

施策の満足度<<全56施策項目>>

(%)

		満足	まあ満足	いどちらとも えな	やや不満	不満	わからない
基本目標Ⅰ 暮らしやすか に生きがいをも って	(1) 子育て環境	11.4	31.4	8.6	17.1	5.7	25.7
	(2) 児童福祉サービス	8.6	31.4	5.7	22.9	5.7	25.7
	(3) 子どもの健全育成	5.7	20.0	31.4	14.3	5.7	22.9
	(4) 医療体制	17.1	34.3	22.9	14.3	2.9	8.6
	(5) 地域連携による子育て	8.6	14.3	34.3	14.3	8.6	20.0
	(6) 健康づくり	8.6	45.7	28.6	11.4	2.9	2.9
	(7) 生涯学習	5.7	28.6	37.1	17.1	5.7	5.7
	(8) スポーツ	5.7	31.4	31.4	20.0	2.9	8.6
	(9) 住居の広さ	11.4	37.1	22.9	14.3	11.4	2.9
	(10) 高齢者福祉サービス	11.4	25.7	31.4	14.3	-	17.1
	(11) 障がい者福祉サービス	5.7	22.9	22.9	17.1	-	31.4
	(12) 高齢者の社会参加	5.7	34.3	25.7	8.6	5.7	20.0
	(13) 障がい者の社会参加	5.7	25.7	14.3	11.4	2.9	40.0
	(14) 家事・育児・介護の男女協力	5.7	20.0	22.9	20.0	2.9	28.6
	(15) 男女平等の社会参画	5.7	20.0	25.7	14.3	8.6	25.7
	(16) 労働環境	8.6	11.4	31.4	14.3	11.4	22.9
	(17) 消費生活	5.7	34.3	42.9	8.6	-	8.6
基本目標Ⅱ と活 力の あ る ま ち	(18) 地域社会活動	5.7	25.7	37.1	20.0	2.9	8.6
	(19) ボランティア・NPO活動	8.6	22.9	25.7	25.7	8.6	8.6
	(20) 魅力ある商店街	8.6	22.9	31.4	17.1	20.0	-
	(21) 活力ある工業	5.7	25.7	25.7	14.3	-	28.6
	(22) 農地の保全・活用	2.9	5.7	31.4	28.6	5.7	25.7
	(23) 新産業創出	2.9	2.9	42.9	8.6	8.6	34.3
	(24) 名所・旧跡、イベント	5.7	31.4	37.1	8.6	11.4	5.7
	(25) 伝統芸能	2.9	40.0	25.7	8.6	2.9	20.0
	(26) 歴史的文化財	5.7	37.1	28.6	14.3	5.7	8.6
	(27) 文化芸術	8.6	42.9	20.0	14.3	8.6	5.7
基本目標Ⅲ 安全で安心な うるおいのあ るまち	(28) 国際交流	2.9	20.0	22.9	14.3	8.6	31.4
	(29) 平和意識	14.3	22.9	37.1	5.7	8.6	11.4
	(30) 防災意識	2.9	40.0	22.9	20.0	5.7	8.6
	(31) 防犯対策	11.4	42.9	25.7	17.1	2.9	-
	(32) 危機管理体制	5.7	31.4	25.7	8.6	5.7	22.9
	(33) 食品衛生	22.9	48.6	20.0	2.9	5.7	-
	(34) 自転車利用のマナー	-	22.9	8.6	34.3	34.3	-
	(35) 震災に強いまち	-	28.6	31.4	25.7	11.4	2.9
	(36) 水害対策	22.9	28.6	17.1	22.9	8.6	-
	(37) 自然地の保全	17.1	45.7	14.3	17.1	5.7	-
	(38) 公園・緑地の整備	14.3	54.3	11.4	17.1	2.9	-
	(39) 空気・水	8.6	54.3	14.3	14.3	8.6	-
	(40) まちなみ・景観	2.9	28.6	34.3	20.0	14.3	-
	(41) 省エネルギー	2.9	20.0	37.1	17.1	5.7	17.1
	(42) ごみ出しルール	5.7	60.0	14.3	14.3	5.7	-
	(43) リサイクル	8.6	40.0	28.6	11.4	5.7	5.7
	(44) 快適なまち	2.9	42.9	22.9	20.0	11.4	-
	(45) 公共交通	22.9	42.9	17.1	14.3	2.9	-
	(46) 道路の安全	-	48.6	31.4	11.4	8.6	-
(47) 歩行の安全	2.9	54.3	8.6	20.0	14.3	-	
(48) バリアフリー	-	22.9	34.3	25.7	8.6	8.6	
(49) IT活用	17.1	34.3	22.9	8.6	17.1	-	
計画推進 のため	(50) 個人情報の保護	8.6	28.6	25.7	2.9	2.9	31.4
	(51) 区政情報の公開	11.4	40.0	17.1	20.0	8.6	2.9
	(52) 区計画への参加機会	2.9	25.7	22.9	11.4	25.7	11.4
	(53) 区民の声の区政への反映	2.9	25.7	20.0	22.9	20.0	8.6
	(54) 区職員の対応	8.6	34.3	22.9	17.1	14.3	2.9
	(55) 区への愛着	31.4	37.1	14.3	11.4	5.7	-
	(56) 区への誇り	11.4	28.6	20.0	17.1	14.3	8.6

②加重平均値でみる満足度

加重平均値による施策の満足度《スコア順》

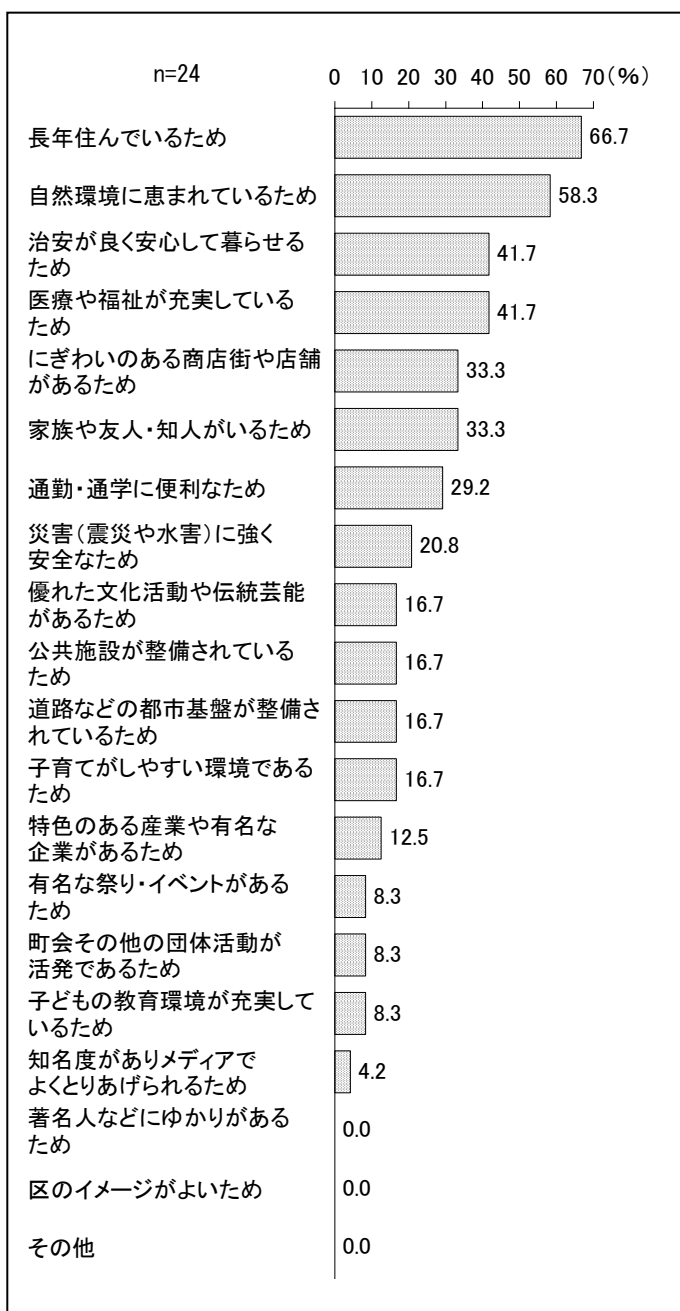
順位	施策項目	加重平均
1	食品衛生	0.80
2	区への愛着	0.77
3	公共交通	0.69
4	公園・緑地の整備	0.60
5	個人情報の保護	0.54
6	医療体制	0.53
7	自然地の保全	0.51
8	健康づくり	0.47
9	ごみ出しルール	0.46
10	防犯対策	0.43
11	高齢者福祉サービス	0.41
	消費生活	0.41
13	空気・水	0.40
14	伝統芸能	0.39
15	リサイクル	0.36
16	子育て環境	0.35
17	水害対策	0.34
18	障がい者の社会参加	0.33
19	高齢者の社会参加	0.32
	活力ある工業	0.32
	平和意識	0.32
22	文化芸術	0.30
	危機管理体制	0.30
24	I T活用	0.26
	区政情報の公開	0.26
26	障がい者福祉サービス	0.25
	歴史的文化財	0.25
28	住居の広さ	0.24
29	道路の安全	0.20

順位	施策項目	加重平均
30	児童福祉サービス	0.19
	スポーツ	0.19
32	防災意識	0.16
33	地域社会活動	0.13
34	生涯学習	0.12
	名所・旧跡、イベント	0.12
36	歩行の安全	0.11
37	家事・育児・介護の男女協力	0.08
38	子どもの健全育成	0.07
39	快適なまち	0.06
	区職員の対応	0.06
	区への誇り	0.06
42	地域連携による子育て	0.00
	男女平等の社会参画	0.00
44	ボランティア・NPO活動	-0.03
	省エネルギー	-0.03
46	国際交流	-0.08
47	労働環境	-0.11
48	まちなみ・景観	-0.14
49	魅力ある商店街	-0.17
50	震災に強いまち	-0.21
51	バリアフリー	-0.22
52	新産業創出	-0.26
53	区民の声の区政への反映	-0.34
54	区計画への参加機会	-0.35
55	農地の保全・活用	-0.38
56	自転車利用のマナー	-0.80

問4で「板橋区に愛着を感じる」「板橋区が他の自治体と比べて誇れると感じる」と回答した人に、その理由を5つまで聞いたところ、以下の結果となりました。

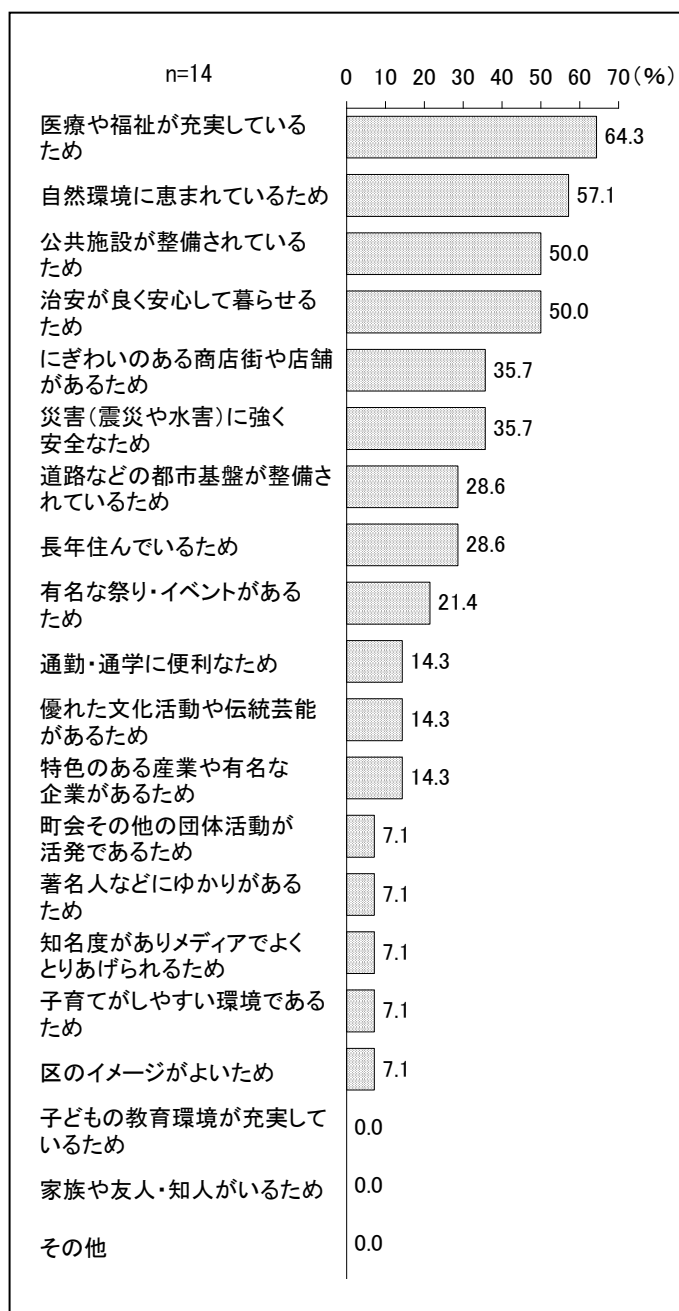
(2) 板橋区に愛着を感じる理由 (問4-1)

「長年住んでいるため」(66.7%)が6割半ばと最も高く、次いで「自然環境に恵まれているため」(58.3%)、「治安が良く安心して暮らせるため」(41.7%)などとなっています。



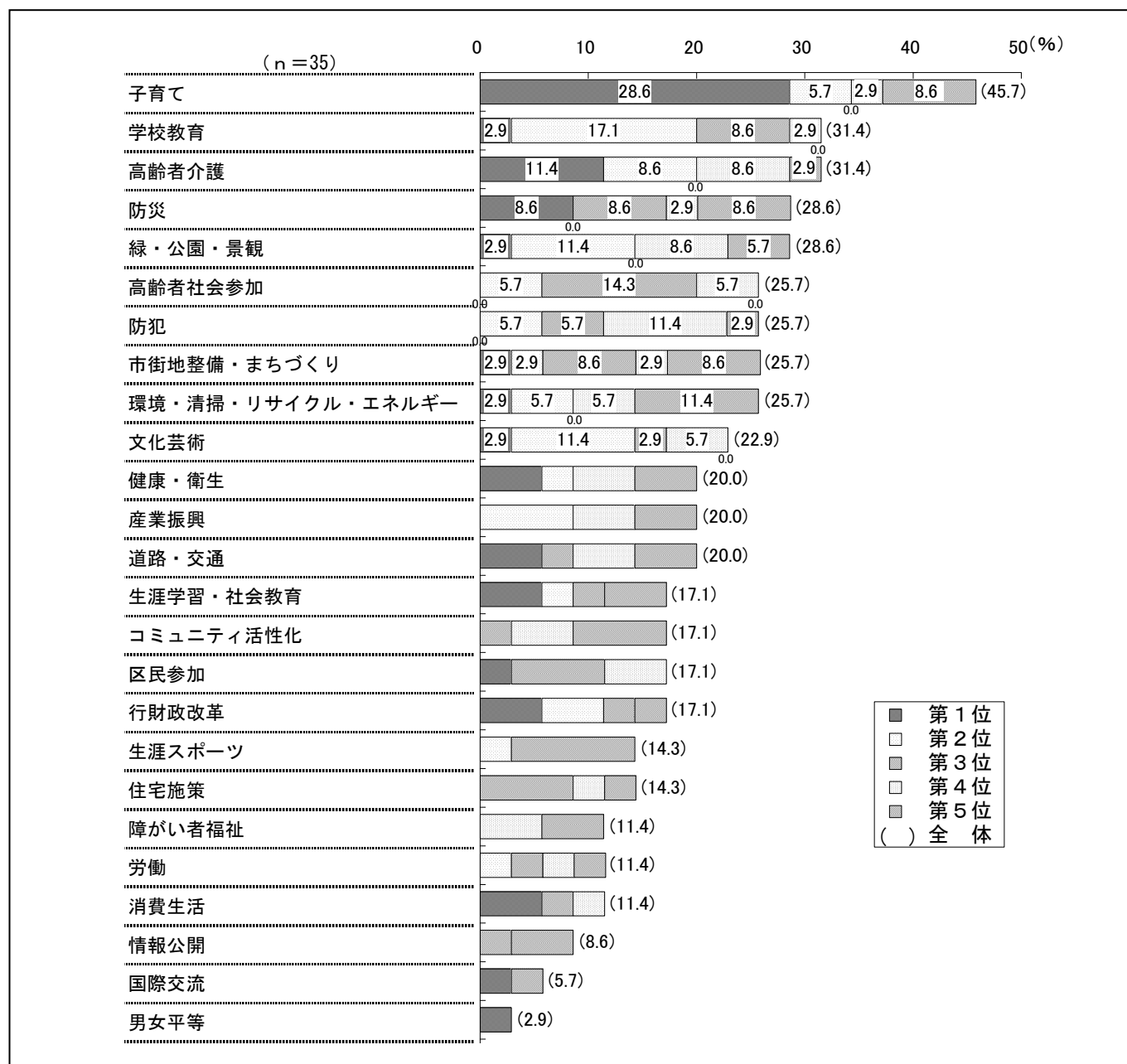
(3) 板橋区が他の自治体と比べて誇れると感じる理由 (問4-2)

「医療や福祉が充実しているため」(64.3%)が6割半ばと最も高く、次いで「自然環境に恵まれているため」(57.1%)、「公共施設が整備されているため」(50.0%)などとなっています。



(4) 重点的に力を入れるべき分野（問5）

提示した25の分野について、今後、区が重点的に力を入れるべき分野を第1位から第5位までを累計した『全体』でみると、「子育て」（45.7%）が4割半ばと最も高くなっています。



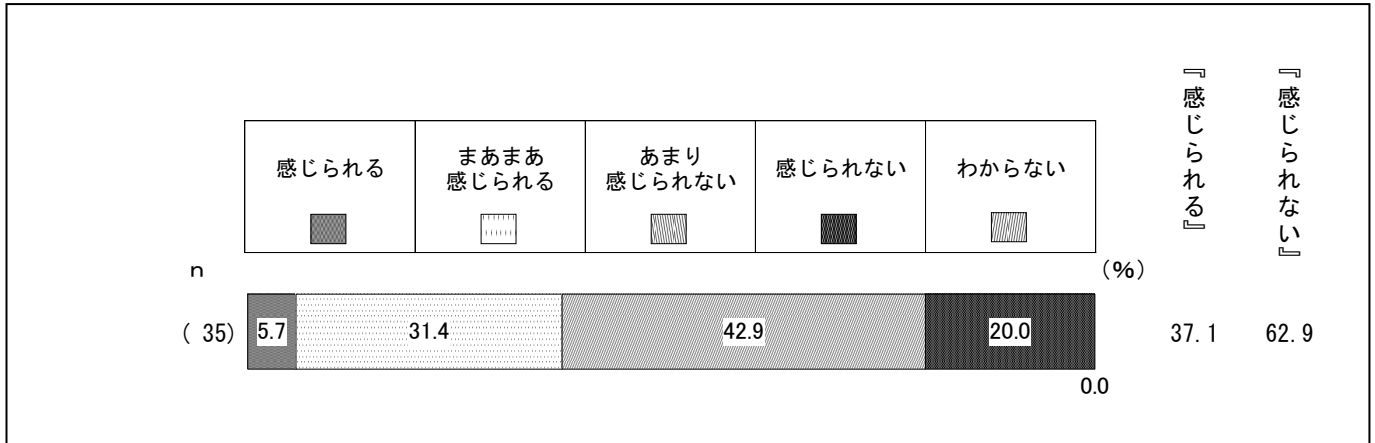
【第1位に挙げられた分野（上位5分野）】

順位	平成25年度	(%)
1	子育て	28.6
2	高齢者介護	11.4
3	防災	8.6
4	健康・衛生	5.7
	生涯学習・社会教育	5.7
	消費生活	5.7
	道路・交通	5.7
	行財政改革	5.7

4 行政サービスと住民負担のバランス

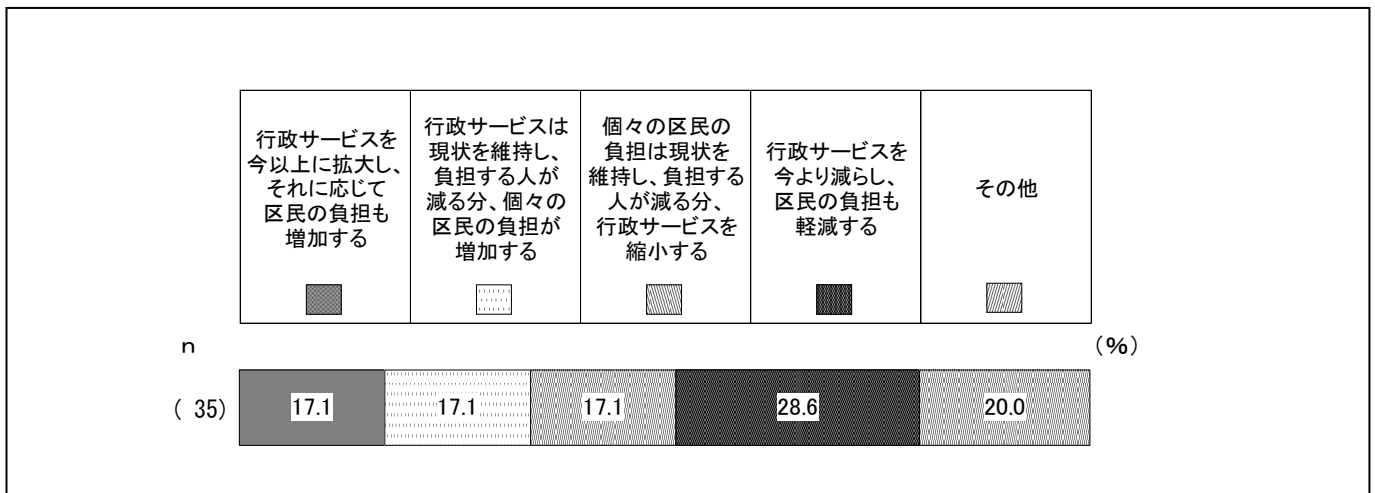
(1) 税金に見合った行政サービスの提供 (問6)

「感じられる」(5.7%)と「まあまあ感じられる」(31.4%)を合わせた『感じられる』(37.1%)が4割近くとなっています。一方、「あまり感じられない」(42.9%)と「感じられない」(20.0%)を合わせた『感じられない』(62.9%)は6割を超えています。



(2) 将来的な行政サービスと住民負担のバランス (問7)

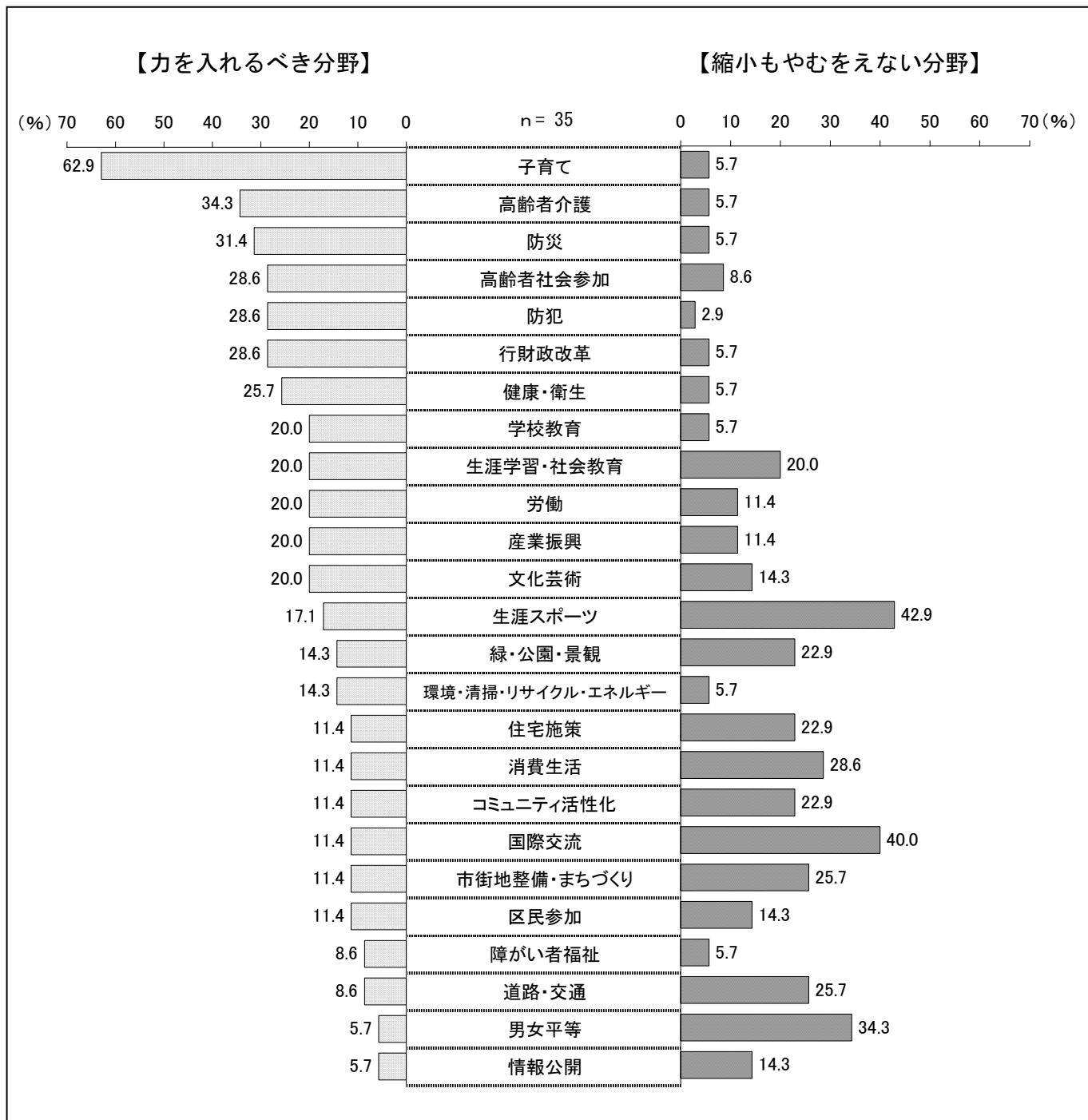
「行政サービスを今より減らし、区民の負担も軽減する」(28.6%)が3割近くと最も高くなっています。「行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する」、「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」、「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」(いずれも17.1%)が2割近くとなっています。



(3) 行政サービスで力を入れるべき分野と縮小もやむをえない分野（問8）

提示した25の分野について、「力を入れるべき分野」では、「子育て」（62.9%）が6割を超えて最も高く、次いで「高齢者介護」（34.3%）、「防災」（31.4%）などとなっています。

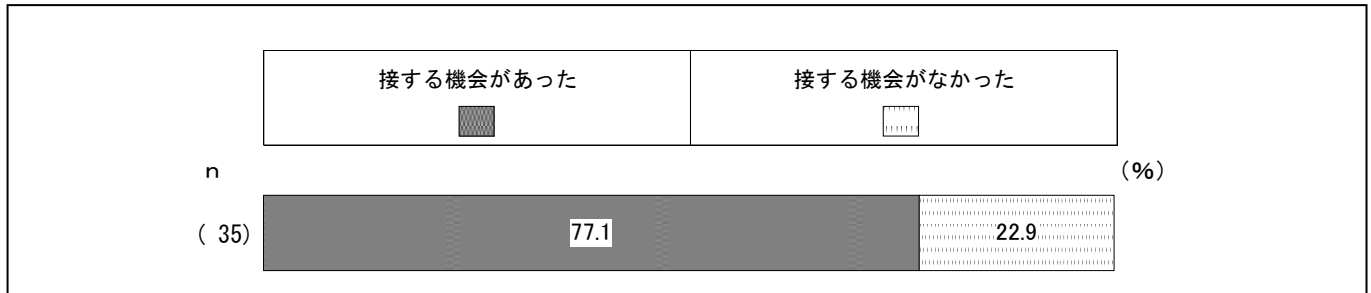
一方、「縮小もやむをえない分野」では、「生涯スポーツ」（42.9%）が4割を超えて最も高く、次いで「国際交流」（40.0%）、「男女平等」（34.3%）などとなっています。



5 板橋区職員期待する能力・資質

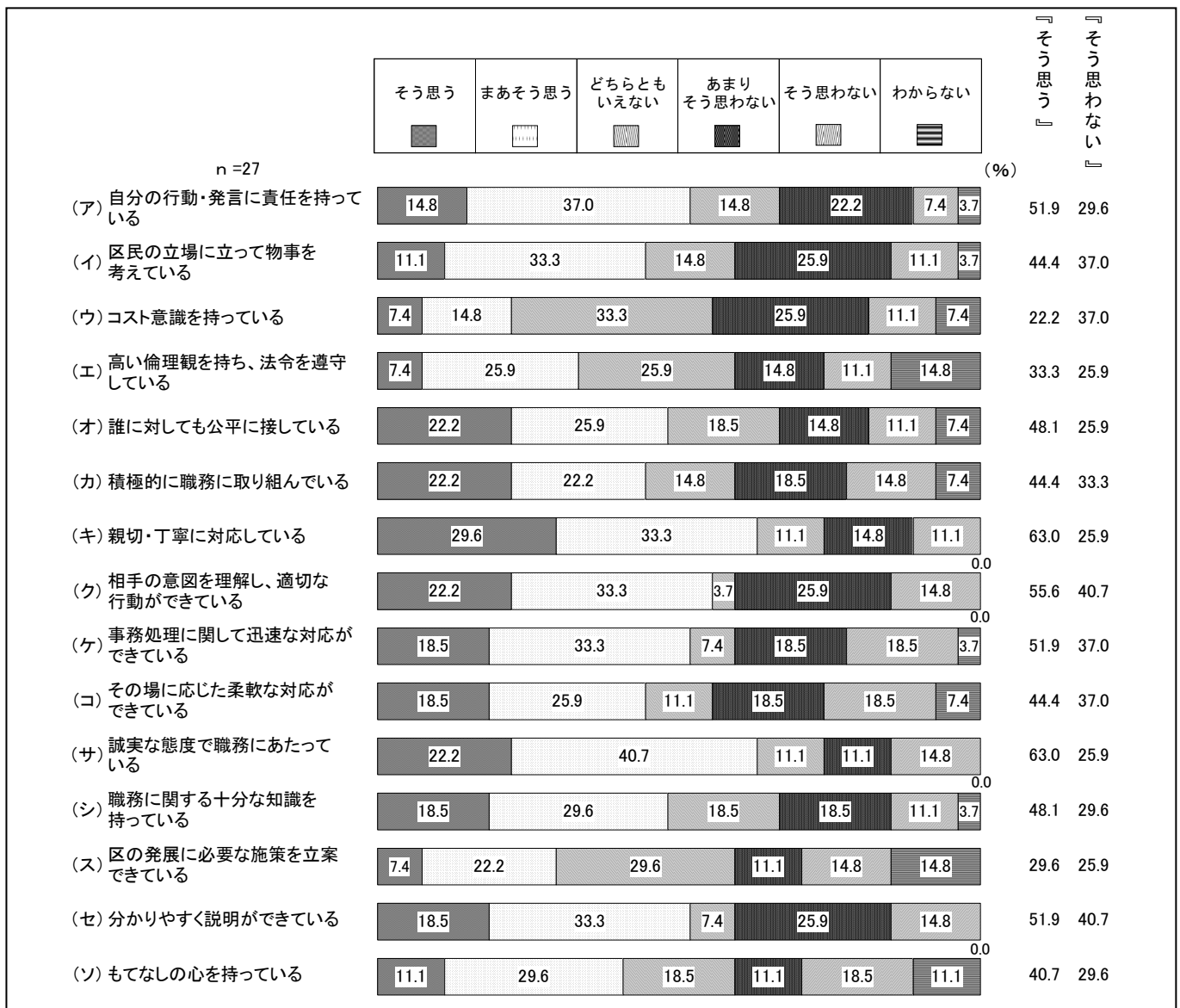
(1) 最近1年間での職員と接する機会の有無 (問9)

「接する機会があった」(77.1%)が8割近く、「接する機会がなかった」(22.9%)は2割を超えています。



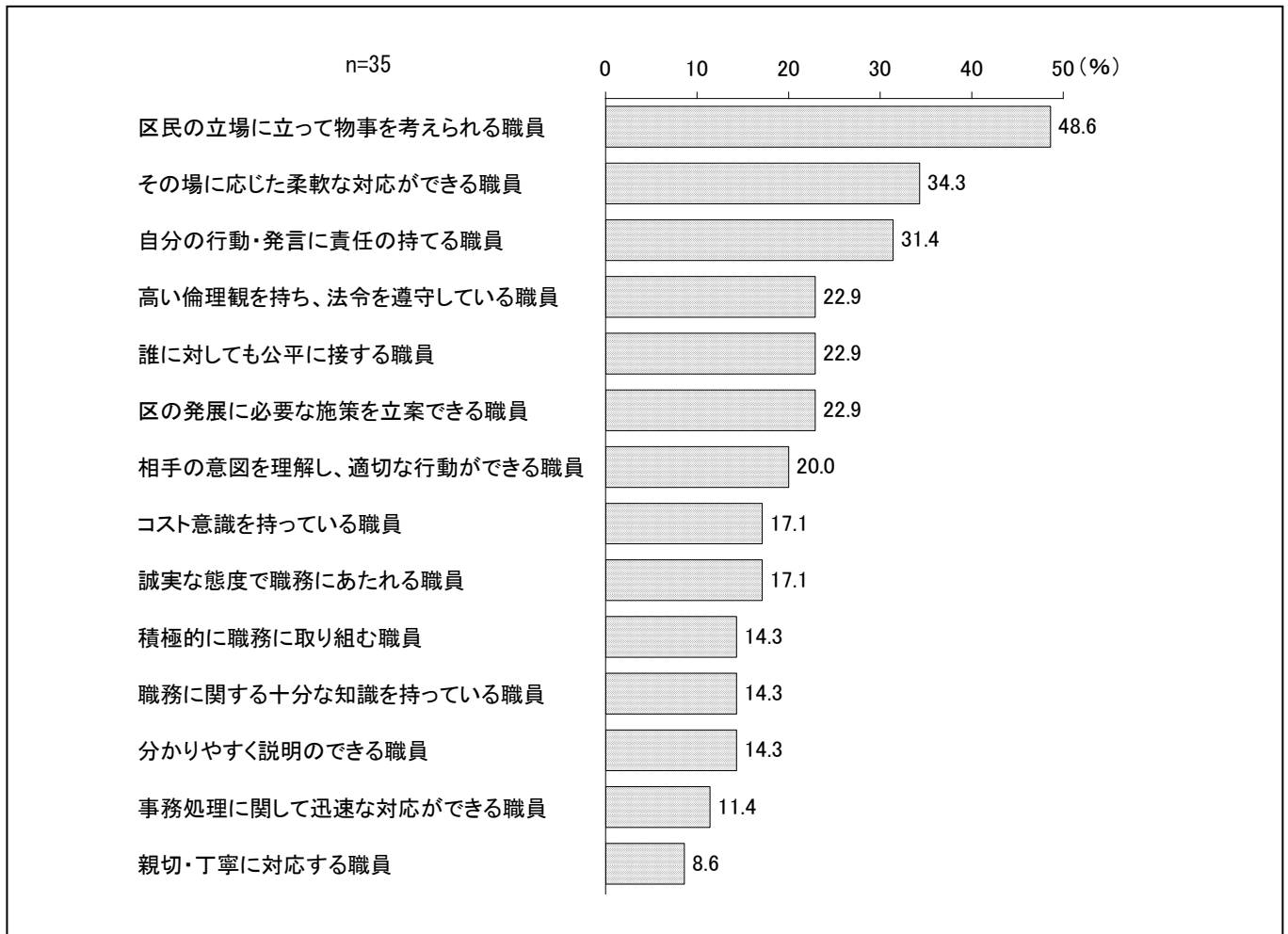
(2) 職員の能力・資質の現状評価 (問9-1)

職員と「接する機会があった」と答えた人(27人)に、職員の能力・資質の現状評価を聞いたところ、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』では、「親切・丁寧に対応している」、「誠実な態度で職務にあたっている」(ともに63.0%)が6割を超えて最も高く、次いで「相手の意図を理解し、適切な行動ができている」(55.6%)などとなっています。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』では、「相手の意図を理解し、適切な行動ができている」、「分かりやすく説明ができている」(ともに40.7%)が約4割となっています。



(3) 職員に求める姿 (問10)

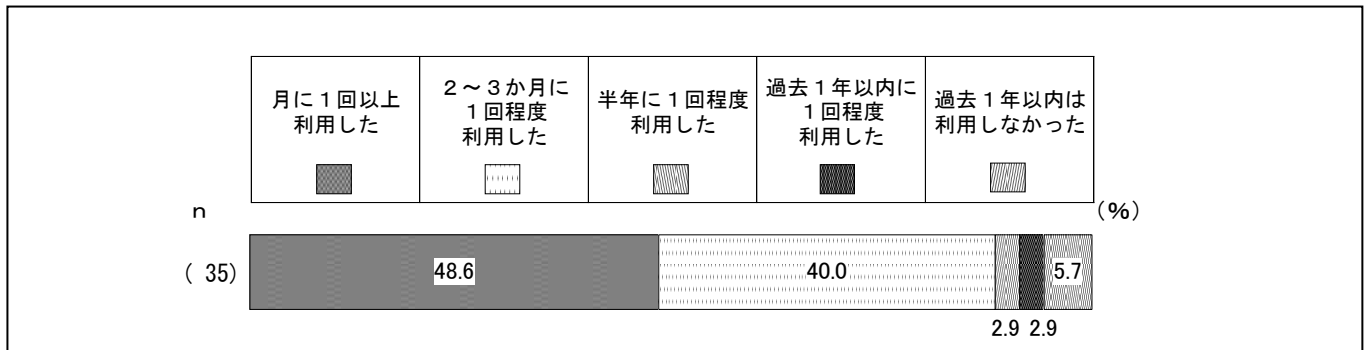
「区民の立場に立って物事を考えられる職員」(48.6%)が5割近くと最も高く、次いで「その場に応じた柔軟な対応ができる職員」(34.3%)、「自分の行動・発言に責任の持てる職員」(31.4%)などとなっています。



6 板橋区の公共施設のあり方

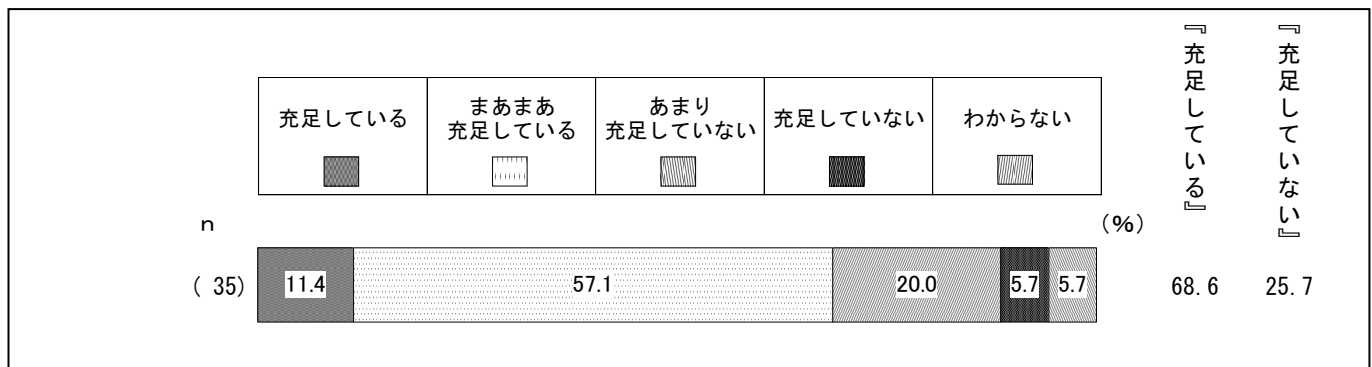
(1) 公共施設の利用状況 (問11)

過去1年間の公共施設の利用状況を聞いたところ、「月に1回以上利用した」(48.6%)が5割近くと最も高く、「2～3か月に1回程度利用した」(40.0%)が4割となっています。一方、「過去1年以内は利用しなかった」(5.7%)は1割未満となっています。



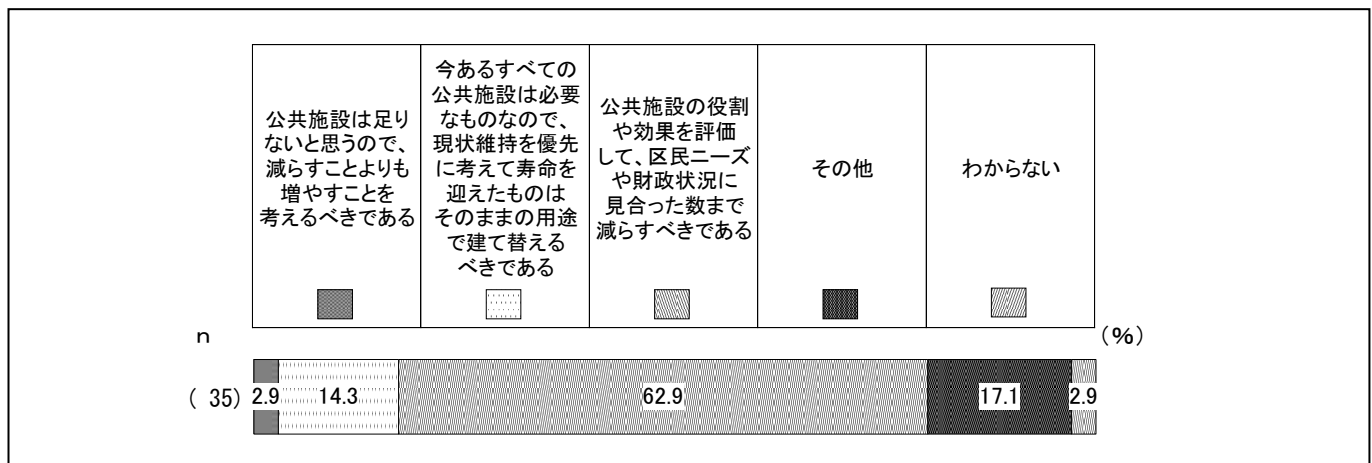
(2) 公共施設の量の充足 (問12)

「充足している」(11.4%)と「まあまあ充足している」(57.1%)を合わせた『充足している』(68.6%)が7割近くとなっています。一方、「あまり充足していない」(20.0%)と「充足していない」(5.7%)を合わせた『充足していない』(25.7%)は2割半ばとなっています。



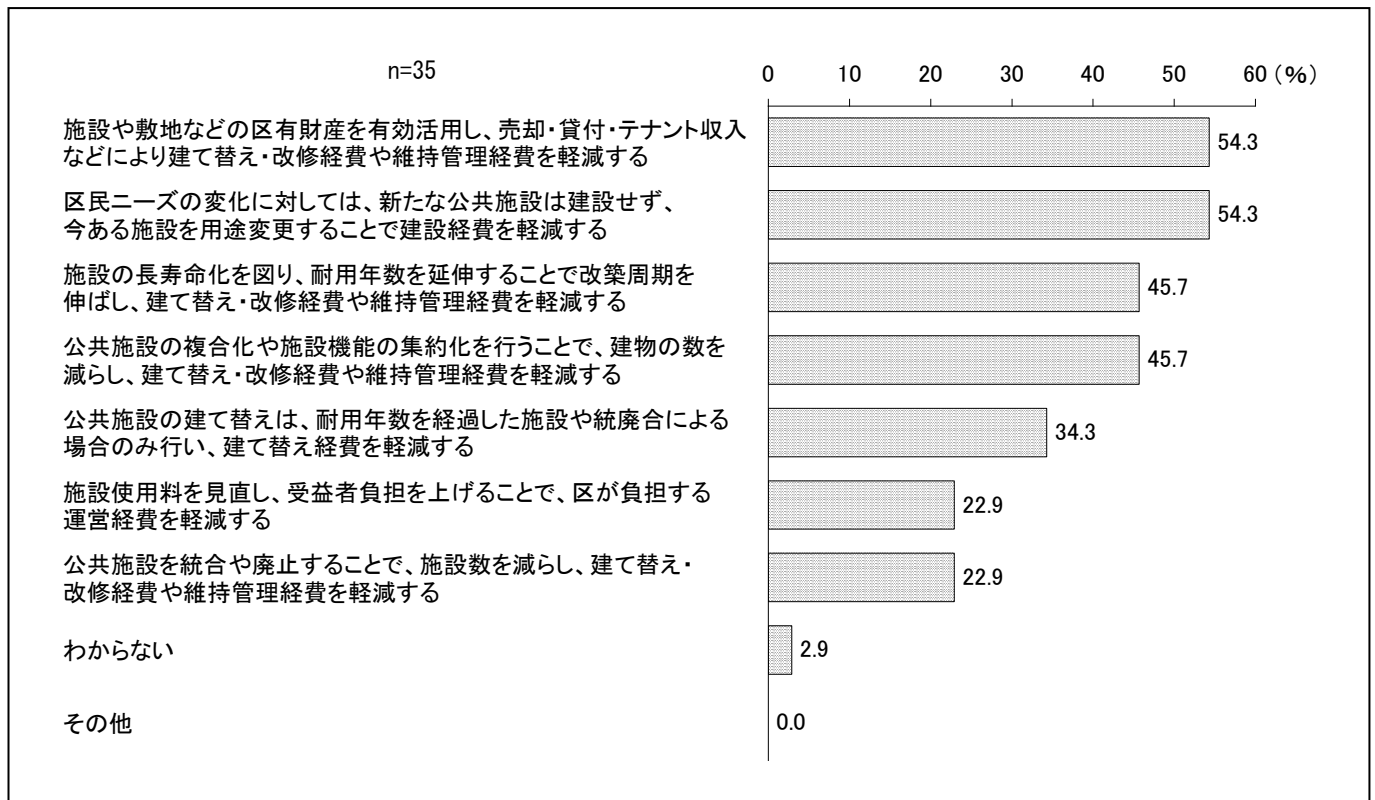
(3) 公共施設の総量の抑制 (問13)

「公共施設の役割や効果を評価して、区民ニーズや財政状況に見合った数まで減らすべきである」(62.9%)が6割を超えて最も高くなっています。「今あるすべての公共施設は必要なものなので、現状維持を優先に考えて寿命を迎えたものはそのままの用途で建て替えるべきである」(14.3%)が1割半ば、「公共施設は足りないと思うので、減らすことよりも増やすことを考えるべきである」(2.9%)はわずかとなっています。



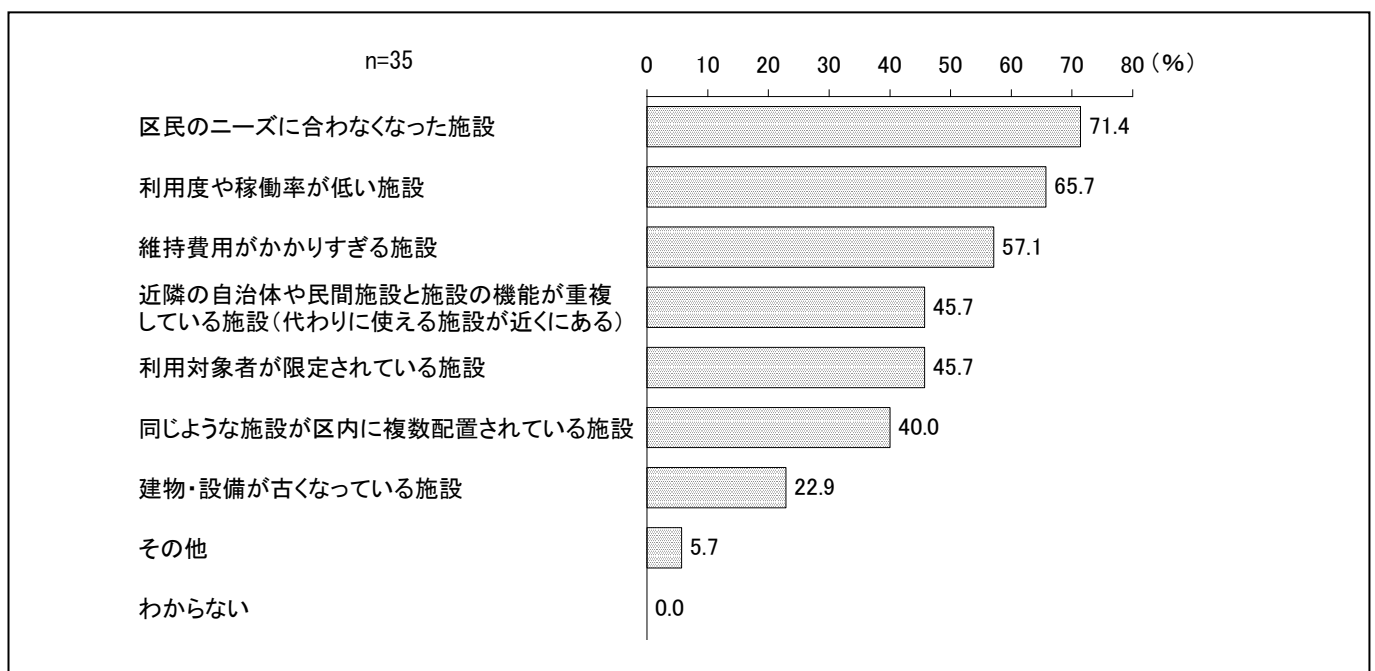
(4) 公共施設に対する今後の方策（問14）

適切と考えるものすべてを聞いたところ、「施設や敷地などの区有財産を有効活用し、売却・貸付・テナント収入などにより建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」、「区民ニーズの変化に対しては、新たな公共施設は建設せず、今ある施設を用途変更することで建設経費を軽減する」（ともに54.3%）が5割半ばと最も高くなっています。



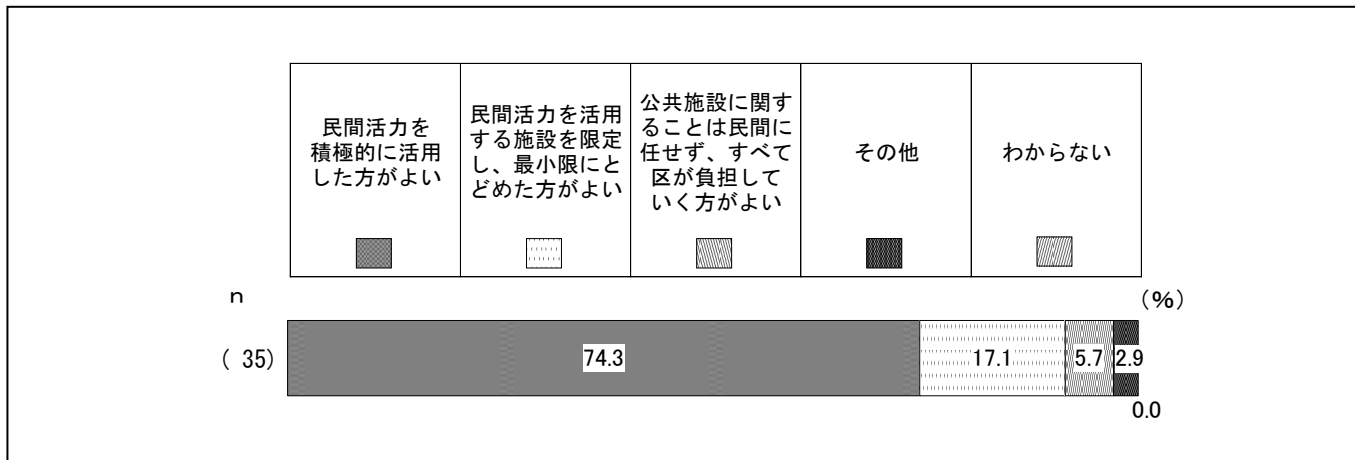
(5) 公共施設の総量を抑制する際に減らすべき施設（問 15）

該当するものをすべて聞いたところ、「区民のニーズに合わなくなった施設」（71.4%）が7割を超えて最も高く、次いで「利用度や稼働率が低い施設」（65.7%）、「維持費用がかかりすぎる施設」（57.1%）などとなっています。



(6) 民間活力を活用した整備や管理運営 (問16)

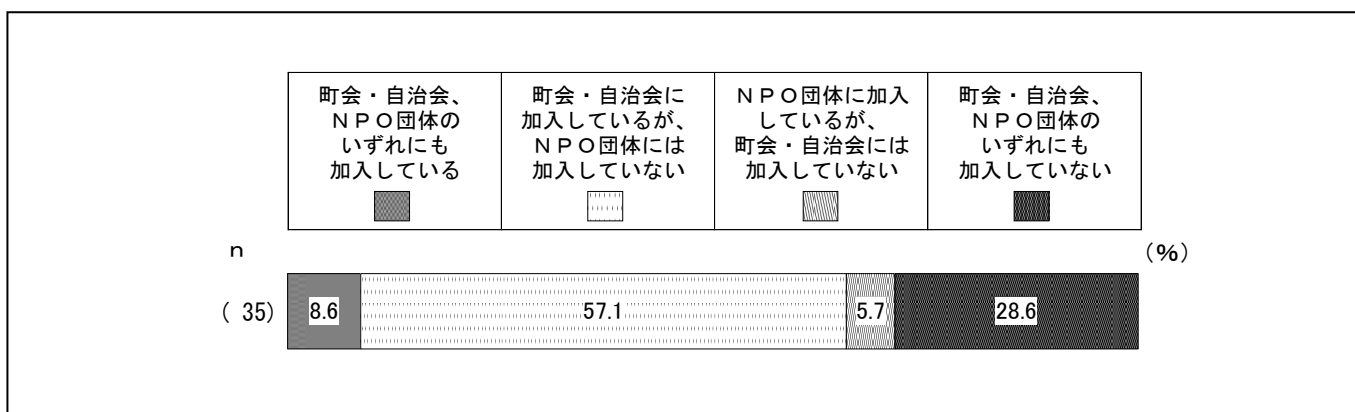
「民間活力を積極的に活用した方がよい」(74.3%) が7割半ばと最も高くなっています。「民間活力を活用する施設を限定し、最小限にとどめた方がよい」(17.1%) が2割近く、「公共施設に関することは民間に任せず、すべて区が負担していく方がよい」(5.7%) は1割未満となっています。



7 町会・自治会、NPO団体への加入状況等

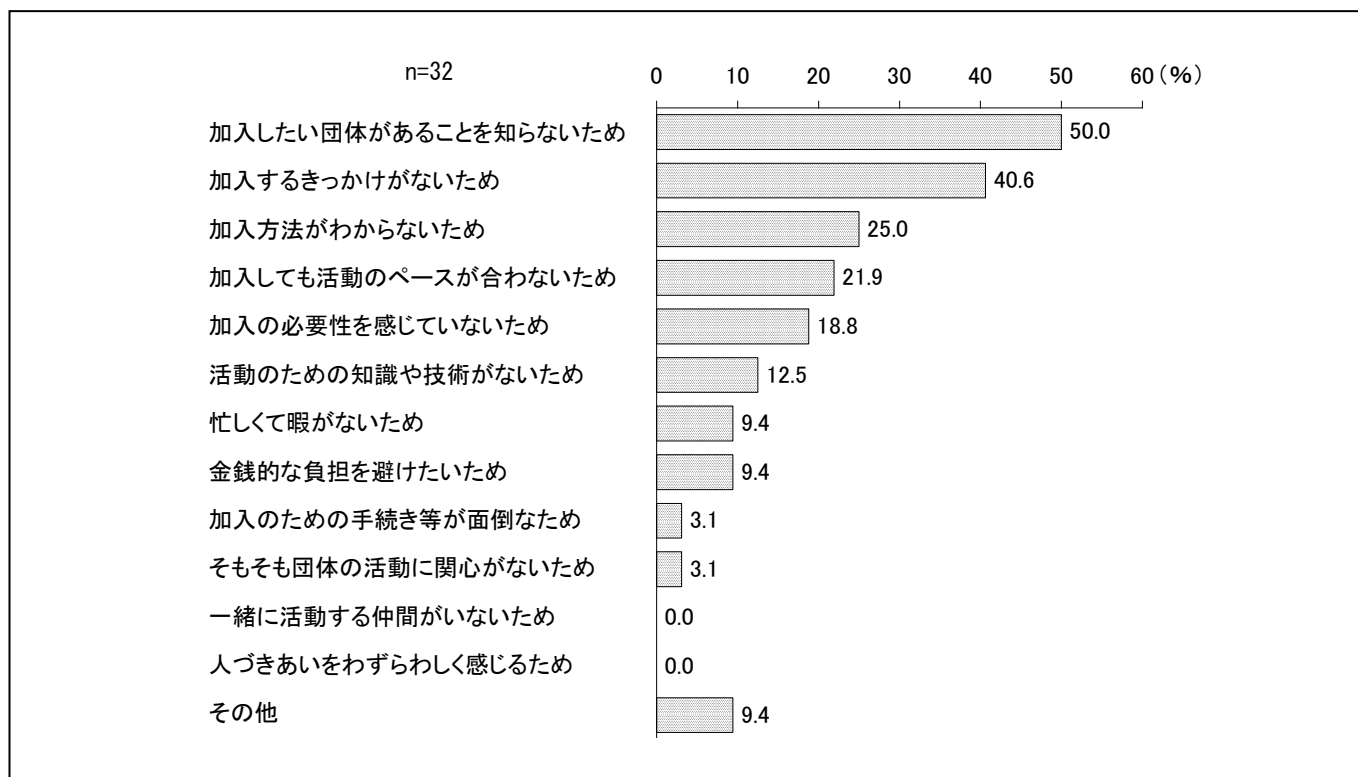
(1) 町会・自治会、NPO団体への加入状況 (問17)

「町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない」(57.1%) が6割近くと最も高くなっています。「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入している」(8.6%)、「NPO団体に加入しているが、町会・自治会には加入していない」(5.7%) はともに1割未満となっています。一方、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」(28.6%) は3割近くとなっています。



(2) 加入していない理由 (問17-1)

町会・自治会、NPO団体のいずれか、または、いずれにも「加入していない」と答えた人(32人)に、その理由を3つまで聞いたところ、「加入したい団体があることを知らないため」(50.0%)が5割と最も高く、次いで「加入するきっかけがないため」(40.6%)、「加入方法がわからないため」(25.0%)などとなっています。



(3) 地域の活動を活発にするために必要なこと (問18)

地域の活動を活発にするために必要なことを3つまで聞いたところ、「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」(51.4%)が5割を超えて最も高く、次いで「活動情報の積極的なPR」(48.6%)、「気軽に参加できるイベントの開催」(42.9%)などとなっています。

